

## 令和7年度使用

### 中学校用及び川崎高等学校附属中学校用教科用図書

- 1 全ての教科用図書に関する調査研究報告
- 2 各学校からの報告をとりまとめた調査研究報告

※上記1は「令和7年度川崎市使用教科用図書採択方針」の8頁にある「中学校における教科用図書の採択手順」フロー図の⑥に、上記2は同フロー図の⑤に対応

## 目

## 【全ての教科用図書に関する調査研究報告】

国語 …	3 頁
書写 …	4 頁
社会（地理的分野） …	5 頁
社会（歴史的分野） …	6 ~ 8 頁
社会（公民的分野） …	9 ・ 10 頁
地図 …	11 頁
数学 …	12 ・ 13 頁
理科 …	14 ・ 15 頁
音楽（一般） …	16 頁
音楽（器楽合奏） …	17 頁
美術 …	18 頁
保健体育 …	19 頁
技術・家庭（技術分野） …	20 頁
技術・家庭（家庭分野） …	21 頁
英語 …	22 ・ 23 頁
道徳 …	24 ・ 25 頁

## 次

## 【各学校からの報告をとりまとめた調査研究報告】

国語 …	26 頁
書写 …	27 頁
社会（地理的分野） …	28 頁
社会（歴史的分野） …	29 ~ 31 頁
社会（公民的分野） …	32 ・ 33 頁
地図 …	34 頁
数学 …	35 ・ 36 頁
理科 …	37 ・ 38 頁
音楽（一般） …	39 頁
音楽（器楽合奏） …	40 頁
美術 …	41 頁
保健体育 …	42 頁
技術・家庭（技術分野） …	43 頁
技術・家庭（家庭分野） …	44 頁
英語 …	45 ・ 46 頁
道徳 …	47 ・ 48 頁

# 調査研究報告書 ⑥

## 国語

発行者の番号略称	書名	学習指導要領との関連	内容	構成・分量・装丁	表記・表現
2 東書	新編 新しい国語 1 新編 新しい国語 2 新編 新しい国語 3	・教育内容の主な改善事項のうち、「言語能力の確実な育成」に関連して、何をどのように学ぶのか見通しがもてるように単元冒頭に「見通す」「学習の流れ」を示している。	【知識及び技能】 ・情報の関係を捉えたり、情報を整理したりできるように「学びを支える言葉の力」のページを掲載している。 ・言葉を知り、使える言葉を増やせるよう、各単元の「てびき」の中に「広がる言葉」というコーナーを設定している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・「書くこと」の「完成したものを読み合う」「感想を交換する」の単元では、他者の意見を取り入れ、自分の文章をよりよいものとする活動を取り入れている。 ・文学的な文章と説明的な文章を読むためのポイントを「言葉の力」「文学の学び」で示している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・身に付ける力を意識できるように各単元の冒頭に、「思考・判断・表現」の目標を示している。 ・前に学習したことを生かせるように、『言葉の力』一覧を掲載している。 【かわさき教育プラン】 ・「読書への招待」「読書案内」「読書活動」「資料編」で、ポップ作りやビブリオバトルなどの様々な読書活動を設定したり、学習内容と関連する図書を紹介したりしている。	【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】 ・一年間の学習の見通しがもてるように、各系統ごとに付きたい力を一覧でまとめた「領域別教材一覧」を掲載している。 見通しをもって学習に取り組むことができるように「てびき」で学習の流れを示している。 【分量・装丁】 ・表紙に、中学生を風景の一部にしたイラストを用いている。	・「読むこと」の教材では5行ごとに行数、1行ごとに点を表示している。 ・目次では、単元の領域・学習内容を「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」「古典」「未来への扉」が分かるように、マークと色で示している。
15 三省堂	現代の国語 1 現代の国語 2 現代の国語 3	・教育内容の主な改善事項のうち、「言語能力の確実な育成」に関連して、単元冒頭に「学びの道しるべ」「学習の流れ」を示し、見通しをもって主体的に学習に取り組むことができるようにしている。	【知識及び技能】 ・「情報に関連づける」の単元において、情報の扱い方を漫画を用いて説明している。 ・理解できる語句と使える語句の量を増やすために、各単元の「学びの道しるべ」の中に、教材に関連した語彙を取り上げる「語彙を豊かに」というコーナーを設定している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・社会生活に生かすことや話し合い活動の選択肢を増やすことを目的として「話し合いの形式を選ぶ」を掲載している。 ・「読むこと」の単元では「学びを振り返る」で、学んだことを自分の言葉でまとめる学習活動を設定したり、身に付ける力の系統性を「読み方を学ぼう」で示したりしている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・身に付ける力を意識できるように各単元の冒頭に、「思考・判断・表現」の目標を示している。 ・身に付けた力を生かせるように、各単元の最後に「学びを広げる」を掲載している。 【かわさき教育プラン】 ・資料編に掲載している「読書の広場」では、多様な文種・ジャンルの読書教材や単元の学習内容に関連する図書を紹介している。	【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】 ・一年間の学習の見通しがもてるように「領域別教材一覧」の中に、各教材で「付きたい力」を明記し、その中でも重点を置く項目に◎をつけている。 ・見通しをもって学習に取り組むことができるように「学びの道しるべ」で学習の流れを示している。 【分量・装丁】 ・表紙に、家と自然、動物のイラストを用いている。	・「読むこと」の教材では5行ごとに行数を表示している。 ・目次では、単元の領域・学習内容を「読むこと」「話すこと・聞くこと」「書くこと」が分かるようにマークと言葉で示している。
17 教出	伝え合う言葉 中学国語 1 伝え合う言葉 中学国語 2 伝え合う言葉 中学国語 3	・教育内容の主な改善事項のうち、「言語能力の確実な育成」に関連して、「何を学ぶか」「どのように学ぶか」の目的意識をもって学習に取り組めるように単元冒頭に「学びナビ」を掲載している。	【知識及び技能】 ・日常的に接する情報について考えることができる「情報・メディアと表現」を掲載している。 ・「理解に役立つ言葉」「表現に役立つ言葉」を掲載して、語彙を増やし、日常生活や学習で活用できるようにしている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・話し合い活動や書く活動の幅を広げられるように「話すこと・書くことテーマ例集」を掲載している。 ・「読むこと」の単元では、自分の言葉で考えをまとめ、伝え合う学習活動を設定している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・身に付ける力を意識できるように各単元の冒頭に、「知識・技能」「思考・判断・表現」の目標を示している。 ・各単元の最後に「学びを生かす」を掲載し、身に付けた力を生かせるようにしている。 【かわさき教育プラン】 ・「広がる本の世界」「読書への招待」で、作者・筆者や、教材のテーマなどに関連する図書を紹介している。	【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】 ・一年間の学習の見通しがもてるように各系統ごとに付きたい力を一覧でまとめた「言葉の地図」を掲載し、その中でも重点を置く項目に◎をつけている。 ・何を学ぶのか見通しがもてるように、「学びナビ」を示している。 【分量・装丁】 ・表紙に、自然の中で本を読む人のイラストを用いている。	・「読むこと」の教材では5行ごとに行数、1行ごとに点を表示している。 ・目次では、単元の領域・学習内容を「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」「読書」「古典」「情報・メディアと表現」が分かるようにマークで示している。
38 光村	国語 1 国語 2 国語 3	・教育内容の主な改善事項のうち、「言語能力の確実な育成」に関連して、習得と活用を一体的に進めていけるように、単元冒頭に付きたい力を「目標」として示している。	【知識及び技能】 ・情報の扱い方や関係・整理のしかた等を示す「情報整理のレッスン」「情報収集の達人になろう」を掲載している。 ・語彙を増やし、日常生活で活用できるように「語彙を豊かに」「語彙ブック」「言の葉ポケット」「動きを表す言葉」を掲載している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・話したり書いたりするときの手がかりとなるテーマ例を示した「発想を広げる」を掲載している。 ・「読むこと」の単元では、「学びへの扉」の中で、考えを自分の言葉でまとめ、伝え合う学習活動を設定している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・身に付ける力を意識できるように各単元の冒頭に、「知識・技能」「思考・判断・表現」の目標を示している。 ・単元のポイントや、前後の単元とのつながりを確かめられるように「学びのカギ」を掲載している。 【かわさき教育プラン】 ・「読書を楽しむ」「本の世界を広げよう」では、ポップ作りや読書会、読書記録等の様々な読書活動を設定したり、学習内容と関連する図書を紹介したりしている。	【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】 ・一年間の学習の見通しがもてるように、各系統ごとに付きたい力の一覧表を掲載し、身に付きたい力を言葉で示したり、重点的に学習する内容を濃い色で示したりしている。 ・見通しをもって学習に取り組む、学んだことを観点ごとに振り返ることができるように「学びへの扉」で学習の流れを示している。 【分量・装丁】 ・表紙に、楽器から花が出ているイラストを用いている。	・「読むこと」の教材では5行ごとに行数、1行ごとに点を表示している。 ・目次では、単元の領域・学習内容を「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」「読書」「情報」が分かるようにマークと色で示している。

# 調査研究報告書 ⑥

## 書写

発行者の番号 略称	書名	学習指導要領との関連	内容	構成・分量・装丁	表記・表現
2 東書	新しい書写 一・二・三年	・教育内容の主な改善事項のうち、「言語能力の確実な育成」に関連して、学習のポイントである「書写のかぎ」を軸に、課題解決型の学習過程を設定している。	【知識及び技能】 ・「見つけよう」の活動の後に、文字を書く上でのポイントを焦点化した「書写のかぎ」を示している。 ・伝統的な用具・用材、文字の成り立ちと移り変わり等の文字文化を紹介する「文字といっしょに」を掲載している。 【思考力,判断力,表現力等】 ・目的や必要に応じて書写の学習を活用し、効果的に文字を書く力を育成できるように、「生活に広げよう」を設定している ・毛筆の単元において、教材と別の文字を硬筆で練習できるように、「生かそう」を設定している。 【学びに向かう力,人間性等】 ・手書きで文字を書く意味を考えられるように、巻頭には「文字を『書く』って、なんだろう」を掲載している。 ・単元の最後に、自己の学びについて振り返ることができる「振り返ろう」を設定している。 【かわさき教育プラン】 ・「生活に広げよう」の単元等で、課題解決に向けて話し合う学習活動を設定している。	【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】 ・見通しをもって学習できるように、巻頭に「書写の学習の進め方」を1ページで示している。また、自分の言葉で説明することを促す吹き出しがある。 ・単元を「見つけよう」「確かめよう」「生かそう」「振り返ろう」で構成している。 【分量・装丁】 ・判型はB5判で、中とじである。 ・硬筆において右利きと左利きの生徒のどちらも文字手本が見えるように、文字手本の下に記入欄を設けている。	・毛筆では、朱墨を用いた文字手本を掲載して穂先の動きを示すとともに、「基本点画の書き方」で、イラストや擬態語、矢印、穂先の写真を用いて筆圧、筆使いを示している。 ・「用具の片づけ方」では、大筆、小筆、硯ごとに項目を分け、片付け方を4枚の写真と言葉で説明している。
15 三省堂	現代の書写 一・二・三	・教育内容の主な改善事項のうち、「言語能力の確実な育成」に関連して、学習すべき内容について見通しがもてるように、書き方のポイントが分かる「書き方を学ぼう」を提示している。	【知識及び技能】 ・「書き方を学ぼう」で、文字を書く上でのポイントをページのはじめに示している。 ・伝統的な用具・用材、文字の変遷等の文字文化を紹介する「資料編」を掲載している。 【思考力,判断力,表現力等】 ・書写で身に付けた力を国語の学習で生かすことができるように、「やってみよう」の学習活動を設定している。 ・毛筆の書き方のポイントを硬筆に生かして書くことができる「書いて身につけよう」を設定している。 【学びに向かう力,人間性等】 ・高等学校の書道との接続を見据え、「篆刻」等の発展的な内容を紹介している。 ・単元の振り返りでは、自分が学んだことを書く「自分が学んだことを書き残そう」を設定している。 【かわさき教育プラン】 ・楷書と行書の使い分けを考える単元等で、課題解決に向けて話し合う学習活動を設定している。	【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】 ・見通しをもって学習できるように、巻頭に「自分の文字をよりよくするために」で、教材の構成や学習の流れを見開きページで示している。 ・単元を「目標」「書き方を学ぼう」「書いて身につけよう」「振り返ろう」という学習過程で構成している。 【分量・装丁】 ・判型はB5判で、中とじである。 ・硬筆において右利きと左利きの生徒のどちらも文字手本が見えるように、文字手本の下に記入欄を設けている。	・毛筆では、朱墨を用いた文字手本を掲載して穂先の動きを示すとともに、「点画の種類と筆使い」で、図や矢印を用いて筆圧や筆使いを示している。 ・「用具の片づけ方」では、大筆、小筆、硯ごとに項目を分け、片付け方を4枚の写真と言葉で説明している。
17 教出	中学書写	・教育内容の主な改善事項のうち、「言語能力の確実な育成」に関連して、生徒が、自分で課題を解決していくための具体的な方法が分かる「学習の進め方」を提示している。	【知識及び技能】 ・文字を書く上でのポイントを「考えよう」で、考えることと同時に示している。 ・「コラム」において伝統的な用具・用材、文字の変遷等の文字文化を紹介している。 【思考力,判断力,表現力等】 ・身に付けた力を活用できるように、「学校生活に生かして書く」「学習を生かして書く」等を設定している。 ・毛筆の単元において、観察から文字を書く際のポイントを考えられるように「考えよう」という学習過程を設定している。 【学びに向かう力,人間性等】 ・巻頭の「目的に合わせて書こう」「書写をとおして学んでいくこと」で、書写学習の意義や身に付ける力を示している。 ・単元目標に対して自己評価をする「振り返ろう」を設定している。 【かわさき教育プラン】 ・「学習の進め方」に、課題を解決していく学習の流れや、話し合い活動をとおした学び方の「話し合いのポイント」を示している。	【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】 ・見通しをもって学習できるように、巻頭に「学習の進め方」を見開きページで示している。また、自ら課題を発見していく様子を写真で示している。 ・単元を「目標」「考えよう」「生かそう」「振り返ろう」で構成している。 【分量・装丁】 ・判型はAB判で、中とじである。 ・硬筆において右利きと左利きの生徒のどちらも文字手本が見えるように、文字手本の下に記入欄を設けている。	・毛筆では、朱墨を用いた文字手本を掲載して穂先の動きを示すとともに、「基本点画の種類」で、イラストや穂先の写真、矢印、数字を用いて筆圧、筆使いを示している。 ・「後片づけ」では、大筆、小筆、硯の片付け方をまとめて3枚の写真と言葉で説明している。
38 光村	中学書写 一・二・三年	・教育内容の主な改善事項のうち、「言語能力の確実な育成」に関連して、書写の基礎・基本、原理・原則を主体的に学ぶことができるように課題解決型学習を想定して構成している。	【知識及び技能】 ・「考えよう」の活動の後に、文字を書く上でのポイントを焦点化した「学びのカギ」を示している。 ・「コラム」や巻頭において伝統的な用具・用材や、文字の歴史等の文字文化を紹介している。 【思考力,判断力,表現力等】 ・身に付けた書写の力を活用できるように、「行書を活用しよう」などのページを掲載している。 ・毛筆の単元において、比較から、文字を書く際のポイントを考えられるように、「考えよう」という学習過程を設定している。 【学びに向かう力,人間性等】 ・学習や生活で活用することができるように、「日常に役立つ書式」に日常の書式等を掲載している。 ・身に付けた力を実感できるように、目標の下に振り返ろうのチェック項目を設定している。 【かわさき教育プラン】 ・「手書きのよさって、何だろう」の単元等で、課題解決や理解を深めるための話し合い活動を設定している。	【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】 ・見通しをもって学習できるように、巻頭に「学習の進め方」を見開きページで示している。また、話し合っって課題解決する様子を写真で示している。 ・単元を「考えよう」「確かめよう」「生かそう」で構成している。 【分量・装丁】 ・判型はB5判で、中とじである。 ・硬筆において右利きと左利きの生徒のどちらも文字手本が見えるように、文字手本の下に記入欄を設けている。	・毛筆では、朱墨を用いた文字手本を掲載して穂先の動きを示すとともに、「点画の種類」「漢字の筆使い」で、イラストや穂先の写真、矢印、数字、擬態語を用いて筆圧、筆使いを示している。 ・「用具の片付け」では、大筆、小筆、硯ごとに項目を分け、片付け方を6枚の写真と言葉で説明している。また、片付けとSDGsとのつながりを写真で示している。

# 調査研究報告書 ⑥

## 社会(地理的分野)

発行者の番号略称	書名	学習指導要領との関連	内容	構成・分量・装丁	表記・表現
2 東書	新編 新しい社会 地理	・教育内容の主な改善事項のうち、「言語能力の確実な育成」に関連して、単元のまとめでは、思考を整理する多様なツール活用した学習活動を掲載している。	【知識及び技能】 ・各章の導入では、既習事項を活用しながら社会科の学び方を理解できるよう、小学校で学習した用語や導入の活動を掲載している。 ・グラフ、地図などの資料を読み取る力を身につけられるよう、「スキルアップ」のページを設けている。 【思考力,判断力,表現力等】 ・本時の学習での習得事項を確認し、学習課題の解決に向けて自分の考えを表現するための「チェック」「トライ」のコーナーを設けている。 ・各章・節の導入「探究課題」を提示し、「地理的な見方・考え方」を働かせて解決に迫れるよう、まとめの活動を掲載している。 【学びに向かう力,人間性等】 ・学習課題への意識が高められるよう、各見開きページの左上に導入資料を掲載し、それに関連した説明資料を設けている。 ・「持続可能な地域の在り方」の視点に立って考えられるよう、地域の課題を調査し、その解決策を提案する学習過程を例示している。 【かわさき教育プラン】 ・巻頭では、「持続可能な社会の実現に向けて」をテーマとして、世界や日本各地の取組例を写真等で示している。 ・第2章のまとめの活動で「地球的課題」を振り返るページを設け、SDGsとの関連から考える例を掲載している。	【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】 ・各章で「課題をつかむ」「課題を追究する」「課題を解決する」と学習の流れをして示している。 ・各見開きページで、「導入資料」「学習課題」「本文」「チェック」「トライ」等の学習の流れを統一して示している。 【分量・装丁】 ・学習内容のまとめごとに課題を追究できるように、学習内容の前に教科書の使い方や地理的な見方・考え方等を掲載している。	・先生と生徒のキャラクターを掲載し、章の導入やまとめで資料を読む視点や学習活動等を示している。 ・色覚の個人差を問わず、見やすいカラーユニバーサルデザインに配慮している旨を記載している。
17 教出	中学社会 地理 地域にまなぶ	・教育内容の主な改善事項のうち、「言語能力の確実な育成」に関連して、学習課題に対して見通しや振り返りを重視した学習活動を掲載している。	【知識及び技能】 ・現代社会の動きと関連させながら考えることができるよう、見開きページ内の学習内容に関わる「地理の窓」のコラムを設けている。 ・資料から読み取ったり、考えを深めたりする視点を示し、多様な技能を身に付けられるよう、「THINK」のコーナーを設けている。 【思考力,判断力,表現力等】 ・各章、各節の導入で提示した課題に対して3つのステップを経て地域的特色に迫るよう、「学習のまとめと表現」を掲載している。 ・学習内容を確認し、知識を活用して自分の考えを表現できるよう、各見開きページの最後に「確認！」と「表現！」を設けている。 【学びに向かう力,人間性等】 ・学習課題を見出せるよう、各見開きページの左上に導入資料を掲載し、キャラクターが学習の手がかりや示唆などを提示している。 ・第4章では、地域の課題やあり方を考えることができるよう、地域の課題を調査し、解決策を発表し共有する学習過程を例示している。 【かわさき教育プラン】 ・巻頭では、SDGsについて「地球的課題とSDGs」として紹介し、地球的課題と17の目標との関係を考えるように促している。 ・「わたしたちのまち」の視点から、東京大都市圏の事例地として神奈川県や川崎市を取り上げている。	【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】 ・各章で「導入」「…をながめて」「本編」「学習のまとめと表現」と学習の流れを示している。 ・各見開きページで、「導入資料」「学習課題」「本文」「確認！」「表現！」等の学習の流れを統一して示している。 【分量・装丁】 ・学習内容のまとめごとに課題を追究できるように、教科書の構成や地理的な見方・考え方等を掲載している。	・先生、生徒のキャラクターを掲載し、章の導入や見開きで資料を読む視点や問題点等を示している。 ・色覚特性に適應するようにカラーユニバーサルデザインに配慮している旨を記載している。
46 帝国	社会科 中学生の地理 世界の姿と日本の国土	・教育内容の主な改善事項のうち、「言語能力の確実な育成」に関連して、地図や思考ツールを活用して学習内容や考えをまとめる活動を掲載している。	【知識及び技能】 ・見開きページ内の学習内容について理解が深まるよう、「地理プラス」「未来に向けて」のコラムを設けている。 ・資料を活用する力が身に付くよう、資料の読み取り方や地図帳との関連を示した「技能をみがく」「地図帳活用」のコーナーを設けている。 【思考力,判断力,表現力等】 ・各章、各節の導入で提示した「章(節)の問い」について、地図や思考ツールを活用して考えをまとめる「学習を振り返ろう」を掲載している。 ・資料から読み取る内容を確認し、学習課題に対して自分の考えを説明できるよう、「確認しよう」「説明しよう」のコーナーを設けている。 【学びに向かう力,人間性等】 ・各見開きページの左上に導入資料を掲載しており、キャラクターが学習の手がかりや示唆などを提示している。 ・第4部では、持続可能な社会について考えるために、地域の実態や課題を調査し、その解決策を提案する学習過程を設定している。 【かわさき教育プラン】 ・巻頭では、SDGsについて「未来に向けてよりよい社会を目指して」をテーマとして、世界や日本各地の取組例を写真等で示している。 ・「未来に向けて」のコラムにSDGsマークを付け、持続可能な社会に向けて取り組んでいる事例を掲載している。	【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】 ・各章で「写真で眺める」「その章ごとの毎時の学び」「学習を振り返ろう」と学習の流れを示している。 ・各見開きページで、「導入資料」「学習課題」「本文」「確認しよう」「説明しよう」等の学習の流れを統一して示している。 【分量・装丁】 ・学習内容のまとめごとに課題を追究できるように、教科書を活用した学び方や地理的な見方・考え方等を掲載している。	・先生と生徒のキャラクターを掲載し、章の導入や見開きで資料を読む視点や問題点等を示している。 ・ユニバーサルデザインの観点から、色覚特性に配慮した色づかいをしている旨を記載している。
116 日文	中学社会 地理的分野	・教育内容の主な改善事項のうち、「言語能力の確実な育成」に関連して、地理の学習の充実に向けて、地理的な見方・考え方と問いの例を掲載している。	【知識及び技能】 ・見開きページの学習内容について事例をもとに理解ができるよう、「地理+α」のコラムを設けている。 ・資料の読み取り方や地図の活用の仕方等の地理の学習に必要な技能を示した「スキルUP」を掲載している。 【思考力,判断力,表現力等】 ・課題の解決に向けて「地理的な見方・考え方」を働かせるよう、各見開きページの左に「学習課題」と「見方・考え方」を掲載している。 ・本時の学習事項を振り返って自分の考えを整理、表現できるよう、各見開きページの右側に「表現」のコーナーを設けている。 【学びに向かう力,人間性等】 ・各見開きページの左上に導入資料を掲載し、資料の読み取り方に関する問いかけなどを掲載している。 ・第3編第4章の「地域の在り方」では、地域をよりよくするための課題を調査し、その解決策を発信する学習過程を設定している。 【かわさき教育プラン】 ・巻頭では、SDGsについて「持続可能な社会と私たち」をテーマとして、世界や日本各地の取組例を写真等で示している。 ・「持続可能な地域をめざして」のコラムでは、学習内容に関わる国や地域の具体的な事例を掲載している。	【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】 ・各章で「つかむ」「問いを立て、学習を見通す」「問いを追究する」「まとめ、ふり返る」と学習の流れを示している。 ・各見開きページで、「導入資料」「学習課題」「本文」「確認」「表現」等の学習の流れを統一して示している。 【分量・装丁】 ・学習内容のまとめごとに課題を追究できるように、地理的な見方・考え方や教科書の構成と学び方等を掲載している。	先生と生徒のキャラクターを掲載し、章の導入や見開きで資料を読む視点や気付き等を掲載している。 ・より多くの人に見やすいカラーユニバーサルデザインに配慮している旨を記載している。

# 調査研究報告書 ⑥

## 社会(歴史的分野)

発行者の番号略称	書名	学習指導要領との関連	内容	構成・分量・装丁	表記・表現
2 東書	新編 新しい社会 歴史	・教育内容の主な改善事項のうち、「言語能力の確実な育成」に関連して、単元のまとまりを重視し、まとめでは多様な思考ツールを掲載している。	【知識及び技能】 ・具体的な知識を身に付けるために、各章の「まとめの活動」では、学習した語句、年表や地図を活用した問題を掲載している。 ・歴史に関する基礎的・基本的な技能を身に付けるために、「スキルアップ」では、年表の活用、系図の読み取り方等の方法を示している。 【思考力,判断力,表現力等】 ・時代の流れを把握することができるように、見開きの右ページ端には、年表スケールを掲載している。 ・その時代の特色を問う課題について多面的・多角的に考えまとめられるよう、各章のまとめでは、シンキングツールを示している。 【学びに向かう力,人間性等】 ・各章の導入では、該当の時代の特色を表す絵画資料等を掲載し、「みんなでチャレンジ」のコーナーで活動方法を示している。 ・「歴史のまとめ」のページでは、これまでの学習を振り返り、持続可能な社会の実現に向けて自分の考えをまとめる課題を掲載している。 【かわさき教育プラン】 ・「メディアの発達で日本を変えた」のページでは、電信の導入の部分で横浜市保土ヶ谷区を題材にした浮世絵を掲載している。 ・巻頭で持続可能な社会の実現に向けて歴史に学ぶことを示し、持続可能な社会に関する学習課題を取り上げている。	【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】 ・各章の導入では、章についての探究課題を提示し、探究のステップで各節の課題を示している。 ・見開き左ページで学習課題を提示し、右ページ下で「チェック」「トライ」コーナーで課題について確認し、深める設問を設定している。 【分量・装丁】 ・日本と世界のつながりを調べるために、巻末に三つ折りの折込で年表を掲載している。	・他分野や他教科との関連を図れるよう、分野関連マークや教科関連マークを各所に示している。 ・見やすく読み間違いにくいユニバーサルデザインフォント、生徒の色覚特性に適應するようにデザインしている旨を掲載している。
17 教出	中学社会 歴史 未来をひらく	・教育内容の主な改善事項のうち、「言語能力の確実な育成」に関連して、見直し、振り返りの学習活動を重視した単元構成としている。	【知識及び技能】 ・時代の移り変わりを理解するために、章末の「学習のまとめと表現」では、日本と世界の動きを関連させた年表を掲載している。 ・歴史学習の基本的な技能を身に付けることができるように、「歴史の技」コーナーでは、資料活用に関わる問いや解説を設けている。 【思考力,判断力,表現力等】 ・多面的・多角的に時代の特色をつかめるように、章末の「学習のまとめと表現」では、その時代の特色を説明するコーナーを設けている。 ・時代の流れを把握しやすいように、各見開きの左ページの学習課題の欄に時代スケールを掲載している。 【学びに向かう力,人間性等】 ・各章の導入では、「学習を始めよう」のページを設け、大きな絵画資料を読み取り、興味関心を高める設問を掲載している。 ・「歴史の窓」では、学習内容を捉え直す歴史的事象の背景や影響、関連するエピソードをコラムとして掲載している。 【かわさき教育プラン】 ・「身近な地域の歴史を調べよう」では、「移り変わる戦後の街を訪ねて」で川崎市の戦後から現在の移り変わりを掲載している。 ・「歴史学習の終わりに」ではSDGsを取り上げ、歴史で学んだことを生かし、現代の課題と解決方法を探究するページを設けている。	【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】 ・章の導入では章全体に関わる問いを、章末には時代の特色を振り返る問いを示している。 ・見開き左ページで学習課題を提示し、右ページで学習課題の解決をまとめるための「確認!」「表現!」を設定している。 【分量・装丁】 ・日本と世界のつながりを調べるために、巻末に二つ折りと三つ折りの折込で年表を掲載している。	・「歴史をさぐる」ページの下部には、公民、地理との関連を示すマークを掲載している。 ・ユニバーサルデザインフォントを採用している旨や、色覚の個人差を問わず、より多くの人に見やすいカラーユニバーサルデザインに配慮している旨を記載している。
46 帝国	中学生の歴史 日本のはみと世界の動き 歴史	・教育内容の主な改善事項のうち、「言語能力の確実な育成」に関連して、歴史的な見方・考え方を働かせ、時代の特色をつかむ資料やイラストを掲載している。	【知識及び技能】 ・時代を比較してその特色を理解できるように、「タイムトラベル」では、各時代を大観する見開きのイラストを掲載している。 ・歴史学習における基礎的・基本的な技能を身に付けるために、「技能をみがく」では、様々な資料活用のコラムを掲載している。 【思考力,判断力,表現力等】 ・「章の学習を振り返ろう」のページでは、時代の特色を多面的・多角的に考え、説明するために3段階のステップを設定している。 ・時代の流れを把握しやすいよう、見開きページの右端縦を用いて、学習する時代の年表スケールを掲載している。 【学びに向かう力,人間性等】 ・歴史で学んだことを生かして考えることができるように、具体的なテーマを設定した「アクティブ歴史」を掲載している。 ・各章のはじめには、資料や小学校での学びをもとに学習する時代の見通しをもち、どのような時代か予想する活動を掲載している。 【かわさき教育プラン】 ・「絹の道」と日本の製紙業のページでは、横浜市が外国への積出港であり、横浜市までの鉄道網が整備されたことを記載している。 ・「未来に向けて」のコーナーが各所にあり、歴史的事象をSDGsと関連付け、より豊かな社会を構築するために考えるよう促している。	【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】 ・章の導入では「章の問い」を示し、「学習を振り返ろう」では、課題解決の道すじを示している。 ・見開き左ページには、学習課題、右ページ末には課題解決に向けた「確認しよう」「説明しよう」を設定している。 【分量・装丁】 ・日本と世界のつながりを調べるために、巻末に二つ折りの折込2枚で年表を掲載している。	・ページの下部では、小学校の学習や地理、公民との関連の事項を示している。 ・色覚特性に配慮した色づかいとなるように工夫し、見やすく読み間違いにくいユニバーサルデザインフォントを採用している旨を掲載している。
81 山川	中学歴史 日本と世界 改訂版	・教育内容の主な改善事項のうち、「言語能力の確実な育成」に関連して、時代の大きな流れをつかむための構成や、章のまとめでの学習活動を掲載している。	【知識及び技能】 ・これから学ぶ時代の見通しがもてるように、各章の導入に帯年表を掲載し、日本と世界の出来事を写真や資料を使って示している。 ・歴史学習に必要な技能の習得に向け、第1章では、年表の見方、課題設定の仕方、レポートの作成・発表方法等を示している。 【思考力,判断力,表現力等】 ・時代背景を捉えられるように、「歴史を考えよう」のコーナーでは、関連する美術作品や史料・地図、制度やルール等を取り上げている。 ・各章の「まとめ」では、章の学習を振り返り、各時代を多面的・多角的に捉えるために、表や文章でまとめるページを設けている。 【学びに向かう力,人間性等】 ・各単元の導入では、生徒が主体的に取り組めるよう、写真やイラストで時代の特色を示し、日本と世界の年表を掲載している。 ・第7章のまとめでは、歴史学習から現代社会の解決すべき課題を分類し、具体的な問題を調べ解決策を考える活動を示している。 【かわさき教育プラン】 ・「近代日本の産業と文化」では、旧横浜正金銀行(神奈川県立歴史博物館)の写真を掲載している。 ・現代の単元では、現在の日本の課題として自然災害や地球温暖化、少子高齢化等を取り上げている。	【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】 ・章の導入では、これから学ぶ日本と世界の出来事を示し、章の学習の流れを示している。 ・見開きの左ページでは学習課題、右ページでは既習事項を生かしてさらに考える「ステップアップ」を設定している。 【分量・装丁】 ・日本と世界のつながりを調べるために、章の導入のページで年表を掲載している。	・世界遺産マーク、国宝マークなどのマークを使用している。 ・色覚の個人差を問わず、多くの人に見やすいよう、カラーユニバーサルデザインを取り入れている旨を掲載している。

発行者の 番号略称	書名	学習指導要領 との関連	内容	構成・分量・装丁	表記・表現
116 日文	中学社会 歴史的分野	・教育内容の主な改善事項のうち、「言語能力の確実な育成」に関連して、学習課題の解決に向けて見方・考え方を働かせる「深めよう」のコーナーを設けている。	【知識及び技能】 ・その時代の大まかな歴史の流れを捉えられるように、学習の中心となる用語等を文章で説明し、見開き左側に年表を掲載している。 ・第1編では、社会科の学び方を理解できるよう、小学校の既習事項を生かしながら、資料の集め方や発表の方法等を示している。 【思考力,判断力,表現力等】 ・各編の「まとめと振り返り」では、見方・考え方を働かせて時代の特色を捉えるために、習得した知識を表や図にまとめるように示している。 ・「見方・考え方」のコーナーでは、学習課題の解決の手がかりとなる歴史的な見方・考え方の例を示している。 【学びに向かう力,人間性等】 ・各編の「まとめと振り返り」では、学習の始めと比べた考えの変容をまとめ、これからの学びに生かすことを整理するように示している。 ・「歴史を掘り下げる」では、その時代の人々の行動を取り上げ、社会の形成に主体的に参画しようとする態度を養う事例を掲載している。 【かわさき教育プラン】 ・江戸時代の交通網の整備では、復元された箱根関所の写真を掲載している。 ・「世界平和への取り組み」「政治参加の歴史」「災害への対策の歴史」の事例を取り上げ、SDGsと関連させた課題を提起している。	【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】 ・各編の導入に課題となるめあてを提示し、まとめのページでは、各時代の特色をまとめる構成にしている。 ・見開きの左ページで学習課題を設定し、その下に「見方・考え方」、右ページ下に知識の定着を図る「確認」「表現」を設定している。 【分量・装丁】 ・日本と世界のつながりを調べるために、巻末に二つ折りの折込3枚で年表を掲載している。	・「見方・考え方」、世界遺産マーク、国宝マークなどのマークを使用している。 ・より多くの人に見やすいカラーユニバーサルデザイン、見やすく読み間違いにくいユニバーサルデザインフォントを採用している旨を掲載している。
225 自由社	新しい歴史 教科書	・教育内容の主な改善事項のうち、「言語能力の確実な育成」に関連して、調べたことやわかったことを文章にまとめる構成を掲載している。	【知識及び技能】 ・本文の記述を補う注を設けて解説を示し、「歴史の言葉」「知得ポイント」を設けて事象についての詳細な説明を掲載している。 ・学習内容の時期が分かるよう、各ページに「歴史モノサシ」として年表を設けて単元で扱うおおよその時期を示している。 【思考力,判断力,表現力等】 ・自分の考えを伝え合う活動ができるように、章末にどのような時代だったのかを整理する「時代の特徴を考えるページ」を設けている。 ・学習したことから考える課題を提示し、日本の歴史の特色について考える「歴史を学んで」を巻末に設けている。 【学びに向かう力,人間性等】 ・序章「歴史のとらえ方」では、興味ある人物について調べる設定で、800字の人物伝記を掲載している。 ・「もっと知りたい」のコラムを設け、歴史上の出来事への興味や関心を高めるように、解説を掲載している。 【かわさき教育プラン】 ・「人物クローズアップ」では、「二宮尊徳と勤勉の精神」のコラムを掲載している。 ・巻頭では、「日本の世界文化遺産」を取り上げ、一覧表、地図、写真を掲載している。	【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】 ・各章の扉で各授業の学習課題を提示し、単元で学んだことをまとめられるように、各章末の「時代の特徴を考えるページ」を設けている。 ・見開きの左ページで学習課題を設定し、右ページ下に知識の定着を図る「チャレンジ」を設定している。 【分量・装丁】 ・日本と世界のつながりを調べるために、巻末に三つ折りの折込で年表を掲載している。	・世界遺産、国宝、重文などのマーク、歴史上の文書・文献がもともなっている資料であることを示すマークを掲載している。 ・学習課題と本文のフォントを変えて掲載している。
227 育鵬社	新しい日本 の歴史	・教育内容の主な改善事項のうち、「言語能力の確実な育成」に関連して、時代の特色を考える活動の充実に向けて、各章の導入でイラストや写真資料を掲載している。	【知識及び技能】 ・序章では、小学校の既習事項を生かしながら、歴史学習に必要な技能の習得に向け、資料の集め方、発表の方法等を示している。 ・各時間の課題について理解できるよう、見開き右ページの下部に「確認」として、基礎的な知識を抜き出す問題を掲載している。 【思考力,判断力,表現力等】 ・各章の「学習のまとめ」では、多面的・多角的に時代を捉えられるように、年表や資料の読み取る視点を掲載している。 ・課題に対して知識を活用して考えるために、見開き右ページ下部に「探究」として、学習したことを踏まえ説明する視点を掲載している。 【学びに向かう力,人間性等】 ・各章の導入にある「歴史絵巻」「〇〇の世界へようこそ！」では、各時代の特色を表す資料からその時代を大観できるようにしている。 ・巻末の「歴史学習のまとめ」では、日本の歴史を大観し、歴史での学びを将来に生かすために、文章でまとめる活動を示している。 【かわさき教育プラン】 ・「地域の歴史を調べてみよう」では、事例地として横浜市を取り上げ、調査の仕方を掲載している。 ・現代の単元では、SDGsについて取り上げ、これからの様々な課題として、地球温暖化、自然災害、少子高齢化等を示している。	【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】 ・各章の導入では、単元の内容を資料等で示し、章末では単元の学習内容を振り返るページを設けている。 ・見開き2ページの左ページで学習課題を、右ページでは鉛筆マークで見開きのまとめを促すコーナーを設定している。 【分量・装丁】 ・日本と世界のつながりを調べるために、巻末に三つ折りの折込で年表を掲載している。	・世界遺産マーク、国宝マークなどのマークを使用している。 ・色覚特性に配慮した色づかい、見やすく読み間違いにくいユニバーサルデザインフォントを採用している旨を掲載している。
229 学び舎	ともに学ぶ 人間の歴史	・教育内容の主な改善事項のうち、「言語能力の確実な育成」に関連して、興味関心を高め、問いをもたせるための文章を掲載している。	【知識及び技能】 ・「歴史への案内」では、小学校の既習事項を生かしながら、歴史の学習に必要な技能が身に付くよう、歴史の学び方を示している。 ・各部や章末の「学習のまとめ」では用語等を確認できるように、年表や地図等、問題を掲載している。 【思考力,判断力,表現力等】 ・各章の導入に年表を掲載し、テーマに合った世界地図を付し、世界の動きの中で日本の歴史を捉えることができるように構成している。 ・章の始めに学習課題を提示し、疑問に思ったことを話し合っって考えていくよう、促す記述を示している。 【学びに向かう力,人間性等】 ・各章の始めにその当時の国名が記載された世界地図があり、章ごとのテーマに沿った資料を提示している。 ・本文中に当時の詳しい状況や雰囲気を伝える具体的なエピソードを掲載している。 【かわさき教育プラン】 ・事例地として、横須賀市、鎌倉市を取り上げている。また、幕政改革の学習の中で、池上幸豊の取組を掲載している。 ・第10章では、難民や環境問題、戦争と平和といった現代の課題に向き合い、考えを表す活動を掲載している。	【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】 ・章の導入において年表や世界地図で単元の学習内容を掲載して学習課題を示すとともに、章や部の終わりでは、その単元の学習内容をまとめるページを設けている。 ・見開き2ページの左ページで学習課題を設定している。 【分量・装丁】 ・日本の昔の国名や主な史跡等を調べたために、巻末に二つ折りの折込で地図資料を掲載している。	・歴史の舞台に焦点をあてる「フォーカス」マークを使用している。 ・より多くの人が見やすいカラーユニバーサルデザインに配慮している旨を掲載している。

発行者の 番号略称	書名	学習指導要領 との関連	内容	構成・分量・装丁	表記・表現
236 令書	国史教科書 第7版	<ul style="list-style-type: none"> <li>教育内容の主な改善事項のうち、「言語能力の確実な育成」に関連して、課題に対して説明する文章を掲載している。</li> </ul>	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>章の扉裏に、日本の主な出来事をまとめた略年表、章末に世界の出来事を加えた年表を掲載している。</li> <li>各章の最後に「中世のまとめ」「近世のまとめ」などのページを設定し、歴史的事象を整理する表を設けている。</li> </ul> <p>【思考力,判断力,表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>各節の理解を深めるために、追加の課題としてその節の最後に「考えよう」を掲載している。</li> <li>章の学習をまとめる手法として、「自分の言葉でまとめる」「ディスカッションをしてみる」等、様々な方法を提示している。</li> </ul> <p>【学びに向かう力,人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>序章で、「歴史的な見方・考え方」として「年代と時系列」「推移」「比較」「関連」「現代とのつながり」の5項目を示している。</li> <li>学習内容に合わせた「文献資料」や「コラム」が掲載されている。</li> </ul> <p>【かわさき教育プラン】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「身近な歴史を年表にまとめよう」の事例として、鎌倉市の鶴岡八幡宮を取り上げている。</li> <li>第6章「現代」の中の「考えよう」で、日本はどのように地球環境問題に貢献できるか調べるよう促している。</li> </ul>	<p>【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>各章の始めに、「政治」「文化」「外交」「産業」という4つの視点での学習課題を提示している。</li> <li>各節の本文の冒頭に、その節で考えさせた小課題を提示している。</li> </ul> <p>【分量・装丁】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>本文に関わる内容を調べるために、巻末に様々な時代地図、日本の文化を示す美術資料をカラーで掲載している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>本文に「注」をつけ、ページの下上に「注」に関する説明を追記している。</li> <li>縦書きでページを上・下2段に分けて文章を表記している。</li> </ul>

# 調査研究報告書 ⑥

## 社会(公民的分野)

発行者の番号略称	書名	学習指導要領との関連	内容	構成・分量・装丁	表記・表現
2 東書	新編 新しい社会 公民	・教育内容の主な改善事項のうち、「言語能力の確実な育成」に関連して、単元のまとまりを重視した構成にして、まとめでは多様な思考ツールを掲載している。	【知識及び技能】 ・学習内容の定着を図るために、用語の理解を確かめる「チェック」、学習内容の理解を問う「トライ」のコーナーを設けている。 ・単元の導入やまとめを中心に、課題や学習内容を整理するためウェブページやYチャート等の様々な思考ツールを掲載している。 【思考力,判断力,表現力等】 ・「見方・考え方」のコーナーで、社会的事象について比較・関連付けて考察する活動等を示している。 ・章末に現代社会の見方・考え方を働かせて探究課題を考察することができるよう、「まとめの活動」で身近な課題を設定している。 【学びに向かう力,人間性等】 ・終章では持続可能な社会を実現するために、学習してきた課題を選択し、資料の収集や議論をして提案する学習過程を設けている。 ・18歳へのステップのページでは、選挙権年齢や成人年齢の引き下げに関して、将来の社会参画に向けて考える手立てを示している。 【かわさき教育プラン】 ・「労働環境の変化と課題」では、障がいのある人たちの雇用の事例として、川崎市の企業を掲載している。 ・「もっと知りたい」のコラムで、多文化共生のまちづくりや環境を守る住民の取組の事例を取り上げている。	【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】 ・各章の導入で探究課題と、節ごとの「探究のステップ」を示している。 ・章末に各節の振り返りと探究課題の解決を行うように設定している。 【分量・装丁】 ・巻頭では、公民の学習との関連を示すために、持続可能な社会の実現に向けた取組の写真やキーワードを掲載している。	・見開き左下に小学校やこれまでに身に付けた技能を活用して活動することを示すマークを掲載している。 ・「世界遺産マーク」や「国宝マーク」、「地理・歴史・公民関連マーク」などを示している。
17 教出	中学社会 公民 ともに生きる	・教育内容の主な改善事項のうち、「言語能力の確実な育成」に関連して、単元を通した課題解決を重視した構成にして、まとめでは課題に対して考えを深める学習活動を掲載している。	【知識及び技能】 ・学習内容の理解を深めるため、「学習のまとめと表現」では、章の導入で設定したテーマについて図式化してまとめる活動を設けている。 ・個人やグループでの活動を通じて技能と表現力を身に付けられるよう、資料を読み取る視点を示した「公民の技」を掲載している。 【思考力,判断力,表現力等】 ・学習課題に対して現代社会の見方・考え方を働かせて考察することができるよう、見開きページごとに「確認！」「表現！」を掲載している。 ・各章の問いに対して考えを深めるために、「学習のまとめと表現」では、既習事項を生かして段階的に考察する活動を示している。 【学びに向かう力,人間性等】 ・学習内容の興味関心を高めるために、章ごとの「学習のはじめに」では、具体的な事例を示しながら、学習の見通しを掲載している。 ・公民全体のテーマを設定し、終章では「持続可能な未来の社会」をテーマに現代社会の課題について対話する学習活動を設けている。 【かわさき教育プラン】 ・「子どもを大事にするまちづくり」では、「子ども夢パーク」「音楽によるまちづくり」「市民オンブズマン」といった川崎市の施策を掲載している。 ・公民の導入として、巻頭にSDGsの説明を掲載し、見開きページごとに学習内容に関わるSDGsの視点を右ページ下部に示している。	【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】 ・各章に「章の問い」、節ごとに「節の問い」を示している。 ・章末に各節ごとの問いを関連付けて、章の問いを解決する活動を設定している。 【分量・装丁】 ・巻頭では、公民の学習との関連を示すために、「みんなで描く持続可能な未来予想図」や現代の取組の写真を掲載している。	・見開きの左下に小学校の学習や地理、歴史の学習と関連する単元名を掲載している。 ・資料についての問いかけや活動を示す「Q」マークを示している。
46 帝国	社会科 中学生の公民よりよい社会を目指して	・教育内容の主な改善事項のうち、「言語能力の確実な育成」に関連して、章の導入では、見開きで実社会の様子をイラストで示し、課題意識を高める学習活動を掲載している。	【知識及び技能】 ・各節の理解を深めるために、「学習を振り返ろう」では、学習した内容を図で整理してまとめる学習活動を設けている。 ・学習に必要な技能を習得するために、「技能をみがく」では、引用の方法、カード分類法、ディスカッションの方法などを掲載している。 【思考力,判断力,表現力等】 ・現代社会の見方・考え方を働かせて考えるために、「学習を振り返ろう」では、章の問いに対する考えを図で整理する活動を設けている。 ・学んだことを生かすために、「アクティブ公民」では、「対立と合意」「効率と公正」等の視点で身近な課題を解決する例を掲載している。 【学びに向かう力,人間性等】 ・興味関心を高めるために、各章の「学習の前に」では、学習内容に関連したイラストを示し、身近な場面と結びつける内容を掲載している。 ・将来の社会参画に向けて考えることができるようにするために、「18歳への準備」のコーナーを設置している。 【かわさき教育プラン】 ・「働くことの意義と労働者の権利」の学習で、川崎市のチョーク工場で働く障害のある社員の写真を掲載している。 ・「環境・エネルギー」「防災」等の六つのテーマから未来をつくる取組を紹介するために、「未来に向けて」を掲載している。	【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】 ・各章に「章の問い」、節ごとに「節の問い」を示している。 ・章末に各節の問いをまとめて章の問いの解決を行うように設定している。 【分量・装丁】 ・巻頭では、公民の学習との関連を示すために、よりよい社会を目指して活動する人々の様子写真を掲載している。	・見開きの左下に小学校の学習や地理、歴史の学習で取り上げていることを示すマークを掲載している。 ・特設ページやコラムには、記載内容とSDGsの関連を示すSDGsマークを示している。
116 日文	中学社会 公民的分野	・教育内容の主な改善事項のうち、「言語能力の確実な育成」に関連して、見方・考え方を働かせるため、章の導入の工夫や、社会の課題を考えるコーナーを設けている。	【知識及び技能】 ・学習課題に対する理解を確かめるために、見開きのページ右下に「確認」のコーナーを設け、まとめの活動を示している。 ・知識の習得を図るために、「章のまとめをしよう」では、語句の意味の確認ができる図や資料を掲載している。 【思考力,判断力,表現力等】 ・資料をもとに考えることができるように、「アクティビティ」では、考える視点を話し合ったり、説明したりする活動を設けている。 ・身近な課題について興味関心をもてるよう、「チャレンジ公民」では、実社会を題材にした課題について考える活動を掲載している。 【学びに向かう力,人間性等】 ・各章の導入として、漫画を使って具体的な事例から単元の学習の見通しを示している。 ・「明日に向かって」というページを設け、地域社会や将来の課題から中学生の社会参画を促す手立てを示している。 【かわさき教育プラン】 ・「SDGsから社会の課題を考えよう」では、エネルギーの地産地消に関する事例として、神奈川県小田原市を取り上げている。 ・条例制定の具体的事例、プラスチックの海洋汚染について、神奈川県大和市、鎌倉市を取り上げている。	【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】 ・各章に「章の問い」、節ごとに「節の問い」を示している。 ・章末の「章のまとめをしよう」のページで、各節の問いをまとめて章の問いの解決を行うように設定している。 【分量・装丁】 ・巻頭では、持続可能な社会との関連を示すSDGsの説明と、日本や世界各地の取組を写真で掲載している。	他の場所にも記載がある語句については、語句の下部に、そのページ数を掲載している。 ・ページ下部には、小学校の学習や、地理、歴史の学習との関連を示すマークを示している。

発行者の 番号略称	書名	学習指導要領 との関連	内容	構成・分量・装丁	表記・表現
225 自由社	新しい公民 教科書	・教育内容の主な改善事項のうち、「言語能力の確実な育成」に関連して、社会的な課題について考えたり話し合ったりする活動を行うコーナーを設けている。	【知識及び技能】 ・学習内容を確認するために、章の終わりの「学習のまとめと発展」の「学習のまとめ」では、重要語句を確認するコーナーを設けている。 ・「やってみよう」のコーナーでは、見開きページの内容に応じて、話し合い活動、調べる活動、まとめの活動を促す課題を掲載している。 【思考力,判断力,表現力等】 ・「学習のまとめと発展」のページの「学習の発展」では、自らの考えを400字程度で記述する課題を設けている。 ・「アクティブに深めよう」では、社会的な課題を取り上げ、様々な立場を踏まえて、事象に対して考察するための学習活動を設けている。 【学びに向かう力,人間性等】 ・生徒の興味、関心を高めるために、「ミニ知識」というコラムや写真等の資料を提示している。 ・巻末では、世界に誇る日本の技術や伝統文化を調べるために、「職人の技が生み出した日本の伝統工芸品」を掲載している。 【かわさき教育プラン】 ・どうすれば自分たちの住むまちがよりよくなるかを考える活動を示した、「魅力あるまちづくりを考えよう」を掲載している。 ・最終章の「課題の探究」では、「持続可能な社会」「温室効果ガス排出削減」について考える課題の探究活動例を掲載している。	【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】 ・各章の始めに章の学習テーマを示している。 ・章末に発展的な学習課題を提示し、まとめができるような活動を設定している。 【分量・装丁】 ・巻頭では、公民の学習との関連を示すために、「すごいぞ 日本の技術は 世界に誇る日本の先端技術」を記載している。	・見開きの右下に学習課題に対する学習内容を整理した「ここがポイント」を掲載している。 ・12の人物キャラクターが疑問や気付きを投げかける吹き出しを示している。
227 育鵬社	新しいみんなの公民	・教育内容の主な改善事項のうち、「言語能力の確実な育成」に関連して、章の導入や章末のまとめで具体的な事例を通して考える学習活動を設けている。	【知識及び技能】 ・課題についての理解を確かめるために、見開きの学習内容ごとに、学習した内容を踏まえて説明する「確認」のコーナーを設けている。 ・知識の定着を図るために、各章末の「学習のまとめ」では、重要語句確認や既習事項に関して自分の考えをまとめる活動を掲載している。 【思考力,判断力,表現力等】 ・学んだことを生かして考えることができるように、「〇〇のこれから」では、章の課題について考察する学習活動を掲載している。 ・各章末の「学習のまとめ」では、現代社会の見方・考え方を働かせて、社会に見られる課題について考える問題を示している。 【学びに向かう力,人間性等】 ・「やってみよう」では、ディベートやシミュレーションなどを通じて社会参画や自己の将来を考える活動を掲載している。 ・「学習を深めよう」では、世界の人権問題や防災・減災を通じた社会参画等、現代社会の課題への具体的な取組を掲載している。 【かわさき教育プラン】 ・多文化共生社会や海洋プラスチックの問題の事例として、神奈川県横浜市の取組を掲載している。 ・巻頭に公民の学習の導入としてSDGsの目標と具体的な事例、巻末に持続可能な社会を目指した事例を示している。	【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】 ・各章の始めに章の学習内容、各節の課題を示している。 ・章末に単元で学習したことを生かしてまとめる活動を設定している。 【分量・装丁】 ・巻頭では、公民の学習との関連を示すために、SDGsに関わる日本や世界の現状や取組の写真を掲載している。	・他の場所にも記載がある語句については、語句の下部に、そのページ数を掲載している。 ・地理・歴史で学習した内容との関連がわかるよう、各所にマークを示している。

# 調査研究報告書 ⑥

## 社会科(地図)

発行者の 番号略称	書名	学習指導要領 との関連	内容	構成・分量・装丁	表記・表現
2 東書	新編 新しい社会 地図	・教育内容の主な改善事項のうち、「言語能力の確実な育成」に関連して、SDGs等の様々な現代的な諸課題に関する主題図や写真資料等を掲載している。	【知識及び技能】 ・一般図の読み取り方、テーマ地図やグラフ等の資料の読み取り方等、地図帳の活用方法を示した「Bee's eye」を掲載している。 ・地域の諸事象や地域的特色を捉えやすくするために、農産物や工業製品などをイラストで表している。 【思考力,判断力,表現力等】 ・課題解決のため、世界の各州や日本の各地方の概観に役立つ、地形や気候、土地利用などのテーマ地図等のページを設けている。 ・諸地域の学習で探究課題に沿った学習をする際に活用できるよう、各地域の主題図や項目に合わせた資料を掲載している。 【学びに向かう力,人間性等】 ・社会的事象を多面的・多角的に考察し、社会科各分野の学習との関連が分かるよう、「歴史・公民マーク」を付けて示している。 ・「ミツバチーズ」というキャラクターに吹き出しを設け、資料の読み取りのポイントや考察の視点等を示している。 【かわさき教育プラン】 ・SDGsに関わる、環境・資源・エネルギー問題、人口・貧困問題といった現代社会の諸課題を扱う特設ページを設けている。 ・関東地方の資料で、「東京の歴史と治水」において、川崎市や二ヶ領用水を掲載している。	【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】 ・学習の広がりを持たせるため、関連する資料の参照ページを「ジャンプ」で示している。 ・歴史学習で活用できるように、江戸の鳥瞰図や主題図等を掲載している。 【分量・装丁】 ・統計資料では、学習や主題図と関連して調べやすいように、世界や日本の統計情報をまとめ、掲載している。	・世界の地域を表す2000万分の1の地図では海底から陸地までを15段階で色分けしている。 ・日本の一般図の縮尺を100万分の1に統一し、陸地の高さを10段階と市街地で色分けして示している。
46 帝国	中学校社会科地図	・教育内容の主な改善事項のうち、「言語能力の確実な育成」に関連して、地図を読み取る視点としての「地図活用」、資料ページの「主題学習」を掲載している。	【知識及び技能】 ・地図帳の構成、方位、縮尺、一般図や資料図、グラフ等の読み取り方等、地図帳の活用方法についてのページを設け説明している。 ・学習活動を通して地図活用の技能が身に付くよう、各所に「地図活用」のコーナーを設けたり、世界各州の鳥瞰図を掲載したりしている。 【思考力,判断力,表現力等】 ・世界や日本の課題解決のため、自然環境、人口密度等、日本との結びつきに関する主題図を国や州ごとに同縮尺で掲載している。 ・資料のページでは、世界や日本に関する各地域の特色を多面的・多角的に考察することができるよう、「主題学習」を設定している。 【学びに向かう力,人間性等】 ・日本の自然災害や防災について見開きで示し、自然災害における被害や備えについて調べることができる資料を掲載している。 ・世界や日本の諸地域の学習で活用できるよう、世界の各州や日本の各地方の人口や産業などのテーマ地図を掲載している。 【かわさき教育プラン】 ・SDGsの観点に基づいた資料として、世界各地の環境問題や、持続可能な社会に向けた取組を写真等で紹介している。 ・関東地方の資料で、「東京都周辺の地形」において、川崎市や二ヶ領用水を掲載している。	【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】 ・国土地理院の地形図を取り上げ、地形図の活用を示したコーナーを設けている。 ・歴史学習で活用できるように、五街道を示した地図や主題図等を掲載している。 【分量・装丁】 ・統計資料では、学習や主題図と関連して調べやすいように、世界や日本、自然の統計情報をまとめ、掲載している。	・世界の地域を表す2000万分の1の地図では海底から陸地までを14段階で色分けしている。 ・日本の地方別地図を100万分の1に統一し、陸地の高さ4段階と五つの土地利用で色分けをしている。

# 調査研究報告書 ⑥

## 数学

発行者の番号略称	書名	学習指導要領との関連	内容	構成・分量・装丁	表記・表現
2 東書	新編 新しい数学 1 ～MATH CONNECT 数学の つながり～ 新編 新しい数学 2 ～MATH CONNECT 数学の つながり～ 新編 新しい数学 3 ～MATH CONNECT 数学の つながり～	・教育内容の主な改善事項のうち、「伝統や文化に関する教育の充実」に関連して、折り紙、SDGsの視点で食品ロスを考える内容、着物の模様、大工道具(さしがね)、3Dアートの問題を掲載している。	【知識及び技能】 ・知識・技能の定着を図るために、「問」のほかに基礎的内容を確認する「クイックチェック」を掲載している。 ・知識の系統的な習得のために、目次に関連事項を、巻末に「学びのベース」を掲載している。 【思考力,判断力,表現力等】 ・数学的な見方・考え方として、数学的活動の後に、大切にしたい考え方を「虫眼鏡マーク」で示している。 ・数学的思考,判断,表現の場として、章末に、「振り返りレポート」や根拠を説明する「活用の問題」を設けている。 【学びに向かう力,人間性等】 ・章の導入で、学ぶ必要性が感じられるよう実社会や日常生活とのつながりを取り上げている。 ・節の導入では、きまりを見つけ予想するなどの順を追って学習できる場面を設けている。 【かわさき教育プラン】 ・習熟の程度に応じた学習ができるように章末問題は「章の問題A」「章の問題B」「活用の問題」に分けている。 ・「チェックボックス」マークによって、「問」で身につけたい力を示している。	【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】 ・課題の「Q」について①、②、と段階的にステップを用意し活動をしやすくしている。 ・巻末の「数学の目で振り返ろう」は、既習の内容や数学的な見方・考え方をういて学習する構成にしている。  【分量・装丁】 ・B5判を採用している。 ・表紙はイラストを描いている。	・カラーユニバーサルデザインやユニバーサルデザインフォントを使用し、文章は文節で改行している。 ・キャラクターが、学びを深めるためのヒントを提示している。
4 大日本	数学の世界1 数学の世界2 数学の世界3	・教育内容の主な改善事項のうち、「伝統や文化に関する教育の充実」に関連して、防災、「主権者」として社会参画を促す内容、異文化理解、日本の伝統文化に関わる問題を掲載している。	【知識及び技能】 ・知識・技能の定着を図るために、「問」のほかに少し発展させた問題「プラス・ワン」を掲載している。 ・知識の系統的な習得のために、目次に関連事項を、学習過程に「思い出そう」を掲載している。 【思考・判断・表現】 ・数学的な見方・考え方として、例を挙げ一覧で巻頭に掲載し、発見や解決のための考え方を示している。 ・数学的思考,判断,表現の場として、「伝えよう」や「判断しよう」の問や、「レポートを書こう」を設けている。 【学びに向かう力,人間性等】 ・章の導入で、学ぶ必要性が感じられるよう実社会や日常生活とのつながりを取り上げている。 ・巻末のMATHFULでは、身の回りの生活にある数学が掲載している。 【かわさき教育プラン】 ・習熟の程度に応じて取り組めるよう、節,章,巻末に「たしかめよう」「○章をふりかえろう」「補充問題」を設けている。 ・問の横に発展的な補充問題となる「プラス・ワン」を掲載している。	【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】 ・問題解決の場面では、生徒が自ら解決できるよう「問題を見い出す→解決の仕方を探る→解決する→深める」の過程に沿って構成している。 ・二次元コードでは、理解を深めるためのアニメーションや動画などを掲載している。  【分量・装丁】 ・B5判を採用している。 ・表紙は数学を連想するミニチュア写真を掲載している。	・カラーユニバーサルデザインやユニバーサルデザインフォントを使用し、文章は文節で改行している。 ・生徒の問いや疑問、数学的な見方・考え方の深まりを虫眼鏡のマークやキャラクターの吹き出しで表している。
11 学図	中学校 数学 1 中学校 数学 2 中学校 数学 3	・教育内容の主な改善事項のうち、「伝統や文化に関する教育の充実」に関連して、温暖化や海面水位上昇について考えること、日本の伝統模様を扱う問題を掲載している。	【知識及び技能】 ・知識・技能の定着を図るために、式の計算や方程式の章で「計算力を高めよう」を掲載している。 ・知識の系統的な習得のために、目次に関連事項を、「ふりかえり」を二次元コードで掲載している。 【思考力,判断力,表現力等】 ・数学的な見方・考え方として、例を挙げ一覧で巻末に掲載し、数学的活動の後にその考え方を示している。 ・数学的思考,判断,表現の場として、学習したことを生かして考える章末の「深めよう」を設けている。 【学びに向かう力,人間性等】 ・章の導入で、学ぶ必要性が感じられるよう、日常生活とのつながりを取り上げている。 ・章や節のはじめでは、日常生活や数学の学習の中から新たな問いを見いだせる場面を設定している。 【かわさき教育プラン】 ・習熟の程度に応じて学習ができるよう、章末問題は「基本」「応用」「活用」に分けて設けている。 ・巻末の「○年の復習」では、基礎・基本となる問題に印を付けて、前の学年の復習をしやすくしている。	【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】 ・各章で何ができるようになったか自己評価する場面を設けている。 ・「Question」では、協働的活動を通し、主体的に問題解決していける構成にしている。  【分量・装丁】 ・B5判を採用している。 ・表紙は数学を連想する模様を掲載している。	・カラーユニバーサルデザインやユニバーサルデザインフォントを使用し、文章は文節で改行している。 ・すべてのページで色覚特性についてのチェックをし、見やすく区別しやすい色、デザインを採用している。
17 教出	中学数学 1 中学数学 2 中学数学 3	・教育内容の主な改善事項のうち、「伝統や文化に関する教育の充実」に関連して、和算、日本伝統模様、温暖化、CTスキャンを扱う問題を掲載している。	【知識及び技能】 ・知識・技能の定着を図るために、例と「問」の間に、段階を設け、例に類似した問題「たしかめ」を掲載している。 ・知識の系統的な習得のために、目次に関連事項を、「もどって確認」を「学びのマップ」と結びつけ示している。 【思考力,判断力,表現力等】 ・数学的な見方・考え方として、例を詳しく挙げ一覧で巻頭に掲載し、数学的活動の後にその考え方を示している。 ・数学的思考,判断,表現の場として、「みんなに説明しよう」の「問」や章末の「学んだことを活用しよう」を設けている。 【学びに向かう力,人間性等】 ・章の導入で、学ぶ必要性が感じられるよう実社会や日常生活、先端テクノロジーとのつながりを取り上げている。 ・「数学しごと人」として、数学を生かし社会で活躍している方へのインタビュー内容を掲載している。 【かわさき教育プラン】 ・習熟の程度に応じて取り組めるよう、章末に学習のまとめ、段階を設けた章の問題を提示している。 ・章末問題とは分けて、巻末の「実力アップ問題」に発展的な問題を掲載し、章末にはそのページを示している。	【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】 ・章の導入「Let's Try」は、生徒の生活に身近な題材で、対話形式で問いを生むよう構成している。 ・他者に考えを説明する活動を充実させる場面には、「みんなに説明しよう」「話し合ってみよう」などのマークを示している。  【分量・装丁】 ・B5判を採用している。 ・表紙は数学を連想する模様やその写真を掲載している。	・カラーユニバーサルデザインやユニバーサルデザインフォントを使用し、文章は文節で改行している。 ・キャラクターが、対話的活動を促したり、課題解決のためのヒントを提示したりしている。

発行者の番号略称	書名	学習指導要領との関連	内容	構成・分量・装丁	表記・表現
61 啓林館	未来へひろがる数学 1 未来へひろがる数学 2 未来へひろがる数学 3	・教育内容の主な改善事項のうち、「伝統や文化に関する教育の充実」に関連して、防災、異文化交流について考える内容、日本の伝統模様、大工道具(曲尺)の問題を掲載している。	【知識及び技能】 ・知識・技能の定着を図るために、段階を設けて例、例題、「問」を掲載している。 ・知識の系統的な習得のために、巻末に既習を復習する問題「学びをふりかえろう」を掲載している。 【思考力,判断力,表現力等】 ・数学的な見方・考え方として、巻頭に「たいせつな考え方」の例を掲載し、思考の場面でその考え方を示している。 ・数学的思考,判断,表現の場として、「説明しよう」「話しあおう」「まとめよう」を設けている。 【学びに向かう力,人間性等】 ・章の導入で、学ぶ必要性が感じられるよう実社会や日常生活とのつながりを取り上げている。 ・「数学ライブラリー」では、章の内容に関連したコラムを掲載している。 【かわさき教育プラン】 ・習熟の程度に応じて取り組めるよう、章末問題では「学びをたしかめよう」「学びを身につけよう」を設けている。 ・二次元コードから取り組めるコンテンツに考え方や解答、解説動画を掲載している。	【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】 ・課題解決の場面では、問題の発見、解決の流れを、3つのステップで考えられるよう構成している。 ・章の導入では、数学が日常生活や現実社会で有用に働いていることを実感できる身の回りの題材を掲載している。  【分量・装丁】 ・B5判を採用している。 ・表紙は数学を連想させる模様を掲載している。	・カラーユニバーサルデザインやユニバーサルデザインフォントを使用し、文章は文節で改行している。 ・キャラクターの吹き出しで、数学的な見方・考え方のキーワードを示したり、注意を喚起したりする場面を設けたりしている。
104 数研	これからの数学 1 これからの数学 2 これからの数学 3	・教育内容の主な改善事項のうち、「伝統や文化に関する教育の充実」に関連して、和布の模様、和算について、SDGsの観点から気候変動について考える内容、大工道具(曲尺)に関わる問題を掲載している。	【知識及び技能】 ・知識・技能の定着を図るために、補充用の問題を二次元コードから接続できる「Link補充」を掲載している。 ・知識の系統的な習得のために、巻末に「中学〇年までのまとめ」を内容ごとに掲載している。 【思考力,判断力,表現力等】 ・「数学的な見方・考え方」を巻頭に一覧で掲載し、つねに意識してほしい考え方として示している。 ・数学的思考,判断,表現の場として、「Q」「TRY」「学んだことを活用しよう」などを各所に設けている。 【学びに向かう力,人間性等】 ・章の導入で、学ぶ必要性が感じられるよう実社会や日常生活、先端テクノロジーとのつながりを取り上げている。 ・巻末の「数学旅行」に、数学を生かして仕事をしている人のインタビュー記事を掲載している。 【かわさき教育プラン】 ・章末の問題に、習熟の程度に応じて取り組めるよう、基礎的「問題A」と発展的「問題B」を掲載している。 ・巻末にはチャレンジ編「力をつけよう」、「力をのばそう」を掲載し、発展問題に取り組めるようにしている。	【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】 ・言語活動を充実させるよう、方法、理由などを説明させる問いや、考えを他者に伝える機会を設定している。 ・生徒キャラクターの会話から、理解を深めるきっかけとなる疑問が投げかけられている。  【分量・装丁】 ・B5判を採用している。 ・表紙は数学を連想させる模様を掲載している。	・カラーユニバーサルデザインやユニバーサルデザインフォントを使用し、文章は文節で改行している。 ・キャラクターが、対話的活動を促したり、課題解決のためのヒントを提示したりしている。
116 日文	中学数学 1 中学数学 2 中学数学 3	・教育内容の主な改善事項のうち、「伝統や文化に関する教育の充実」に関連して、バリアフリー、SDGs、万博、音楽ホール、昔の測量に関わる問題を掲載している。	【知識及び技能】 ・知識・技能の定着を図るために、「考えよう」「深めよう」など記した問を段階的に設定している。 ・知識の系統的な習得のために、目次に関連事項を、吹き出しで前の学年の学習との違いを示している。 【思考力,判断力,表現力等】 ・数学的な見方・考え方として、数学的活動の場面で「大切な見方・考え方」を示している。 ・数学的思考,判断,表現の場として、「話し合おう」などの問や、巻末に「説明できるかな？」の問題を設けている。 【学びに向かう力,人間性等】 ・章の導入で、学ぶ必要性が感じられるよう実社会や日常生活とのつながりを取り上げている。 ・キャラクターの吹き出しで、主体的に学習に取り組む態度に関するコメントを示唆している。 【かわさき教育プラン】 ・習熟の程度に応じて学習できるよう、巻末に「補充問題」、「活用の問題」を掲載している。 ・「例」や「問」の理解を補助するような内容を二次元コードから確認できるコンテンツを設けている。	【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】 ・章の内容を日常生活につなげるような事項を対話形式で示している。 ・「学び合おう」では、問題解決型の学習を5つの段階を追って進められるよう示し、協働的な学びが展開できるよう巻末に「対話シート」を掲載している。  【分量・装丁】 ・B5判を採用している。 ・表紙は数学を連想させる写真を掲載している。	・カラーユニバーサルデザインやユニバーサルデザインフォントを使用し、文章は文節で改行している。 ・キャラクターが、対話的活動を促したり、既習との繋がりや学習内容の確認を表したりしている。

# 調査研究報告書 ⑥

## 理科

発行者の番号 略称	書名	学習指導要領との関連	内容	構成・分量・装丁	表記・表現
2 東書	新編 新しい科学1 新編 新しい科学2 新編 新しい科学3	・教育内容の主な改善事項のうち、「理数教育の充実」に関連して、探究の過程を確認できるように、ページの脚注に「学びのフローチャート」を示す工夫をしている。日常生活や社会との関連を重視するために、「社会につながる科学」を設定している。	【知識及び技能】 ・単元末に、「学習内容の整理」「確かめ問題」を掲載している。 ・器具の操作や実験手順について、二次元コードから操作説明を確認する工夫をしている。 【思考力,判断力,表現力等】 ・探究の過程を「問題発見」「?(課題)」「仮説」「構想」「観察・実験」「分析・解釈」「検討・改善」「!(結論)」「ふり返り」「活用」で構成している。 【学びに向かう力,人間性等】 ・単元や章の扉には、学習内容を想起する「スタート動画」を掲載している。 ・単元の始めと終わりに、学習の前後で同じ問いかけをする「Before & After」を設定している。 【かわさき教育プラン】 ・学習内容に関連した「私たちのSDGs」を掲載している。 ・職業に就いている人の仕事を、学習内容と関連付ける「お仕事図鑑」を設定している。	【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】 ・キャラクターの吹き出しで、問いや探究を進めるヒントを例示している。 ・単元末に「社会につながる科学」を設定している。 【分量・装丁】 ・1年は262ページである。 ・2年は314ページである。 ・3年は326ページである。 ・判型をAB判を採用している。	・本文などの主要部分にユニバーサルデザインフォントを使用している。 ・理科用語は、黒の太字で表している。 ・注意が必要な活動には、注意マークのアイコンで示す工夫をしている。 ・内容を記した二次元コードを、随所に掲載している。
4 大日本	理科の世界 1 理科の世界 2 理科の世界 3	・教育内容の主な改善事項のうち、「理数教育の充実」に関連して、探究の中で考えを深める場面には、「問題を見付けよう」「計画を立てよう」などのマークを示す工夫をしている。日常生活や社会との関連を重視するために、「くらしの中の理科」を設定している。	【知識及び技能】 ・章末に、「章末問題」を、単元末に「まとめ」「単元末問題」を掲載している。 ・器具の操作について、「基本操作」と二次元コードの動画で示す工夫をしている。 【思考力,判断力,表現力等】 ・考えを深める場面として、「問題を見つけよう」「計画を立てよう」「結果から考えよう」「振り返ろう」「話し合おう」で構成している。 【学びに向かう力,人間性等】 ・単元の始めに、「これまでに学習したこと」「これから学習すること」を掲載している。 ・単元末に、「探究活動」を設定している。 【かわさき教育プラン】 ・終章では、持続可能な社会にする方法について話し合う場面を設定している。 ・理科に関連する職業を取り上げる「Professional」を、複数設定している。	【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】 ・キャラクターの吹き出しで、問いや予想などを例示している。 ・単元末に「つながる×Science Press」を設定している。 【分量・装丁】 ・1年は294ページである。 ・2年は318ページである。 ・3年は374ページである。 ・判型をB5判を採用している。	・ユニバーサルデザインフォントを使用している。 ・理科用語は、黒のゴシック体で表している。 ・注意が必要な活動には、「注意マーク」とともに色囲みで内容を示す工夫をしている。 ・タブレットマークと二次元コードを、複数掲載している。
11 学図	中学校 科学 1 中学校 科学 2 中学校 科学 3	・教育内容の主な改善事項のうち、「理数教育の充実」に関連して、探究の過程を意識できるように、ページの左端に探究の場面を文字とアイコンで示す工夫をしている。日常生活や社会との関連を重視するために、章の扉に学習内容に関連するSDGsのアイコンを掲載している。	【知識及び技能】 ・単元末に、「学習のまとめ」と「単元末問題」を掲載している。 ・器具の操作について、巻末の「基本操作」と二次元コードの動画で示す工夫をしている。 【思考力,判断力,表現力等】 ・探究の過程を「気づき」「課題設定」「仮説」「検証計画」「観察・実験」「結果」「考察」「振り返り」で構成している。 【学びに向かう力,人間性等】 ・巻頭の「なぜ理科を学ぶの？」では、科学的に探究することの意味について掲載している。 ・単元の始めに、「学びのあしあと」や「Can-Do-List」を設定している。 【かわさき教育プラン】 ・各章の扉にはSDGsマークを、補充資料にはSDGsや脱炭素社会について掲載している。 ・働く人を紹介する「学習内容と仕事」を、後ろ見返しに設定している。	【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】 ・キャラクターの吹き出しで、探究のヒントや教師の発話などを例示している。 ・随所に「理路整然」を設定している。 【分量・装丁】 ・1年は264ページである。 ・2年は304ページである。 ・3年は304ページである。 ・判型をAB判を採用している。	・すべての文字にユニバーサルデザインフォントを使用している。 ・理科用語は、ゴシック体で表している。 ・注意が必要な活動には、赤地に白字で「注意!!」マークを表示し、色囲みに赤字で内容を示す工夫をしている。 ・二次元コードを、全ページの上部に掲載している。
17 教出	自然の探究 中学理科 1 自然の探究 中学理科 2 自然の探究 中学理科 3	・教育内容の主な改善事項のうち、「理数教育の充実」に関連して、探究の過程を意識できるように、巻頭に「探究の進め方」を折り込みで示す工夫をしている。日常生活や社会と関連する内容を、「ハローサイエンス」の中で掲載している。	【知識及び技能】 ・単元末に、「要点と重要用語の整理」「基本問題」「活用問題」を掲載している。 ・器具の操作について、「基礎技能」と二次元コードによる動画で示す工夫をしている。 【思考力,判断力,表現力等】 ・探究の過程を「疑問を見つける」「課題を決める」「仮説を立てる」「計画を立てる」「観察する・実験する」「考察する」「結論を示す」で構成している。 【学びに向かう力,人間性等】 ・巻頭の「探究とは」では、探究の進め方について掲載している。 ・章の始めに「学習前の私」を、章末に「学習後の私」を設定している。 【かわさき教育プラン】 ・SDGsの17のアイコンを、巻頭に掲載している。 ・科学に関する専門家を紹介するコーナーを、巻頭に設定している。	【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】 ・複数のキャラクターの吹き出しで、課題や仮説などを例示している。 ・単元末に「広がる科学の世界」を設定している。 【分量・装丁】 ・1年は291ページである。 ・2年は315ページである。 ・3年は347ページである。 ・判型をAB変型判を採用している。	・ユニバーサルデザインフォントを使用している。 ・理科用語は、太い色文字で表している。 ・注意が必要な活動には、「禁止」や「注意」のマークと文で内容を示す工夫をしている。 ・内容を記した二次元コードを、ページの下部の随所に掲載している。

発行者の番号 略称	書名	学習指導要領との関連	内容	構成・分量・装丁	表記・表現
61 啓林館	未来へひろがるサイエンス 1 未来へひろがるサイエンス 2 未来へひろがるサイエンス 3	・教育内容の主な改善事項のうち、「理数教育の充実」に関連して、探究の過程を意識できるように、ページ左端に探究の過程を線で繋いで示す工夫をしている。巻末に「探Qシート」や「探Qラボ」を折り込みで示している。日常生活や社会との関連を重視するために、「部活ラボ」「お料理ラボ」「防災減災ラボ」などを掲載している。	【知識及び技能】 ・単元末に、「学習のまとめ」やCBTに対応した「動画でチャレンジ」などを掲載している。 ・器具の操作について、「サイエンス資料」と二次元コードによる動画で示す工夫をしている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・探究の過程を「疑問」「課題」「仮説」「計画」「観察・実験」「結果」「考察」「表現」「ふり返り」で構成し、巻末に探Qシートを設けている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・章の初めの「はてなスイッチ」では、二次元コードから学習内容を想起する動画を設定している。 ・単元の始めに「学ぶ前にトライ！」を、単元末に「学んだ後にリトライ！」を設定している。 【かわさき教育プラン】 ・SDGsとの関連を示す題材にSDGsマークを付け、巻末には資料集を設定している。 ・キャリア教育と関連する「お仕事ラボ」を、複数設定している。	【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】 ・キャラクターの吹き出しで、探究を進めるヒントを例示している。 ・随所に「考えてみよう」や「Action」を設定している。 【分量・装丁】 ・1年は300ページである。 ・2年は324ページである。 ・3年は356ページである。 ・判型をAB判を採用している。	・ユニバーサルデザインフォントを使用している。 ・理科用語は、黒の太字ゴシック体で表している。 ・注意が必要な活動には、8種類の「安全マーク」と説明、黄地に赤字の「注意」マークと文を示す工夫をしている。 ・内容を記した二次元コードを、随所に掲載している。

# 調査研究報告書 ⑥

## 音楽(一般)

発行者の 番号略称	書名	学習指導要領との 関連	内容	構成・分量・装丁	表記・表現
17 教出	中学音楽 1 音楽のおく りもの 中学音楽 2・3上 音楽のおく りもの 中学音楽 2・3下 音楽のおく りもの	・教育内容の主な改善 事項のうち、「伝統や文 化に関する教育の充実」 に関連して、我が国の伝 統音楽、郷土の民謡や 芸能、歌唱共通教材、 諸外国の音楽等を掲載 し、我が国や郷土、諸外 国の音楽文化を尊重す る態度を養う工夫をして いる。	【知識及び技能】 ・音楽を形づくっている要素を解説し、それらの働きを意識しながら鑑賞するコーナーを設けている。 ・姿勢や息のコントロール、言葉の発音等、歌うためのワンポイント・アドバイスを掲載している。 【思考力,判断力,表現力等】 ・音楽を形づくっている要素の視点で曲の特徴について考えるポイントを示している。 ・教材を比較して学習を進め、特徴を書き込む欄やそれをもとに話し合う手立てを示している。 【学びに向かう力,人間性等】 ・各教材に「学習目標」や「具体的な学習活動」を示したり、「学習したことを生かして比較する活動」を掲載したりしている。 ・「アウトリーチ」や「著作権」など、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化について扱うコーナーを設けている。 【かわさき教育プラン】 ・友だちとの関わりの中で学習を進める活動を掲載している。	【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】 ・キャラクターを活用して学習の流れを示したり、教材を比較して学ぶためのコーナーや学び合うための活動例を示すコーナーを設けたりしている。 ・冒頭に領域や分野ごとの教材を示した「学習MAP」を掲載し、各教材に学習目標や学習の流れを示している。 【分量・装丁】 ・巻末の折込みは厚い紙質を使用している。	・学習目標の帯の色を歌唱・創作・鑑賞で色分けしている。 ・歌唱共通教材は、「日本の歌、みんなの歌」として、縦書きの歌詞を別記し、難しい語句には注釈を加え、情景を想像するための写真を掲載している。
27 教芸	中学生の音 楽 1 中学生の音 楽 2・3 上 中学生の音 楽 2・3 下	・教育内容の主な改善 事項のうち、「伝統や文 化に関する教育の充実」 に関連して、我が国の伝 統的な音楽や郷土の音 楽、歌唱共通教材、諸 外国の音楽文化を扱っ た教材を掲載し、我が国 や郷土、諸外国の音楽 文化を尊重する態度を 養う工夫をしている。	【知識及び技能】 ・曲想と音楽の構造などとの関わりについて理解を促すためにキャラクターを活用している。 ・創意工夫を生かした表現を行うために必要な技能を身に付けるための手立てを掲載している。 【思考力,判断力,表現力等】 ・各教材に思考・判断のよりどころとする主な音楽を形づくっている要素を示し、巻末に各要素について確認するコーナーを設けている。 ・キャラクターを活用して思考を促すヒントや考えるきっかけを示し、その視点で学習を進めるコーナーを設けている。 【学びに向かう力,人間性等】 ・各教材に「学習目標」「具体的な学習活動」「考えたいポイント」「音楽を形づくっている要素」を示している。 ・「仕事と音楽」や「著作権」、「社会を映し出す音楽」など、生活や社会における音や音楽の働き、音楽文化について扱うコーナーを設けている。 【かわさき教育プラン】 ・友だちと対話したり協働したりしながら学習を進める活動を掲載している。	【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】 ・各教材の横に、音楽的な見方・考え方を働かせて学習するために考えたいポイントを示したり、キャラクターや吹き出しを活用して思考を促すための手立てを示したりしている。 ・冒頭に資質・能力と、それに対応した学習内容や教材を示し、各教材に目標とする学習内容や思考・判断のよりどころとなる音楽を形づくっている要素を示している。 【分量・装丁】 ・全体を通して同じ紙質、綴じ方で統一している。	・各教材のページの色を歌唱・創作・鑑賞で色分けしている。 ・歌唱共通教材は、「心の歌」として、縦書きの歌詞を別記し、難しい語句には注釈を加え、情景を想像するための写真を掲載している。

# 調査研究報告書 ⑥

## 音楽(器楽合奏)

発行者の 番号略称	書名	学習指導要領との 関連	内容	構成・分量・装丁	表記・表現
17 教出	中学器楽 音楽の おくりもの	・教育内容の主な改善事項のうち、「伝統や文化に関する教育の充実」に関連して、我が国の伝統的な音楽を扱った教材や我が国と諸外国の楽器を比較する教材を掲載し、我が国の伝統と文化、他国を尊重する態度を養う工夫をしている。	【知識及び技能】 ・各楽器の音色と奏法との関わりや曲想と音楽の構造などとの関わりについて理解を促すコーナーを掲載している。 ・基礎的な奏法の習得に向け、姿勢と構え方、奏法や運指について、文章やイラスト、写真を掲載している。 【思考力,判断力,表現力等】 ・キャラクターや吹き出しを活用して、楽器を創意工夫して演奏する際のアドバイスや解説などを示している。 ・器楽の学習を生かし、鑑賞の領域と関連付けながら共通点や相違点を考えたり、創作の活動に取り組んだりするコーナーを掲載している。 【学びに向かう力,人間性等】 ・ストリート・ピアノや諸外国の音楽文化など、生活の中にある様々な音や音楽、音楽文化への関心を促すコーナーを設けている。 ・学習したことを生かして、さらに発展的に取り組むための「深めてみよう」のコーナーを掲載している。 【かわさき教育プラン】 ・自分の意見を友達と共有する学習や、アンサンブルの教材など、友達と協働的に学習を進める教材を掲載している。	【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】 ・題材名を各楽器のページの見開きにし、各教材に学習目標を示している。 ・各楽器の学習は、楽器の歴史や種類、基本的な奏法、練習曲で構成し、それを生かして合奏する「合わせて演奏しよう」や「名曲旋律集」を掲載している。 【分量・装丁】 ・巻末の折込みは厚い紙質を使用している。	・箏の楽譜は、すべての曲を五線譜で示し、和楽器固有の楽譜を別のページに掲載している。 ・「リコーダー運指表」と「ギター&キーボードコード表」を折込みページの見開きで掲載している。
27 教芸	中学生の器楽	・教育内容の主な改善事項のうち、「伝統や文化に関する教育の充実」に関連して、我が国や郷土の伝統的な音楽や楽器、諸外国の音楽で使用する楽器を掲載し、我が国や郷土の伝統音楽への理解を深めるとともに、様々な音楽文化に対する興味・関心を高める工夫をしている。	【知識及び技能】 ・各楽器の音色と奏法との関わりや曲想と音楽の構造などとの関わりについて理解を促すコーナーを掲載している。 ・基礎的な奏法の習得に向け、姿勢と構え方、奏法や運指について、Q&Aのコーナーや文章、イラストや写真を掲載している。 【思考力,判断力,表現力等】 ・キャラクターや吹き出しを活用して、音楽を形づくっている要素について知覚・感受し、それをもとに創意工夫を考えるためのヒントを示している。 ・器楽の学習を生かし、課題や条件に沿って音で確認しながら創作の学習を進める手立てを示している。 【学びに向かう力,人間性等】 ・郷土の祭りや芸能、バンドのスコアなど、生活の中にある様々な音や音楽、音楽文化への関心を促すコーナーを設けている。 ・音楽活動の楽しさを体験するために、様々な楽器編成に対応した編曲の教材を掲載している。 【かわさき教育プラン】 ・曲に対する自分の考えをもち、友達との意見交流を行う学習や、協働しながら学習を進める教材を掲載している。	【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】 ・冒頭に資質・能力と、それに対応した学習内容を示し、各教材に学習目標や学習活動、音楽を形づくっている要素を示している。 ・各楽器の学習は、鑑賞曲、楽器の歴史や種類、基本的な奏法、練習曲で構成し、それを生かして学習を進める「アンサンブルセミナー」や「学びのコンパス」、「楽器でMelody」を掲載している。 【分量・装丁】 ・全体を通して同じ紙質、綴じ方で統一している。	・箏の楽譜は、すべての曲を和楽器固有の楽譜で示し、必要な部分には同じページ内に五線譜を掲載している。 ・「リコーダーの運指表」と「ギター/キーボードコード表」を見開きで掲載している。

# 調査研究報告書 ⑥

## 美術

発行者の 番号略称	書名	学習指導要領との 関連	内容	構成・分量・装丁	表記・表現
9 開隆堂	美術 1 美術 2・3	・教育内容の主な改善事項のうち「伝統や文化に関する教育の充実」に関連して、日本の美術や美術文化を多種多様に掲載し、身近な視点から美術や美術文化について理解できるように工夫している。	【知識及び技能】 ・共通事項や表現の工夫について考えられるように、「知識・技能」を小見出しで示している。題材によっては共通事項や美術に関連する用語を意識できるように、「美術の用語」に示している。 ・表現方法や材料・用具の使い方について分かるように、「学びの資料」を各巻末に掲載している。 【思考力,判断力,表現力等】 ・表したいことを見つけたり感じ方を広げたりできるように、吹き出しで示している。 ・作品全体と筆のタッチを感じ取れるように、縮小した全体図版と一部分を拡大した原寸大図版を掲載している。 【学びに向かう力,人間性等】 ・学習全体の見通しをもって取り組めるように、「美術ではこんなことを学ぶよ」を掲載している。 ・学んだことを生かしてこれからの自分や社会のことについて考えられるように、「美術と私と社会」を掲載している。 【かわさき教育プラン】 ・地域との交流や共同するよさに気付くように、共同作品や地域での活動を「共に学ぶ美術」に掲載している。	【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】 ・導入や技法の動画、作品やワークシート等の資料が見られる二次元コードを掲載している。 ・表現と鑑賞の関連を図って、「鑑賞」、「発想・構想」、「知識・技能」の順番で小見出しを構成している。 【分量・装丁】 ・A4ワイド判で、学習指導要領で示された学年区分に合わせて2分冊にしている。 ・表紙は西洋美術作品とし、質感が感じられるように凹凸を付けている。	・色彩と光に関する資料では、三原色について示すとともに、見え方の違いが少なくなるように、黄色を使って明度と彩度の変化を示している。
38 光村	美術 1 美術 1 資料 美術 2・3	・教育内容の主な改善事項のうち「伝統や文化に関する教育の充実」に関連して、日本の美術作品を鑑賞する題材や、全国の伝統工芸を掲載し、日本の伝統文化を理解できるように工夫している。	【知識及び技能】 ・共通事項や表現の工夫について考えられるように、「POINT」や吹き出しを示している。 ・技法や用具の取り扱い方について分かるように、別冊資料にまとめている。 【思考力,判断力,表現力等】 ・題材によっては、生徒が表したいことや表現の工夫、詳細な制作過程をまとめた「みんなの工夫」を掲載している。 ・本物の雰囲気や近づけた図版で鑑賞できるように、和紙のような紙に浮世絵や絵巻物を原寸大で掲載している。 【学びに向かう力,人間性等】 ・絵や彫刻に表現する学習の見通しが持てるように、作品の見方や表現の工夫について「『絵や彫刻』の世界」に掲載している。 ・美術の力や働きについて学習を振り返って考えられるように、「美術の力」を掲載している。 【かわさき教育プラン】 ・人と人をつなぎよりよい未来を生み出すきっかけとなるように、共同作品やSDGsに関わる作品を「私たちに問かける美術」に掲載している。	【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】 ・生徒のインタビューや技法等の動画、作品等の資料が見られる二次元コードを掲載している。 ・4ページで示されている表現題材では、表現と鑑賞の関連を図って、「鑑賞」、「表現(発想・構想)」、「鑑賞」の順番で小見出しを構成している。 【分量・装丁】 ・A4ワイド判で、学習指導要領で示された学年区分に合わせて2分冊にし、技法等を別冊にまとめている。 ・表紙は西洋美術作品と日本美術作品、資料の表紙は現代作家が制作した作品を掲載している。	・色の仕組みの資料では、補色と色立体について示すとともに、明度と彩度の変化が分かりやすくなるように、赤色を使って示している。
116 日文	美術 1 美術との出会い 美術 2・3 上 学びの実感と深まり 美術 2・3 下 学びの探求と未来	・教育内容の主な改善事項のうち「伝統や文化に関する教育の充実」に関連して、日本の伝統文化に関わる題材や、伝統工芸、美術作品等を掲載し、伝統文化を理解できるように工夫している。	【知識及び技能】 ・共通事項や表現の工夫について考えられるように、「造形的な視点」を示している。 ・技法や用具の扱い方について分かるように、「学びを支える資料」を各巻末に掲載している。 【思考力・判断力・表現力等】 ・表したいことを見つけて表現を工夫できるように、表現方法や技能の補足を「表現のヒント」に示している。 ・本物の作品を鑑賞していることに近づけるために、浮世絵の図版を観音開きのページに原寸大で掲載している。また、屏風の特徴を実感できるように、折り曲げて鑑賞できる図版を観音開きのページに掲載している。 【学びに向かう力,人間性等】 ・学習のねらいが明確になるように、絵や彫刻に表現する学習の細かな内容を「絵や彫刻との出会い」に掲載している。 ・美術で学んだ力を生活や社会で生かせるように、作家の言葉を「社会に生きる美術の力」に掲載している。 【かわさき教育プラン】 ・たくさんの人とつくるよさに気付けるように、地域での活動や共同作品を「さまざまなアートにふれよう」に掲載している。	【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】 ・作家のインタビューや技法等の動画、作品等の資料が見られる二次元コードを掲載している。 ・表現と鑑賞の関連を図って、「鑑賞の入り口」を最初に示し、「表現のヒント」を囲みで示している。 【分量・装丁】 ・A4ワイド判で、学年に合わせて3分冊にしている。 ・表紙は、各学年に関連した西洋美術図版と日本美術図版、現代美術図版とし、表紙と裏表紙にまたがって掲載している。	・色の三属性の資料では、色の膨張・収縮、進出・後退について示すとともに、見え方の違いが少なくなるように、黄色を使って明度と彩度の変化を示している。

# 調査研究報告書 ⑥

## 保健体育

発行者の番号 略称	書名	学習指導要領との関連	内容	構成・分量・装丁	表記・表現
2 東書	新編 新しい保健 体育	・教育内容の主な改善事項のうち、「言語能力の確実な育成」に関連して、情報を集めたり調べたりして課題を解決するために「課題の解決」を設定している。また、習得した知識・技能を活用してより深く考えるために「活用する」「広げる」を設定している。	【知識及び技能】 ・知識を広げたり技能を習得したりするために、各章に「章末資料」や「学習のまとめ」を設定している。 ・「巻末スキルブック」に、健康や安全に必要な知識や技能を確認できる資料を掲載している。 【思考力,判断力,表現力等】 ・思考を促すために、「見つける」「学習課題」でステップを踏んだ発問を提示している。 ・思考を深めるために、「活用する」「広げる」で日常生活に結び付ける活動を提示している。 【学びに向かう力,人間性等】 ・各章の学習内容に関係する職業を紹介する「保健体育の職業」を掲載している。 ・学習したことを自他の生活に当てはめて考える活動を「広げる」で設定している。 【かわさき教育プラン】 ・口絵や「章末資料」「読み物」等で、今日的な健康課題について記載している。 ・性の多様性に配慮するために、教科書本文の表記を、「異性」ではなく「異性など」としている。	【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】 ・「見つける」「学習課題」「課題の解決」「活用する」「広げる」という流れで構成している。 ・「活用する」では、仲間に説明したり仲間と話し合ったりする活動を示している。  【分量・装丁】 ・1単位時間の学習内容を、見開きで完結するようにしている。	・本文は明朝体、本文中のキーワードはゴシック体で表記している。 ・キャラクターの吹き出しで、学びを深めるヒントや学習のポイントに迫る言葉を掲載している。
4 大日本	中学校保健体育	・教育内容の主な改善事項のうち、「言語能力の確実な育成」に関連して、対話を通して思考を広げ、深めていけるように「話し合ってみよう」を設定するなど、対話的な活動を促している。また、学びをより深めるために「活用して深めよう」を設定している。	【知識及び技能】 ・学習内容がより深まるように、まとめ部分の「活用して深めよう」で実生活につながる学習課題を示している。 ・各章末で要点の再確認ができる資料を掲載したり、「重要な言葉」を説明するページを設けたりしている。 【思考力,判断力,表現力等】 ・「話し合ってみよう」で、自分の考えを伝えたり仲間の考えを聞いたりする学習活動を設定している。 ・学びを広げ深めながら日常生活に生かせるように、各章末に「学びを活かそう」というページを設けている。 【学びに向かう力,人間性等】 ・章の扉ページに、章に関連する中学生の授業の様子や生活の様子を掲載している。 ・興味・関心を高め主体的に学習することができるように、口絵に写真や資料等を掲載している。 【かわさき教育プラン】 ・中学生が避難所でできること等、自分でできそうなことを考え、グループで話し合う学習を設けている。 ・性別に関わりなく個性や能力を大切にすることに関する内容を、トピックスに掲載している。	【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】 ・「学習のねらい」「つかもう」「やってみよう・話し合ってみよう・調べてみよう」「活用して深めよう」という学習の流れで構成している。 ・ブレインストーミングやロールプレイング等の説明を巻頭の「保健体育の学び方」で示している。  【分量・装丁】 ・1単位時間の学習内容を基本的に見開きで作成している。	・重要語句を太字で表記し、文章が文節の途中で切れない改行にしている。 ・主題の横に関わりのある資料番号を掲載して関連を示し、資料を見開き右側ページにまとめている。
50 大修館	最新 中学校保健 体育	・教育内容の主な改善事項のうち、「言語能力の確実な育成」に関連して、学習課題への気付きや思考を促すために「課題をつかむ」「きょうの学習」を設定している。また、仲間との対話的な学びや深い学びを実現するために「学習のまとめ」を設定している。	【知識及び技能】 ・知識の着実な定着につながるように、本文の見出しを、学習内容の要点をまとめた表記にしている。 ・「章のまとめ」に、知識や技能が身に付いたかを確認できる問題を掲載している。 【思考力,判断力,表現力等】 ・学びを広げ深めるために、「Web保体情報館」で学習に関連する情報を調べる活動を提示している。 ・「学習のまとめ」で、自分の考えを伝えたり仲間の考えに触れたりする活動を提示している。 【学びに向かう力,人間性等】 ・興味・関心を高めるため、各章の扉に学習内容や実生活と関連する写真や説明を掲載している。 ・「学習のまとめ」で、生活を見直したり社会の在り方を考えたりする活動を提示している。 【かわさき教育プラン】 ・現代の健康課題や安全な生活について、「特集資料」「体育の窓」「コラム」等で説明している。 ・口絵「共生社会をつくるために」で、様々な人の活躍する姿を紹介している。	【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】 ・「課題をつかむ」「身につける・考える」「まとめる・振り返る」という流れで構成している。 ・ディスカッションやアンケート・実地調査等の学習方法を「保健体育の学び方」で示している。  【分量・装丁】 ・1単位時間の内容を見開きで作成し、本文を中央に配置している。	・資料等を罫線で囲み、本文と区別できるレイアウトにしている。 ・学習内容について、キャラクターの吹き出しで見方や考え方などのヒントを提示している。
224 学研	新・中学保健体育	・教育内容の主な改善事項のうち、「言語能力の確実な育成」に関連して、学習した知識や情報を基に、考えたり、調べたり、話し合ったりするために「エクササイズ」を設定している。また、学習を深めたり生活への実践につなげたりするために「学びを生かす」を設定している。	【知識及び技能】 ・「学びを生かす」で、知識をまとめたり、深めたり、活用したりする活動を提示している。 ・学んだことを確認し、生活に活用できるようにするために、各章に「章のまとめ」を設定している。 【思考力,判断力,表現力等】 ・考えたことや学びたいこと等を教科書に直接書き込むことができる枠を設けている。 ・「エクササイズ」や「学びを生かす」で、話し合いを促すような学習課題を提示している。 【学びに向かう力,人間性等】 ・「とりくメーカー」で、毎時間の取り組み度合いを振り返り、自己評価できるようにしている。 ・「生活への活用」で、さらに学習したいことや生活に生かしたいことを記述する活動を提示している。 【かわさき教育プラン】 ・川崎市の「水とかがやく未来館」の写真や、危険回避を図るAIアプリの資料を掲載している。 ・「探究しようよ！」でLGBT、LGBTQ+、SOGI等、性の多様性や個人差について説明している。	【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】 ・「ウォームアップ」「学習の課題」「エクササイズ」「学びを生かす」という学習活動の流れで構成している。 ・深い学びにつながるよう、各章末に「探究しようよ！」を設けている。  【分量・装丁】 ・1単位時間の内容を、基本的に見開きで完結するようにしている。	・毎時間の導入「ウォームアップ」の位置を固定するとともに、「エクササイズ」「学びを生かす」を同じ色で表記している。 ・学習内容を確認したり、生徒の思考を促したりするため、キャラクターの言葉を語りかけたり問いかけたりする表現にしている。

# 調査研究報告書 ⑥

## 技術・家庭(技術分野)

発行者の番号 略称	書名	学習指導要領との 関連	内容	構成・分量・装丁	表記・表現
2 東書	新編 新しい 技術・家庭 技術分野 未来を創る Technology	・教育内容の主な改善 事項のうち、「伝統や 文化に関する教育の 充実」に関連して、木 造建築の伝統的な接 合技術について掲載 している。	【知識及び技能】 ・技術の原理・法則や基礎的な技術の仕組みについて、本文の内容を裏付ける図を用いて掲載している。 ・問題解決に必要な基礎技能は「TECH Lab」などにまとめ、写真や図を用いて掲載している。 【思考力,判断力,表現力等】 ・技術の見方・考え方について、ガイダンスの「最適化の窓」や章の始めに掲載している。 ・「問題の発見、課題の設定」を漫画で例示しながら、問題解決の例を複数掲載している。 【学びに向かう力,人間性等】 ・ガイダンスで「技術のめがね」や「最適化の窓」のコーナーを設け、技術を見る視点を示している。 ・各編の導入では、「最適化の窓」を活用して、身の回りにある技術を見つめる例を示している。 【かわさき教育プラン】 ・「技術の匠」のコーナーを随所に設け、専門分野で活躍する人々を紹介している。	【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】 ・学習指導要領の内容A～Dに対応して、1編～4編の4編で構成するとともに、巻頭には「技術分野のガイダンス」、巻末には「統合的な問題解決」や「技術分野の学習を終えて」などを掲載している。 ・「調べてみよう」「やってみよう」「考えてみよう」など、活動を促す発問を設けている。 【分量・装丁】 ・AB判としている。	・各編を色分けして、1章から3章(D編のみ4章)を濃淡を用いて示し、教科書を閉じた状態でも編と章が分かるようにしている。 ・二次元コードの箇所はページ右上に統一している。 ・専門用語は、脚注等で平易な表現で解説し補足している。
6 教図	新 技術・家 庭 技術分野 明日を創造す る	・教育内容の主な改善 事項のうち、「伝統や 文化に関する教育の 充実」に関連して、木 造建築技術で伝統構 法を受け継ぐ職人の技 術を掲載している。	【知識及び技能】 ・基礎的・基本的な知識及び技能の内容について、関連する資料を写真や図を用いて掲載している。 ・A編からD編の実習に必要な基礎技能は別冊「スキルアシスト」にまとめ、写真や図を用いて掲載している。 【思考力,判断力,表現力等】 ・技術の見方・考え方をガイダンスで示し、各編の学習の中で身につくようにしている。 ・「問題を解決する流れを考えよう」で、漫画を用いながら問題を解決する流れを掲載している。 【学びに向かう力,人間性等】 ・暮らしの中にある技術をガイダンスで紹介し、技術が社会で果たしている役割を示している。 ・各編の最初に、学習内容に関連した技術が生活や社会で生かされている例を掲載している。 【かわさき教育プラン】 ・社会の課題へ挑戦する人々を紹介するコーナーや「先輩からのメッセージ」を掲載している。	【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】 ・学習指導要領の内容A～Dに対応して、A～D編で構成するとともに、巻頭には「ガイダンス」、巻末にはE編の「夢をかなえる技術」や各自の構想を記入するワークシートなどを掲載している。 ・各編に「やってみよう」として、グループで学ぶ問いかけを設けている。 【分量・装丁】 ・A4変形判としている。	・各編を色分けし、教科書を閉じた状態でも編と章がわかるように色付けするとともに、章の色の高さも変えている。 ・二次元コードの箇所はページ右下と統一している。 ・本文は「敬体」、図版は「常体」とし、表記の違いをつけている。
9 開隆堂	技術・家庭 技術分野 テクノロジー に希望をのせて	・教育内容の主な改善 事項のうち、「伝統や 文化に関する教育の 充実」に関連して、姫 路城を例に、日本の伝 統文化と技術の関係を 掲載している。	【知識及び技能】 ・基礎的・基本的な知識及び技能の内容について、詳細な写真や図を用いて掲載している。 ・実習に必要な基礎技能は、実習例を示しながら写真や図を用いて掲載している。 【思考力,判断力,表現力等】 ・ガイダンスの中に技術の見方・考え方を示し、各内容で見方・考えを働かせる場面が設けている。 ・「問題解決の流れ」で、イラストを用いながら問題解決の手順を掲載している。 【学びに向かう力,人間性等】 ・ガイダンスで身近な製品を取り上げ、技術の役割を示している。 ・各編の最初で、身の回りにある製品を例にしながら学習内容に関連する技術の歴史を示している。 【かわさき教育プラン】 ・各編の最後に、技術に関係する仕事を行っている人物を紹介する「Interview」コーナーを設けている。	【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】 ・学習指導要領の内容A～Dに対応して、A～D編で構成するとともに、巻頭には「ガイダンス」、巻末には「技術分野の出口」として「統合実習例」などを掲載している。 ・主体的な学習につながるように、キャラクターが気づきを促したり注意喚起を行ったりしている。 【分量・装丁】 ・AB判としている。	・各編を教科書上部で色分けし、教科書を閉じた状態でも各編が分かるようにしている。 ・二次元コードの箇所はページ上部に統一している。 ・重要語句は太字(ゴシック体)にして、表記のめりはりをつけている。

# 調査研究報告書 ⑥

## 技術・家庭(家庭分野)

発行者の番号 略称	書名	学習指導要領との 関連	内容	構成・分量・装丁	表記・表現
2 東書	新編 新しい 技術・家庭 家庭分野 自立と共生を 目指して	・教育内容の主な改善 事項のうち、「伝統や 文化に関する教育の 充実」に関連して「和 食」、「日本の食文化と 和食の調理」、「日本 の衣服の文化」、「住ま いと気候風土の関わり 」を「伝統文化」マー クをつけて掲載してい る。	【知識及び技能】 ・衣生活、食生活の基礎的な技能を「いつも確かめよう」でまとめて示している。 ・動画、献立作成や通信販売のシミュレーション、資料・図鑑などの二次元コードを掲載している。 【思考力,判断力,表現力等】 ・見方・考え方が4つのマークで分類され、キャラクターの吹き出しで、問題発見や課題設定のヒントを示している。 ・学習の進め方の問題解決の道筋を①課題を決めよう②計画を立てよう③実践しよう④評価しよう⑤改善しよう⑥次の課題に挑戦しようとして、巻頭でまとめている。 【学びに向かう力,人間性等】 ・既習内容を振り返り、学習の見通しがもてるように各編の導入に「小学校家庭科で学んだこと」「この編で学ぶこと」を掲載し、各章のはじめに「目標」、「学習課題」を示し、「学習のまとめ」で「生活の課題と実践」につながる内容を掲載している。 【かわさき教育プラン】 ・学習内容に関連した職業の人の「プロに聞く！」を掲載している。	【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】 ・掲載内容の順番を①ガイダンス、家族・家庭生活②食生活③衣生活④住生活⑤消費生活・環境⑥家族・家庭生活⑦生活の課題と実践としている。 【分量・装丁】 ・判型は、AB判にしている。 ・主たる実習例は見開き2ページで、手順が左から右へと流れるように示している。	・「資料」「図」に学習の資料として扱えるような写真、表、グラフ、実習・製作例等を示している。 ・他教科や小学校での学習内容を意識できるように、関連するページに教科・単元内容を掲載している。
6 教図	新 技術・家庭 家庭分野 暮らしを創造 する	・教育内容の主な改善 事項のうち、「伝統や 文化に関する教育の 充実」に関連して、「年 中行事と私たちの暮らし のつながり」、「伝承 遊び」、「和食」などを 取り上げて「伝統文化」 マークをつけて掲載し ている。	【知識及び技能】 ・衣生活、食生活の基礎的な知識や技能を図や資料に示し、実習例や製作例を、複数例示している。 ・基礎技能についての動画コンテンツの二次元コードを掲載している。 【思考力,判断力,表現力等】 ・見方・考え方を「つなぐ、つながる×家庭分野」で巻頭に示している。 ・課題解決学習の流れを①問題を発見する②課題を設定する③計画・実践する④評価する⑤改善する⑥次の課題へととして巻頭にまとめている。 【学びに向かう力,人間性等】 ・編のはじめに「自立度チェック」、各章のはじめに「めあて」「キーワード」、各章末の「学びを生かそう」で「生活の課題と実践」例を掲載している。 【かわさき教育プラン】 ・地域や社会で活躍している人たちからのエールの「センパイに聞こう！」を掲載している。	【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】 ・掲載内容の順番を①ガイダンス②家族・家庭生活③食生活④衣生活⑤住生活⑥消費生活・環境⑦生活の課題と実践としている。 【分量・装丁】 ・判型は、A4変形にしている。 ・主たる実習例は見開き2ページで、手順が上から下へと流れるように示している。	・「資料」「図」に学習の資料として扱えるような写真、表、グラフ、実習・製作例等を示している。 ・他教科や小学校での学習内容とのつながりの「関連」マークを示している。
9 開隆堂	技術・家庭 家庭分野 自立しともに 支え合う生活 へ	・教育内容の主な改善 事項のうち、「伝統や 文化に関する教育の 充実」に関連して、関 連する学習に「伝統文 化」マークをつけて、衣 食住に関する伝統文 化をまとめて掲載して いる。	【知識及び技能】 ・調理手順、製作の基礎・基本を写真や言葉で示し、実習例や製作例を、複数例示している。 ・製作や実習や実験を動画で確認できるような二次元コードを掲載している。 【思考力,判断力,表現力等】 ・見方・考え方を「家庭分野の学び方と身につけたい力」に巻頭で示している。 ・生活課題の取り組み方を①生活を見つめ、課題発見・課題設定②計画③実行・実践④まとめ・発表⑤ふり振り返り・評価⑥生活にかす・次の課題へととして、巻頭でまとめている。 【学びに向かう力,人間性等】 ・各内容のはじめに学習の目標を示し、学習のはじめに自分の日常生活の問題に気付くような活動を促す言葉を掲載している。 【かわさき教育プラン】 ・地域や社会での取り組みの「先輩からのエール」「地域の取り組み」「中学生の取り組み」を掲載している。	【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】 ・掲載内容の順番を①ガイダンス②家族・家庭生活③食生活④衣生活⑤住生活⑥消費生活・環境⑦生活の課題と実践としている。 【分量・装丁】 ・判型は、AB判にしている。 ・主たる実習例は見開き2ページ、手順が左から右へと流れるように示している。	・重要語句は太字のゴシック体で表記し、「図」や「参考」に学習の資料等を写真や図、言葉で示している。 ・関連した内容が分かるように、他教科と関連する内容は「他教科」マークを示している。

# 調査研究報告書 ⑥

## 英語

発行者の番号 略称	書名	学習指導要領との関連	内容	構成・分量・装丁	表記・表現
2 東書	NEW HORIZON English Course 1 NEW HORIZON English Course 2 NEW HORIZON English Course 3	・教育内容の主な改善事項のうち、「外国語教育の充実」に関して、「Practice」「Read and Think」「Unit Activity」「Stage Activity」等では、英語で意思や情報を伝え合う対話的な活動や協働して問題解決に当たる活動を設定している。	【知識及び技能】 ・各単元に本文内容と関連した練習「Practice」を設けている。 ・文法事項を使い方、形、場面等でまとめた「Grammar for Communication」を掲載している。 【思考力,判断力,表現力等】 ・複数の技能を活用し、相手意識を持って言語活動を行う「Stage Activity」を設けている。 ・各単元の本文の概要を捉える質問があり、目的意識をもって読むことができるように工夫している。 【学びに向かう力,人間性等】 ・「Can-Do リスト」を巻末に掲載し、生徒の主体的な学習を支援している。 ・英語の学び方のコツをまとめた「学び方コーナー」を設けている。 【かわさき教育プラン】 ・世界遺産や日本文化の紹介など、国際理解・異文化理解に関する題材を扱っている。	【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】 ・各単元の本文内容に関連して自分の考えを整理し、表現する「Unit Activity」を設けている。 ・1年生に小学校での学びを振り返る「Unit 0」を設けている。また、小学校で学んだ単語をまとめて提示している。 【分量・装丁】 ・判型はA4判にしている。 【学習者用デジタル教科書】 ・紙面の明るさや書体を変えたり、指定のアイコンをクリックすると教科書の二次元コードのコンテンツを利用したりできるようにしている。	・1年生では、手書きに近いユニバーサル書体を採用している。 ・専門家による校閲を受け、カラーユニバーサルデザインの観点から配色およびデザインを工夫している。
9 開隆堂	Sunshine English Course 1 Sunshine English Course 2 Sunshine English Course 3	・教育内容の主な改善事項のうち、「外国語教育の充実」に関して、「Scenes」「Review and Retell」「Action」「Our Project」等では、コミュニケーションの目的や場面、状況に応じて生徒が情報や考えを理解したり伝え合ったりする言語活動を設定している。	【知識及び技能】 ・各単元の「Scenes」に、新出表現に関する知識・技能を習得し、練習につなげる「Listen」、「Speak & Write」を設けている。 ・各単元末の「英語早わかり」で文法事項を意味、使い方等でまとめている。 【思考力,判断力,表現力等】 ・既習事項を活用してスピーチや発表を行う「Our Project」を年3回設けている。 ・各単元の「Review & Retell」で本文理解を深め、要点を捉えて伝えることができるようにしている。 【学びに向かう力,人間性等】 ・巻末に各単元の見通しを持たせ、自分の達成度を記録する「Can-Do リスト」を設けている。 ・「Our Project」でより相手に伝わりやすいスピーチをするためのアドバイスなどを扱った「Step for Our Project」を設けている。 【かわさき教育プラン】 ・各単元に関連した内容で、世界遺産など、国際理解・異文化理解などを扱う「Coffee Break」を設けている。	【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】 ・本文を振り返り、自分の言葉で伝える「Review & Retell」を設けている。 ・1年生では、小学校での学びを振り返る「Get Ready」を設けている。また、小学校で学んだ語を脚注で示している。 【分量・装丁】 ・判型はA4判にしている。 【学習者用デジタル教科書】 ・「ふせん」機能を設け、メモを書き込み、好きな場所に貼ることができるようにしている。	・1年前半では手書きに近い書体を採用し、1年後半では活字体に近い書体を採用している。 ・読みやすく、見分けやすい配色を心掛けたカラーユニバーサルデザインを採用している。
15 三省堂	NEW CROWN English Series 1 NEW CROWN English Series 2 NEW CROWN English Series 3	・教育内容の主な改善事項のうち、「外国語教育の充実」に関して、「Exercise」「Small Talk Plus」「Take Action」「Goal Activity」等では、目的や場面、状況に応じて、相手意識を持ちながら外国語を用いてコミュニケーションを図ることができるような言語活動を設定している。	【知識及び技能】 ・各単元に基本本文を活用して自分のことを表現する「Exercise」を設けている。 ・「Language Focus」で文法事項を整理し、文法事項の理解を深めることができるようにしている。 【思考力,判断力,表現力等】 ・身近な話題について自分の考えを整理して、話したり、書いたりする「Project」を設定している。 ・聞いたり読んだりしたことについて自分の考えを表現する「Goal Activity」を設けている。 【学びに向かう力,人間性等】 ・各学年の巻末に「Can-Doリスト」を設け、学びの見通しを立てて、振り返ることができるようにしている。 ・「For Self-study」を設け、自分に合った学び方を見つけて学習を進めることができるようにしている。 【かわさき教育プラン】 ・登場人物とシンガポールから日本に来た中学生との交流について扱うなど国際理解・異文化理解に関する題材を扱っている。	【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】 ・表現を工夫しながら即興的なやりとりを行う「Small Talk Plus」を設けている。 ・第1学年では小学校の学習内容を復習する「Starter」を設けている。小学校で学んだ語句にはマークを付けている。 【分量・装丁】 ・判版はA4判にしている。 【学習者用デジタル教科書】 ・音声読み上げをしている部分をハイライトで確認しながら聞いたり、学習者用デジタル教科書上に手書きで書き込んだりできるようにしている。	・1年生では手書き文字に近いユニバーサルデザインに配慮した書体を使用している。 ・専門家の校閲によるカラーユニバーサルデザインに配慮した紙面づくりにしており、単元の各学習コーナーを定位置に配置している。
17 教出	One World English Course 1 One World English Course 2 One World English Course 3	・教育内容の主な改善事項のうち、「外国語教育の充実」に関して、「Think & Try」「Read & Try」「Task」「Project」等では、生徒の興味を引き付ける話題を扱い、他者と関わりながら進めていく言語活動を設定している。	【知識及び技能】 ・各単元に本文を利用したやり取りの練習を行う「Think & Try」を設けている。 ・各Lesson末に文法事項の使い方をまとめた「Grammar」を掲載している。 【思考力,判断力,表現力等】 ・各学期末に、学んだ知識や表現を生かす課題解決的な課題「Project」を設けている。 ・本文の概要や要点を捉える質問「check」を設けている。 【学びに向かう力,人間性等】 ・巻末の「Can-Do自己チェックリスト」で、自分の学習を振り返ることができるようにしている。 ・4技能の基礎的な力を伸ばすアドバイスを掲載した「Tips for ~ing」を設けている。 【かわさき教育プラン】 ・外国と日本の学校の違いや手話、環境問題、ホームステイなど国際理解・異文化理解に関する題材を扱っている。	【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】 ・各単元で本文の振り返りを行い、意見を書いたりする伝え合ったりする「Task」を設けている。 ・小学校で学んだ表現を振り返る「Springboard」を設けている。また、小学校で学んだ語は四角で囲んでいる。 【分量・装丁】 ・判版はAB判にしている。 【学習者用デジタル教科書】 ・教科書本文の音声の速度を調整したり、文字をハイライト表示しながら聞くことができるようにしている。	・1年生Lesson3までは、手書き文字に近いフォントを使用している。 ・専門家の校閲を受け、様々なアイコン、イラスト、図表などにおいて色覚特性に配慮を行っている。

発行者の番号 略称	書名	学習指導要領との関連	内容	構成・分量・装丁	表記・表現
38 光村	Here We Go! ENGLISH COURSE 1  Here We Go! ENGLISH COURSE 2  Here We Go! ENGLISH COURSE 3	・教育内容の主な改善事項のうち、「外国語教育の充実」に関して、「Goal」「You Can Do it!」「Story Retelling」「Let's Talk」等では、コミュニケーションの目的や場面、状況を重視し、思考力、判断力、表現力等の育成につながる言語活動を設定している。	【知識及び技能】 ・本文で語彙や文法事項等を提示し、「Listen」、「Speak」、「Write」で定着を図る練習活動を設けている。 ・「Active Grammar」で、文法事項を意味、形、語順等でまとめ、使用場面を比較しながら学ぶことができるようにしている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・コミュニケーションの目的・場面・状況設定がある言語活動「You Can Do It!」を設けている。 ・「Listen and Read」に、聞いたり読んだりしたことについて概要や要点を捉える質問を配置している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・各学年の巻末に「CAN-DO List」で、生徒が見通しをもって学習を進めることができるようにしている。 ・領域別の学び方や活動への取り組み方、家庭学習方法等を紹介した「英語の学び方ガイド」や「ICTを活用しよう」を設けている。 【かわさき教育プラン】 ・世界の学校生活などの国際理解を深めることができる題材を扱う「World Tour」を設けている。	【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】 ・既習のUnitのストーリーに繰り返し触れ、自分の言葉で理解した内容を伝える「Story Retelling」を設けている。 ・小学校での学習を振り返る「Let's Be Friends!」を設けている。また、小学校で学んだ語彙、表現や文法事項にはマークをつけている。 【分量・装丁】 ・判型はAB判にしている。 【学習者用デジタル教科書】 ・生徒が自分に合った速度で音声を繰り返し聞くことができるように再生速度を13段階で調整できるようにしている。	・1年生前半では独自に開発した手書き文字に近い書体を使用し、1年後半からはブロック体を使用している。 ・カラーユニバーサルデザインの専門家の校閲を受け、色覚特性をもつ生徒への配慮を行っている。
61 啓林館	BLUE SKY English Course 1  BLUE SKY English Course 2  BLUE SKY English Course 3	・教育内容の主な改善事項のうち、「外国語教育の充実」に関して、「Let's listen」「Let's read」「Let's talk」「Let's write」「Project」等では、知識・技能を活用して、思考力、判断力、表現力等を育成する言語活動を設定している。	【知識及び技能】 ・各単元の本文で語彙や文法事項等を提示し、「Listen」、「Speak」、「Write」で定着を図る練習活動を設けている。 ・文法事項を意味、形、場面等でまとめた「Focus on Form」を掲載している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・各学期末に複数の技能を統合的に活用してコミュニケーションを図る「Project」を設けている。 ・さまざまなジャンルの英文を読んで話の概要や要点を捉える「Let's Read」を設けている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・各Unitのとびらに目標を明示し、巻末の「CAN-DO List」で学習到達目標を振り返ることができるように工夫している。 ・英語の学び方を紹介した「英語の学び方」を設けている。 【かわさき教育プラン】 ・「Let's Read」で外国や日本の物語、伝記など国際理解・異文化理解について扱っている。	【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】 ・各Unitに即興的なやり取りの力を身に付けるために「Enjoy Chatting」設けている。 ・小学校での学習を振り返る「Let's Start」を設けている。また、小学校で学んだ語彙、表現や文法事項にはマークをつけている。 【分量・装丁】 ・判型はA4判にしている。 【学習者用デジタル教科書】 ・音声の速度を変更したり、指定のアイコンをクリックすると教科書の二次元コードのコンテンツを利用したりできるようにしている。	・1年次では、ユニバーサルデザインフォントを使用している。 ・カラーユニバーサルデザインの観点から配色及びデザインを工夫している。

# 調査研究報告書 ⑥

## 道徳

発行者の番号略称	書名	学習指導要領との関連	内容	構成・分量・装丁	表記・表現
2 東書	新編 新しい道徳 1 新編 新しい道徳 2 新編 新しい道徳 3	・教育内容の主な改善事項のうち、「道徳教育の充実」に関連して、広い視野で考えられるよう、現代的な課題に関する教材を配置したり、多面的・多角的に考えられるよう、発問構成の工夫をしたりしている。	【知識及び技能】 ・いじめの問題、生命の尊さに関する内容は3つの教材でユニット学習を設定している。 ・情報モラル、SDGs、防災等、現代的な課題に関する教材を各学年に掲載している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・教材末に「考えよう」「見つめよう」を設け、さらに考えを深める発問「ぐっと深める」を掲載している。 ・多面的・多角的に考えるために、複数人の立場から考えられる教材を掲載している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・教材末に自己を見つめる発問「見つめよう」を掲載している。 ・巻末に、学期ごとに自己を振り返る切り取り式のページを設けている。 【かわさき教育プラン】 ・多様性に関して、性やジェンダーだけでなく、国際理解、ダイバーシティなどの教材を掲載している。 ・アンコンシャスバイアス(無意識の思い込み)、アンガーマネジメント等に関するコラムを掲載している。	【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】 ・巻頭に学び方を示すページを掲載している。 ・全ての教材に朗読音声とワークシートのデジタルコンテンツが見られる二次元コードを掲載している。  【分量・装丁】 ・35教材と付録4教材を掲載している。 ・心情円が作成できるページを設けている。 ・小学校で学習した教材を掲載している。 ・AB判を採用している。	・各教材冒頭に、内容項目の視点ごとのマーク、主題を掲載している。 ・漫画、写真、動画等を用いた教材を掲載している。 ・3年間通して、同じ登場人物が友情を育む内容を掲載している。
17 教出	中学道徳 1 とびだそう未来へ 中学道徳 2 とびだそう未来へ 中学道徳 3 とびだそう未来へ	・教育内容の主な改善事項のうち、「道徳教育の充実」に関連して、道徳的価値について問題意識をもつ問いや多面的・多角的に考える問いの工夫や、内容理解がしやすい多種多様な教材を配置するなどの工夫をしている。	【知識及び技能】 ・いじめの問題、持続可能な社会、生命の尊さに関する内容は2つの教材でユニット学習を設定している。 ・情報モラル、防災、多様性等の現代的な課題については、教材と「ひろば(コラム)」を掲載している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・問題解決的な学習や体験的な学習ができる教材を各学年に1～3つずつ掲載している。 ・教材末「学びの道しるべ」に問題意識をもつ問い、多面的・多角的に考える問等を3つ掲載している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・「ひろば(コラム)」には、他の教科や生活につなげる内容を掲載している。 ・巻末に学期ごとに振り返るシートや、1年間の学びを振り返るページを設けている。 【かわさき教育プラン】 ・いじめの問題に関する教材には、コミュニケーションスキルを学ぶコラムを掲載している。 ・多様性を認め合う社会や自分らしく生きることについて考える教材を掲載している。	【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】 ・巻頭に学び方を示し、話し合いのポイントを掲載している。 ・動画、思考ツール等のデジタルコンテンツが見られる二次元コードを掲載している。  【分量・装丁】 ・30教材と補充5教材を掲載している。 ・小学校で学習した教材を掲載している。 ・B5判を採用している。	・各教材冒頭に、内容項目の視点ごとのマーク、導入で活用できる発問を掲載している。 ・漫画、写真等を用いた教材を掲載している。 ・3年間通して、同じ登場人物が自律について考える内容を掲載している。
38 光村	中学道徳 1 きみが いちばん ひかるとき 中学道徳 2 きみが いちばん ひかるとき 中学道徳 3 きみが いちばん ひかるとき	・教育内容の主な改善事項のうち、「道徳教育の充実」に関連して、自分の生活とのつながりが意識できる教材を配置したり、多面的・多角的に考えられる発問を構成したりする工夫をしている。	【知識及び技能】 ・いじめ問題、情報モラル、環境、人権等の現代的な課題について、ユニット学習を設定している。 ・内容項目を限定しない「道徳の学習を始めよう(第1教材)」、「1年間を振り返ろう(最終教材)」を掲載している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・考えを深めるきっかけになる問いや話し合いの仕方などを「やってみよう」に掲載している。 ・教材末に学びのテーマや、学びのテーマにせまるための問いを2つ掲載している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・コラムには、教材の内容に関連した資料や視点を変えた情報を掲載している。 ・1年間の学びや学期ごとの学びを記録できるワークシート「学びの記録」を設けている。 【かわさき教育プラン】 ・「よりよい社会つくる」というテーマでキャリア教育を意識した教材を掲載している。 ・人権について考えられるユニット学習として、3つの教材とコラムを掲載している。	【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】 ・巻頭に1年間の学習内容を確認できる「道徳道案内」を掲載している。 ・朗読や動画、画像等のデジタルコンテンツが見られる二次元コードを掲載している。  【分量・装丁】 ・35教材と付録2教材を掲載している。 ・小学校で学習した教材を掲載している。 ・B5変型判を採用している。	・各教材冒頭に、内容項目の視点ごとのマーク、キーワードを掲載している。 ・教材の終わりにSDGs、他の学習との関連が分かるマークを記載している。 ・漫画、写真等を用いた教材を掲載している。
116 日文	中学道徳 あすを生きる 1 中学道徳 あすを生きる 1 道徳ノート 中学道徳 あすを生きる 2 中学道徳 あすを生きる 2 道徳ノート 中学道徳 あすを生きる 3 中学道徳 あすを生きる 3 道徳ノート	・教育内容の主な改善事項のうち、「道徳教育の充実」に関連して、自分との関わりで捉えることができる発問の構成や学びの見通しをもつことができる年間を見通した教材の配置などの工夫をしている。	【知識及び技能】 ・「いじめと向き合う」「よりよい社会を考える」というテーマでユニット学習を2～3回設定している。 ・3年間を見通し、発達段階や年間行事を踏まえて教材を配置している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・問題解決的な学習や体験的な学習ができる教材には、活動例を示す「学びを深めよう」を掲載している。 ・教材を通して考える問い「深めよう」と、自分との関わりで考える問い「自分に+1」を掲載している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・コラム「視野を広げて」には、他教科や他活動と関連のある内容を掲載している。 ・別冊「道徳ノート」は発問欄を空欄にし、巻末に学期ごとに振り返るページを設けている。 【かわさき教育プラン】 ・「向上心、個性の伸長」「相互理解、寛容」を重点にし、多様性に関する教材を掲載している。 ・別冊「道徳ノート」には保護者も記入できる自由欄を設けている。	【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】 ・巻頭に道徳科の学び方を示し、話し合いを体験できるミニ教材を掲載している。 ・朗読や動画、画像等のデジタルコンテンツが見られる二次元コードを掲載している。  【分量・装丁】 ・35教材を掲載している。 ・B5判を採用している。	・各教材冒頭に、内容項目の視点ごとのマーク、めあてに使える学びのキーワードを掲載している。 ・漫画、写真等を用いた教材を掲載している。 ・すべての教材が右ページから始まるようにしている。

発行者の番号略称	書名	学習指導要領との関連	内容	構成・分量・装丁	表記・表現
224 学研	新版 中学生の道徳 明日への扉 1 新版 中学生の道徳 明日への扉 2 新版 中学生の道徳 明日への扉 3	・教育内容の主な改善事項のうち、「道徳教育の充実」に関連して、教材を基に自分の考えを深めたり、協働的な学びで多様な意見に触れたりできるよう、発問や学習活動例の工夫をしている。	【知識及び技能】 ・キャリア教育、多様性、SDGsに関して、ユニット学習を設定している。 ・命の教育を重点にし、他の内容項目から命について考えられる教材を掲載している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・問題解決的な学習、体験的な学習ができる教材に、学習の進め方を示す「深めよう」を掲載している。 ・教材末「考えよう」には、考えを深めるための問いを2つ掲載している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・教材の内容に関連した情報や異なる視点からの情報等を「クローズアップ」に掲載している。 ・巻末に学期ごとに振り返りを記入できる「学びの記録」を設けている。 【かわさき教育プラン】 ・レジリエンス(困難を乗り越える力)、多様性、LGBTQに関する教材を掲載している。 ・いじめの問題に関する内容は、直接的・間接的に扱う教材を年間を通して掲載している。	【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】 ・巻頭に「道徳科で学ぶこと・考えること」「考えを深める4つのステップ」を掲載している。 ・動画、画像等のデジタルコンテンツが見られる二次元コードを掲載している。  【分量・装丁】 ・35教材を掲載している。 ・AB判を採用している。	・各教材冒頭に、内容項目の視点ごとのマーク、関連する現代的課題のテーマ、教材の一部抜粋のキーフレーズを掲載している。 ・漫画、写真等を用いた教材を掲載している。 ・すべての教材が右ページから始まるようにしている。
232 あか図	中学生の道徳 1 中学生の道徳 2 中学生の道徳 3	・教育内容の主な改善事項のうち、「道徳教育の充実」に関連して、教材と向き合い、考えを深められるよう、多様な教材や多様な指導方法を取り入れる等の工夫をしている。	【知識及び技能】 ・いじめを考える、情報モラル、キャリアというテーマでユニット学習を設定している。 ・「生命の尊さ」「自主、自律、自由と責任」等を重点とし、3教材ずつ掲載している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・問題解決的な学習や体験的な学習等、多様な学習活動例を「マイプラス」に掲載している。 ・教材末に「いろいろな見方で考える」「考えを深める」という視点で発問を2つ掲載している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・教材で学習した内容を深めたり広げたりするためのコラムを掲載している。 ・巻末に学期ごとの学びの振り返りや1年間の学びの振り返りを記入するワークシートを設けている。 【かわさき教育プラン】 ・いじめの問題、人権尊重教育に関連する教材を5～7つ掲載している。 ・2、3年では「共に生きる社会」をテーマに3教材とコラムで構成したユニット学習を設定している。	【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】 ・巻頭に道徳科の学び方を例示し、第1教材には例示を生かした学習ができる「道徳 はじまりの時間」を掲載している。 ・動画、画像等のデジタルコンテンツが見られる二次元コードを掲載している。  【分量・装丁】 ・35教材を掲載している。 ・B5判を採用している。	・各教材冒頭に、内容項目の視点ごとのマークを表示している。 ・漫画、写真等を用いた教材を掲載している。
233 日科	道徳 中学校 1 生き方から学ぶ 道徳 中学校 2 生き方を見つめる 道徳 中学校 3 生き方を創造する	・教育内容の主な改善事項のうち、「道徳教育の充実」に関連して、一人一人が思いや考えを伝え、多面的・多角的に考えられるよう、教材の内容や巻末カードを取り入れた学習活動等の工夫をしている。	【知識及び技能】 ・「いじめの問題」「情報モラル」「環境資源」等、現代的な課題に関連する教材を掲載している。 ・キャリア教育に関して、発達の段階に応じて教材を掲載している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・教材末に「考えよう・深めよう」を設け、問いを2つ掲載している。 ・複数の教材を扱いながらグループワークで学習を進めることができる教材を2～3つ掲載している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・巻末に切り取り式のウェルビーイングカードを設け、併用して学習ができる教材を掲載している。 ・問題提起、哲学者の格言等から「自由」「幸福」「愛」について考える教材を掲載している。 【かわさき教育プラン】 ・人権、福祉、ジェンダーについて考える教材を掲載している。 ・いじめの問題について、直接的、間接的に扱う教材を掲載している。	【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】 ・内容項目のA～Dの視点順に教材を掲載している。 ・ガイダンス教材では、道徳科の学び方や「ウェルビーイングカード」を活用しながら考える教材を掲載している。 ・動画、画像等のデジタルコンテンツが見られる二次元コードを掲載している。  【分量・装丁】 ・34教材とガイダンス1教材を掲載している。 ・AB判を採用している。	・各教材冒頭に、内容項目の視点ごとのマーク、ウェルビーイングカードが活用できるマークを表示している。 ・漫画、写真、動画等を用いた教材を掲載している。 ・3年間通して、同じ登場人物が友情について考える内容を掲載している。

# 調査研究報告書 ⑤

## 国語

発行者の番号略称	書名	内容	構成・分量・装丁	表記・表現
2 東書	新しい国語1 新しい国語2 新しい国語3	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「情報と論理の学び」で情報の扱い方や関係、整理のしかた等を示している。</li> <li>・生徒が興味をもちやすいように、古典学習の導入として「移り行く浦島太郎の物語」を設定している。</li> </ul> <p>【思考力,判断力,表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・レポート作成など、実践的な取り組みができるような内容が取り入れられている。</li> <li>・「言葉の力」で、文学的な文章と説明的な文章を読むためのポイントを図解等を用いて示している。</li> </ul> <p>【学びに向かう力,人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・単元で身に付ける力の育成に向けた具体的な学習のポイントを示す「言葉の力」を掲載している。</li> <li>・語彙を豊かにし、学習や生活に活用できるように「広がる言葉」を掲載している。</li> </ul> <p>【かわさき教育プラン】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「読書と情報」「読書への招待」「読書案内」など、図書館の活用方法やテーマごとの図書を示したり、学習内容と関連する図書を紹介したりしている。</li> </ul>	<p>【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・見直しをもって学習に取り組み、学んだことを振り返ることができるように「てびき」で学習の流れを示している。</li> <li>・「領域別教材一覧」では、領域ごとに色を分け、身に付けたい力を一覧で示している。</li> </ul> <p>【分量・装丁】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・表紙は、複数の人物が自然の中で過ごしているイラストを用いている。</li> </ul>	<p>・「読むこと」の教材では、5行ごとに行数、1行ごとに点(・)を表記している。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学習の流れやポイント等が視覚的に分かりやすくなるように、絵や写真、図などを使用している。</li> </ul>
15 三省堂	現代の国語1 現代の国語2 現代の国語3	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「情報を関係づける」で情報の扱い方や関係、整理のしかた等を示している。</li> <li>・古典に親しむことができるように、現代と古典の世界とをつなぐ「月を思う心」を導入として掲載している。</li> </ul> <p>【思考力,判断力,表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「飲み水は不足しているか」など、現代的な課題に向き合える教材を掲載している。</li> <li>・「読み方を学ぼう」で、文学的な文章と説明的な文章を読むための方法を示している。また、前の単元で身に付けた力や後の単元で身に付ける力の系統性を掲載している。</li> </ul> <p>【学びに向かう力,人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・単元で身に付ける力の育成に向けた具体的な学習のポイントを示す「思考の方法」を掲載している。</li> <li>・「語彙を豊かに」「語彙の広がり」を掲載し、語彙を豊かにして、学習や生活に活用できるようにしている。</li> </ul> <p>【かわさき教育プラン】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「読書の広場」で、読書活動を示したり、教材と同じ作者の図書や学習内容と関連する図書等を紹介したりしている。</li> </ul>	<p>【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学習の進め方が分かるように、目標から振り返りまでの学習過程を「学びの道しるべ」で示している。</li> <li>・身に付けたい力が一覧で分かる「領域別教材一覧」を掲載している。</li> </ul> <p>【分量・装丁】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・表紙は、ペンギン、シマウマ、イルカ等の動物のイラストを用いている。</li> </ul>	<p>・「読むこと」の教材では、5行ごとに行数を表記している。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学習の流れやポイント等が視覚的に分かりやすくなるように絵や写真、図などを使い編集している。</li> </ul>
17 教出	伝え合う言葉 中学国語1 伝え合う言葉 中学国語2 伝え合う言葉 中学国語3	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各教材の中で情報の扱い方や関係、整理のしかた等を示している。</li> <li>・生徒が興味をもちやすいように、古典学習の導入として「箱に入った桃太郎」を設定している。</li> </ul> <p>【思考力,判断力,表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「SNSから自由になるために」など、身近な話題を取り上げて生活との関連を図っている。</li> <li>・教材の前ページに「学びナビ」をおき、文学的な文章と説明的な文章を読むためのポイントを示している。</li> </ul> <p>【学びに向かう力,人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・単元で身に付ける力の育成につながる学習活動を「ヒント」で示している。</li> <li>・語彙を豊かにし、日常生活で活用できるように「理解に役立つ言葉」「表現に役立つ言葉」を掲載している。</li> </ul> <p>【かわさき教育プラン】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「広がる本の世界」「読書への招待」「言葉の自習室」で読書教材や読書活動、テーマごとの図書を示したり、学習内容と関連する図書を紹介したりしている。</li> </ul>	<p>【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・見直しをもって学習に取り組み、学んだことを振り返ることができるように「みちしるべ」で学習の流れを示している。</li> <li>・「言葉の地図」で「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」で、身に付けたい力を一覧で示している。</li> </ul> <p>【分量・装丁】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・表紙は、一人の人物が本を読んだり、絵を描いたりするイラストを用いている。</li> </ul>	<p>・「読むこと」の教材では、5行ごとに行数、1行ごとに点(・)を表記している。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学習の流れやポイント等が視覚的に分かりやすくなるように、イラストや図表などを用いたり、文字の空きを十分にとったりしている。</li> </ul>
38 光村	国語1 国語2 国語3	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「情報整理のレッスン」「情報収集の達人になろう」で情報の扱い方や関係、整理のしかた等を示している。</li> <li>・古典を学ぶ意欲を高めるために古典学習の導入では、3年間で学ぶ古典の世界を見開きページで紹介している。</li> </ul> <p>【思考力,判断力,表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・他教科での学びや日常につながる単元等を設定しており、教科横断的な学習を提案している。</li> <li>・「学びのカギ」で、文学的な文章と説明的な文章を読むためのポイントを示している。また、同ページに、前の単元で身に付けた力や後の単元で身に付ける力の系統性を掲載している。</li> </ul> <p>【学びに向かう力,人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・単元で身に付ける力の育成に向けた具体的な学習のポイントを示す「学びのカギ」を掲載している。</li> <li>・たくさんの言葉に出会い、思考や感情を的確に言語化するための「語彙ブック」等が掲載してある。</li> </ul> <p>【かわさき教育プラン】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「読書活動」「読書」「読書案内」「コラム」等で、読書活動を設定したり、テーマごとの図書や教材と同じ作者の図書、学習内容と関連する図書を紹介したりしている。</li> </ul>	<p>【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・見直しをもって学習に取り組み、観点ごとに振り返ることができるように「学びへの扉」で学習の流れを示している。</li> <li>・「学習の見直しをもと」で「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」を色で分けて、身に付けたい力を一覧で示している。</li> </ul> <p>【分量・装丁】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・表紙は、楽器や自然、動物のイラストを用いている。また、1年生から3年生までの表紙が繋がっているデザインになっている。</li> </ul>	<p>・「読むこと」の教材では、5行ごとに行数、1行ごとに点(・)を表記している。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学習の流れやポイント等が分かりやすくなるように、図や絵などを用いて強調部分等を視覚的に識別できるようにしている。</li> </ul>

## 調査研究報告書 ⑤

### 書写

発行者の番号 略称	書名	内容	構成・分量・装丁	表記・表現
2 東書	新しい書写 一・二・三年	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・行書と出会うページでは、楷書と行書の違いを「東」という字で比べさせて、次のページに点画の特徴を示している。</li> <li>・文字を書く上でのポイントをまとめた「書写のかぎ」を掲載している。</li> </ul> <p>【思考力,判断力,表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自ら文字を書くポイントに気付けるように「見つけよう」の活動を設定している。</li> <li>・書写で身に付けた力を生かすことができる「地域の活動に参加しよう」などの活動を設定している。</li> </ul> <p>【学びに向かう力,人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日常生活につながるさまざまな書式や硬筆字典等を「書写活用ブック」に掲載している。</li> <li>・単元の目標と振り返りが同一ページに記載されており、学習の流れが意識できるようになっている。</li> </ul> <p>【かわさき教育プラン】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・対話を通して学びが深められる工夫が施されている。</li> </ul>	<p>【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学習してきた漢字と仮名の書き方やはがきの書き方等を確認する「書写テストに挑戦」を掲載している。</li> <li>・単元の構成は「見つけよう」「確かめよう」「生かさそう」となっている。</li> </ul> <p>【分量・装丁】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・文字手本を片側1ページに掲載している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・朱墨で筆の運び方を表す際に、擬態語を使って筆の運び方を表したり、筆の向きが分かるように筆に顔マークを用いたりしている。</li> <li>・随所にコウゾというキャラクターが登場し、文字を書くポイントを説明している。</li> </ul>
15 三省堂	現代の書写 一・二・三	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・行書と出会うページでは、楷書と行書の違いを「実」「結」という字で比べさせて、点画の特徴を同じページに示している。</li> <li>・正しく整った文字を書くためのポイントを整理した「書き方を学ぼう」を掲載している。</li> </ul> <p>【思考力,判断力,表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・書き方のポイントをつかめるように、手本文字を見て考える活動を設定している。</li> <li>・枕草子の内容を行書で書くなど、書写で身に付けた力を国語で生かすことができる活動を設定している。</li> </ul> <p>【学びに向かう力,人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日常生活につながるさまざまな書式や書の古典等を「資料編」に掲載している。</li> <li>・単元ごとに自分が学んだことを振り返ることができる記述欄を設けている。</li> </ul> <p>【かわさき教育プラン】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「グループ新聞を作ろう」では、グループで読み合う活動を設定している。</li> </ul>	<p>【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学習してきた毛筆の筆使いや行書の書き方等を確認する「学力テスト問題」を掲載している。</li> <li>・生徒自身が主体的に学習に臨めるように各教材に「目標」と「振り返り」を設けている。</li> </ul> <p>【分量・装丁】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・文字手本を片側1ページに掲載している割合が多い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・朱墨で筆の運び方を表す際に、筆の移動を示す矢印や筆の向きを表すマークなどを用いて示している。</li> <li>・文字を書くポイントを筆と鉛筆のキャラクターが説明している。</li> </ul>
17 教出	中学書写	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・行書と出会うページでは、楷書と行書の違いを「和」という字で比べさせて、点画の特徴を同じページに示している。</li> <li>・文字を書くためのポイントを「考えよう」で示している。</li> </ul> <p>【思考力,判断力,表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自ら文字を書くポイントに気付けるように「考えよう」の活動を設定している。</li> <li>・書写で身に付けた力を生かすことができる「ポスターを書く」などの活動を設定している。</li> </ul> <p>【学びに向かう力,人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日常生活につながる手紙の書き方や封筒の書き方等を「書式の教室」に掲載している。</li> <li>・単元ごとに自分がねらいを達成できたかどうかを○か△で記入できる欄を設けている。</li> </ul> <p>【かわさき教育プラン】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒同士の対話活動を通して、書写の学習を深められる活動がある</li> </ul>	<p>【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学習してきた文字の大小、字間、中心等を確認する「書写テストで確認」を掲載している。</li> <li>・学習の進め方を「目標」「考えよう」「生かさそう」「振り返ろう」「学習や日常生活に生かさそう」にしている。</li> </ul> <p>【分量・装丁】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・文字手本を片側1ページに掲載している割合が多い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・朱墨で筆の運び方を表す際に、筆の移動を示す矢印や筆圧の数字などを用いて示している。</li> <li>・随所にハンシーというキャラクターが登場し、文字を書くポイントを説明している。</li> </ul>
38 光村	中学書写 一・二・三年	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・行書と出会うページでは、楷書と行書の違いを「緑」という字で比べさせて、次のページに点画の特徴を色ごとに覚えて示している。</li> <li>・文字を書く上での学習のポイントを焦点化した「学びのかぎ」を掲載している。</li> </ul> <p>【思考力,判断力,表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「考えよう」では、文字を書くポイントを見つけ、その箇所を鉛筆で囲む活動を設定している。</li> <li>・書写で身に付けた力を学校生活で生かすことができる「行書を活用しよう」などの活動を設定している。</li> </ul> <p>【学びに向かう力,人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学習や生活に生かすことができる日常の書式等を掲載した「日常に役立つ書式」を掲載している。</li> <li>・「目標」の下に「振り返ろう」のチェック項目があることで、身に付けた力を実感できるようにしている。</li> </ul> <p>【かわさき教育プラン】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「手書きの良さって何だろう」では、手書き文字の良さについて話し合うことを通して深められる活動を設定している。</li> </ul>	<p>【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学習してきた文字の整え方や点画の名称等を確認する「書写テストに挑戦しよう」を掲載している。</li> <li>・「考える」「確かめる」「生かす」という学習のステップを提示している。</li> </ul> <p>【分量・装丁】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・文字手本を見開きページに掲載している割合が多い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・朱墨で筆の運び方を示す際に、擬態語を使って筆の運び方を表したり、筆の移動を示す矢印や筆圧の数字などを用いている。</li> <li>・鉛筆とタブレットのキャラクターが文字を書くポイントを説明したり話し合いを促したりしている。</li> </ul>

# 調査研究報告書 ⑤

## 社会(地理的分野)

発行者の番号 略称	書名	内容	構成・分量・装丁	表記・表現
2 東書	新編 新しい社会 地理	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>本文にある難しい用語を理解できるようにするために、「もっと解説」を設定している。</li> <li>地理学習に必要な資料活用の技能を身に付けるために、「スキルアップ」を掲載している。</li> </ul> <p>【思考力,判断力,表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>学習のまとめでは、見方・考え方を働かせて探究課題について考える活動を掲載している。</li> <li>個人活動、グループ活動を生かして考えるために、「みんなでチャレンジ」を設定している。</li> </ul> <p>【学びに向かう力,人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>各章の学習に興味、関心がもてるよう、章の始めに写真や小学校での学習を掲載している。</li> <li>学習内容と関連してさらに調べることができるよう、「もっと知りたい！」を掲載している。</li> </ul> <p>【かわさき教育プラン】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「未来にアクセス」では、持続可能な社会の実現に向けて考えるヒントを示したコラムを記載している。</li> </ul>	<p>【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>各章、各節の導入で「探究課題」を立て、「課題をつかむ」「課題を追究する」「課題を解決する」の3ステップで構成している。</li> <li>各見開きで、「導入資料」「学習課題」「本文」「チェック&amp;トライ」など、学習の流れを統一している。</li> </ul> <p>【分量・装丁】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>巻頭巻末資料7ページで構成している。</li> <li>章末では、学んだこと生かして考える「地球的課題を振り返ろう」を掲載している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ユニバーサルフォントを使用し、色覚特性がある生徒にも見分けやすい色を使用し、ユニバーサルデザインに配慮し、グラフや地図は凡例を使用せずに図中に示している。</li> <li>「見方・考え方を働かせる視点の例」を示したマークを付けている。</li> </ul>
17 教出	中学社会 地理 地域にまなぶ	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>学習のまとめでは、内容を確認する設問や用語を確認する「ワードチェック」を設定している。</li> <li>地理学習に必要な資料の読み取り方を身に付けるために、「地理の技」を掲載している。</li> </ul> <p>【思考力,判断力,表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>各章末、節末では自らの考えを表現できるように、「学習したことを振り返ろう」を設定している。</li> <li>地理的な見方・考え方を働かせて考えられるように、各章の始めに着目する視点を示している。</li> </ul> <p>【学びに向かう力,人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>小学校の学習を振り返り、地理的分野の学び方を紹介「地理にアプローチ」を掲載している。</li> <li>現代社会の諸課題を取り上げ、興味をもって学習できるように、特設ページを設定している。</li> </ul> <p>【かわさき教育プラン】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「クロスロード」では、地球的課題の解決に向けたSDGsや社会参画についてのコラムを掲載している。</li> </ul>	<p>【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>世界や日本の地域の学習では、導入で学習テーマと見通しを提示し、「…をながめて」「本編」「学習のまとめと表現」で構成している。</li> <li>各見開きページで「学習課題」を示し、学習のまとめとして「確認！」「表現！」の問いを設定している。</li> </ul> <p>【分量・装丁】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>日本の全体像を捉えることができるように、折込で「宇宙からとらえた日本列島」を掲載している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>色覚の個人差を問わず、見やすいカラーユニバーサルデザインとユニバーサルデザインフォントを採用し、色遣いやレイアウトなどに配慮して編集している。</li> <li>特設ページ等にSDGsマークを付け、視点を示している。</li> </ul>
46 帝国	社会科 中学生の地理 世界の姿と日本の国土	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>各章末、節末では、地図や重要語句で学習内容を確かめる「学習を振り返ろう」を設定している。</li> <li>地理学習に必要な技能を習得できるように、「技能をみがく」を掲載している。</li> </ul> <p>【思考力,判断力,表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>地域の特色をまとめられるように、思考ツールや対話をもとに考える手順を示している。</li> <li>地理的な見方・考え方を働かせて課題解決に向けた取り組みを考える「アクティブ地理」を掲載している。</li> </ul> <p>【学びに向かう力,人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>日本の諸地域の学習の始めに、地域を俯瞰できるように、写真や「イラスト地図」を掲載している。</li> <li>見開き本文と地図帳を関連して学習できるように、「地図帳を活用した学び方」を示している。</li> </ul> <p>【かわさき教育プラン】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「未来に向けて」では、持続可能な社会の実現にむけた特設ページやコラムを掲載している。</li> </ul>	<p>【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>各章、各節の導入で学習の見通しをもちながら「章・節の問い」を提示し、「学習を振り返ろう」で考えをまとめる構成をしている。</li> <li>各見開きで「学習課題」を示し、学習課題に迫る「確認しよう」「説明しよう」を設定している。</li> </ul> <p>【分量・装丁】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>学習した用語について調べることができるように、見開きに「解説」を掲載している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>特別支援教育やユニバーサルデザインの観点から色覚特性に配慮した識別しやすい色使いになるよう工夫し、読みやすいユニバーサルデザインフォントを採用している。</li> <li>小学校、公民、歴史の学びと関連する資料にマークを付けている。</li> </ul>
116 日文	中学社会 地理的分野	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>各章末、節末では、既習事項の知識が復習ができるように、「まとめと振り返り」を設定している。</li> <li>地図や統計などの資料を活用して学習することができるように、「スキルUP」を掲載している。</li> </ul> <p>【思考力,判断力,表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>章のまとめで思考ツールを活用して段階的に考えることができるように、「STEP」を示している。</li> <li>学習したことを活用して深い学びを実現するために、「議論してみよう」を掲載している。</li> </ul> <p>【学びに向かう力,人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>見開きでは、小学校社会科の学習や歴史的分野・公民的分野の学習との繋がりを示している。</li> <li>章の始めでは、学習の見通しをもてるように、章の問いの解決に向けた手掛かりを掲載している。</li> </ul> <p>【かわさき教育プラン】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「持続可能な地域をめざして」では、世界や日本の地域の課題や解決の取組を掲載している。</li> </ul>	<p>【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>各章、各節の「学習のはじめに」で問いを立てて学習の見通しをもち、「学習課題」「まとめと振り返り」で問いの解決に迫る構成をしている。</li> <li>見開きで「学習課題」を示し、「確認」「表現」で学習を確かめる問いを設定している。</li> </ul> <p>【分量・装丁】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>学習内容と関連して調べることができるように、「国別資料」と「県別資料」を掲載している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>資料の大きさや読み取りやすさ等、見やすいカラーユニバーサルデザインに配慮し、ユニバーサルデザインフォントを採用している。</li> <li>協働的な学びを提案する「学び合い」マークを付けている。</li> </ul>

# 調査研究報告書 ⑤

## 社会(歴史的分野)

発行者の番号 略称	書名	内容	構成・分量・装丁	表記・表現
2 東書	新編 新しい社会 歴史	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「チェック」「トライ」では調べたり、知識を確認したりする問いを掲載している。</li> <li>・調べ方やまとめ方を身に付けられるように、「スキルアップ」を掲載している。</li> </ul> <p>【思考力,判断力,表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「まとめの活動」では、章の課題や節の課題について振り返り、発展的に考える手立てを掲載している。</li> <li>・歴史的な見方・考え方を働かせて、個人やグループで考える「みんなでチャレンジ」を掲載している。</li> </ul> <p>【学びに向かう力,人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「歴史へのとびら」では主体的に学習に取り組めるように学び方を記載している。</li> <li>・習熟の程度に応じて学びができるように「探究のステップ」を掲載している。</li> </ul> <p>【かわさき教育プラン】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「身近な地域の歴史」では、県内の史跡や文化財、他地域の地域調査の事例を掲載している。</li> </ul>	<p>【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・見開きでは、「導入資料」→「学習課題」→「本文」→「チェック&amp;トライ」と学習の流れが分かるように構成している。</li> <li>・章の始めに「探究課題」を設定し、節の「探究のステップ」、1単位時間の「学習課題」を示して、課題を解決する単元の構成をしている。</li> </ul> <p>【分量・装丁】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・AB判を採用している。</li> <li>・学習する時期が分かるように、見開き右側に年表を掲載している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・キャラクターと説明の吹き出しを掲載している。</li> <li>・他分野や他教科等との関連、見方・考え方を働かせる視点の例などをマークや記号で表示している。</li> </ul>
17 教出	中学社会 歴史 未来をひらく	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・章末では、基礎的事項を時代の移り変わりとともに確認できる年表が掲載されている。</li> <li>・「歴史の技」では、歴史の学習で身に付けさせたい技能を設定している。</li> </ul> <p>【思考力,判断力,表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各章のまとめでは、段階的に考えて学習する「HOP!」「STEP!」を設けている。</li> <li>・各見開きに学習課題に対して考えを深める「確認!」「表現!」を掲載している。</li> </ul> <p>【学びに向かう力,人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「学習のはじめに」では、時代の特色を示す絵画や写真等を掲載している。</li> <li>・「歴史にアプローチ」では、見方・考え方を働かせることができるように、学習の進め方を掲載している。</li> </ul> <p>【かわさき教育プラン】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「身近な地域の歴史を調べよう」では、「移り変わる戦後の街を訪ねて」で川崎市を取り上げている。</li> </ul>	<p>【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・見開きでは、「導入資料」→「学習課題」→「本文」→「確認!」「表現!」と1時間の学習の見通しがもちやすいように構成している。</li> <li>・章の始めに資料の読み取りを通して章を貫く課題を設定し、節や1時間の問いを軸にして課題を解決する単元の構成をしている。</li> </ul> <p>【分量・装丁】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・AB判を採用している。</li> <li>・学習する時期が分かるように、見開き左側に年表を掲載している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・キャラクターと学習課題に関わる吹き出しを掲載している。</li> <li>・小学校での取り扱い、世界遺産、国宝、重要文化財等をマークで明確に表示している。</li> </ul>
46 帝国	中学生の歴史 日本の歩みと世界の動き 歴史	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・見開きで学習課題の理解を確かめる「確認しよう」「説明しよう」を掲載している。</li> <li>・「技能をみがく」で学習に必要な技能を習得できる工夫を設けている。</li> </ul> <p>【思考力,判断力,表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「タイムトラベル」では、学習の見通しをもてるように、当時の様子を想像する資料を掲載している。</li> <li>・歴史的な見方・考え方を働かせて特色を考察する手立てを示している。</li> </ul> <p>【学びに向かう力,人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・巻頭では、教科書を活用した学び方、歴史的な見方・考え方等を掲載している。</li> <li>・章のはじめに学習の見通しがもてるよう、小学校で学んだ人物や主な出来事を掲載している。</li> </ul> <p>【かわさき教育プラン】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「持続可能な社会の実現」に向けた意識を育むために、「未来に向けて」でコラムを掲載している。</li> </ul>	<p>【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・見開きでは、「導入資料」→「学習課題」→「確認しよう」→「説明しよう」との学習の流れが分かりやすいように構成している。</li> <li>・章扉では、章全体の学習内容を見通し、章の問いを設定し、節の問い、学習課題を示して、課題を解決する単元の構成をしている。</li> </ul> <p>【分量・装丁】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・AB判を採用している。</li> <li>・学習する時期が分かるように、見開きに右側に年表を掲載している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・キャラクターを様々な場面で掲載している。</li> <li>・見開き左下に小学校や他分野との関連を掲載している。</li> </ul>
81 山川	中学歴史 日本と世界 改訂版	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本文の中の重要な語句について理解ができるように、「用語解説」で説明をしている。</li> <li>・「歴史を考えよう」では、事例の理解を深めるために、地図や資料を読み取る視点を示している。</li> </ul> <p>【思考力,判断力,表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・資料から課題を導き出すことができるように、見開きの導入資料に「Q」を示している。</li> <li>・各章のまとめでは、まとめる課題を明らかにし、自分の考えを段階的に整理する内容を示している。</li> </ul> <p>【学びに向かう力,人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「〇世紀の世界」では、当時の世界と日本のつながりが分かるように、地図や絵資料を掲載している。</li> <li>・学習内容をさらに深く知ることができるようにするために、「歴史へのアプローチ」を掲載している。</li> </ul> <p>【かわさき教育プラン】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各地域の歴史や伝統文化について学ぶために、「地域からのアプローチ」を掲載している。</li> </ul>	<p>【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・見開きでは、課題を①～②を設置し、最後に「ステップアップ」を示し、1時間で様々な視点で学習するように構成している。</li> <li>・章の始めでは、年表を掲載し、時代を大観できるようにして章全体の学習内容を見通し、章のまとめをする単元の構成をしている。</li> </ul> <p>【分量・装丁】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・AB判を採用している。</li> <li>・学習した国々を調べられるように、巻末に世界地図を掲載している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・世界遺産、国宝、重要な歴史上の史料等をマークで表示している。</li> <li>・見開きで示すテーマの背景色を日本史と世界史で変えて示している。</li> </ul>

発行者の番号 略称	書名	内容	構成・分量・装丁	表記・表現
116 日文	中学社会 歴史 的分野	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>各章のまとめと振り返りでは、段階的に学習できるよう「STEP」を設けている。</li> <li>用語の解説として「基本用語」のコーナーを掲載している。</li> </ul> <p>【思考力,判断力,表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「チャレンジ歴史」のコーナーでは、話し合い活動の課題を提示している。</li> <li>毎時間の学習課題を提示し、課題解決に向けた「確認」「表現」を掲載している。</li> </ul> <p>【学びに向かう力,人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>各章のはじめに、学習の見通しをもてるように、学習の視点やポイントを示している。</li> <li>身近な地域の歴史を調べられるよう、「でかけよう！地域調べ」を掲載している。</li> </ul> <p>【かわさき教育プラン】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>歴史で学んだことから未来のことを考えるように、「歴史との対話を未来に生かす」を掲載している。</li> </ul>	<p>【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>見開きでは、「導入資料」→「学習課題」→「本文」→「確認」「表現」と1時間で活動することができる構成をしている。</li> <li>章の始めに、資料から読み取ったことから章と節の問いを示し、節の問いを意識しながら学習課題を解決する構成にしている。</li> </ul> <p>【分量・装丁】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>AB判を採用している。</li> <li>学習内容と関連して調べられるように、巻末に「歴史学習の基礎資料」を掲載している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>見開き左下に小学校や他分野の学習とのつながりを掲載している。</li> <li>国宝、世界遺産等に関連したマークを表示している。</li> </ul>
225 自由社	新しい歴史教科書	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>各章末では、章の学習内容に関連した「調べ学習のページ」を掲載している。</li> <li>各章の既習事項の復習のために、単元末に「復習問題のページ」を掲載している。</li> </ul> <p>【思考力,判断力,表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>各章のまとめで時代を大観できるように、「時代の特徴を考えるページ」を設定している。</li> <li>時代背景について考えられるように、学習課題に関連した文章資料を掲載している。</li> </ul> <p>【学びに向かう力,人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>学習課題に対して、さらに自分で学習を進められるように、見開きの「チャレンジ」を設定している。</li> <li>歴史に対する興味、関心が高まるよう、各章の始めに「歴史絵巻」を掲載している。</li> </ul> <p>【かわさき教育プラン】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>各章の始めに学習内容を大まかに知ることができるように、小学校で学んだ人物を紹介している。</li> </ul>	<p>【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>見開きでは、「導入資料」→「学習課題」→「本文」→「チャレンジ」と本文を中心に説明する構成にしている。</li> <li>章末に、「調べ学習」→「復習問題」→「時代の特徴を考える」→「対話とまとめ図」と単元でのまとめができる構成にしている。</li> </ul> <p>【分量・装丁】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>AB判を採用している。</li> <li>学習する時期が分かるように、見開き左下に年表を掲載している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>キャラクターを様々な場面で掲載している。</li> <li>国宝、世界遺産等に関連したマークを表示している。</li> </ul>
227 育鵬社	新しい日本の歴史	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>各章の時代の動きや出来事を振り返るために、章末に「学習のまとめ」を掲載している。</li> <li>情報の収集、資料の読み取り、まとめ方を示した「資料活用」を掲載している。</li> </ul> <p>【思考力,判断力,表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>歴史的な見方・考え方を働かせて考えることができるように、視点を掲載している。</li> <li>章の始めに資料を1つ提示し、学習の見通しをもてるように学習課題を設定している。</li> </ul> <p>【学びに向かう力,人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>章の始めに、各時代を大観できるように小学校の学びを示した「歴史絵巻」を掲載している。</li> <li>学習内容について、より興味、関心をもてるように、「歴史ズームイン」を掲載している。</li> </ul> <p>【かわさき教育プラン】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「歴史的な見方・考え方を働かせる」では、思考力、判断力、表現力を養う視点を掲載している。</li> </ul>	<p>【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>見開きでは、「導入資料」→「学習課題」→「本文」→「確認」「探究」と学習内容を整理しやすい構成にしている。</li> <li>章の始めに、章全体の学習内容を見通して章の課題と節の課題を設定し、学習課題を解決していく構成にしている。</li> </ul> <p>【分量・装丁】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>AB判を採用している。</li> <li>学習する時期が分かるように、見開き左下に年表を記載している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>章の導入では、歴史的事項や人物がイラストで表現されている。</li> <li>国宝、世界遺産等をマークで表示している。</li> </ul>
229 学び舎	ともに学ぶ人間の歴史	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>各章末では、資料をもとに学習内容の確認ができるように、「第〇章をふりかえる」を掲載している。</li> <li>見開きの学習課題についてより焦点が当たるように、「フォーカス」を掲載している。</li> </ul> <p>【思考力,判断力,表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>章の扉では、学習課題への意識を高めるために、地図を中心とした資料を掲載している。</li> <li>「部のまとめ」では、インタビューや討論を通して考える学習活動を設定している。</li> </ul> <p>【学びに向かう力,人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>歴史を楽しく学ぶことができるようにするために、「歴史への案内」を掲載している。</li> <li>学習する時代の様子を想像したり予想したりすることができるように、絵や写真を大きく掲載している。</li> </ul> <p>【かわさき教育プラン】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>調べる活動、博物館の利用、体験学習の方法を紹介するために、「歴史を体験する」を設定している。</li> </ul>	<p>【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>見開きでは、学習課題を設定し、図判や写真資料を大きく配置し、読み取りやすいように構成にしている。</li> <li>部の始めに、文章で部の学習課題を提示し、章ごとに学習内容を振り返り、部の最後にまとめをする単元の構成をしている。</li> </ul> <p>【分量・装丁】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>A判を採用している。</li> <li>学習する時代区分が分かるように、1章の前に年代の表し方を掲載している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>章の始めに示す地図は、北極を中心とした世界地図を掲載している。</li> <li>本文では太文字などを使用せず、難しい語句に振り仮名を付けている。</li> </ul>

発行者の番号 略称	書名	内容	構成・分量・装丁	表記・表現
236 令書	国史教科書 第 7版	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学習した年代の歴史的事象を振り返ることができるように、章末に学習のまとめを掲載している。</li> <li>・学習内容に関する地図資料を巻末にまとめて掲載している。</li> </ul> <p>【思考力,判断力,表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・提示している「課題」に対して理解を深めるために、「考えよう」を設定している。</li> <li>・「学習のまとめ」では、フィールドワーク、ディベート、ディスカッション等の方法を示している</li> </ul> <p>【学びに向かう力,人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・章の導入で政治、外交、文化、産業の視点で課題設定をしている。</li> <li>・教科横断的な興味、関心を高めることができるよう、巻末に「日本美術図鑑」を掲載している。</li> </ul> <p>【かわさき教育プラン】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・序章では、歴史的な見方・考え方として五つの観点を示し、それぞれを文章で説明している。</li> </ul>	<p>【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・グループでの学習の仕方、「テーマを決める」「疑問を持つ」「調べる」「まとめる」「発表する」「振り返る」と示している。</li> <li>・章の始めは漫画タッチの扉絵を使用し、章の導入で課題を設定する構成をしている。</li> </ul> <p>【分量・装丁】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・A5判を採用している。</li> <li>・主な出来事が分かるように、章の始めに年表を掲載している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本文は白黒で印刷し、巻末資料は本文とは違う質の紙にカラーで印刷している。</li> <li>・本文文章は縦書きの表記で表記し、難しい語句に振り仮名を付けている。</li> </ul>

## 調査研究報告書 ⑤

### 社会(公民的分野)

発行者の番号 略称	書名	内容	構成・分量・装丁	表記・表現
2 東書	新編 新しい 社会 公民	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・章のまとめでは、用語の意味を説明できるかどうかを確かめるために、「ワードチェック」を設定している。</li> <li>・公民の学習に必要な基礎的・基本的な技能を身に付けるために、「スキル・アップ」を掲載している。</li> </ul> <p>【思考力,判断力,表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「もっと知りたい！」では、社会的事象について比較、関連して考察する活動等を示している。</li> <li>・「まとめの活動」では、現代社会の見方・考え方を働かせて考察する活動を掲載している。</li> </ul> <p>【学びに向かう力,人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「導入の活動」では、興味を持って学習できるように、具体的な事例を通して考える活動を設定している。</li> <li>・「18歳のステップ」では、選挙権年齢の引き下げに関わる選挙の流れや注意点を記載されている。</li> </ul> <p>【かわさき教育プラン】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・巻頭では、現代的な諸課題の視点を示した「持続可能な社会の実現に向けて」を掲載している。</li> </ul>	<p>【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各章で「探究課題」「探求のステップ」を設定し、段階を踏んで探究課題を解決できる構成にしている。</li> <li>・「みんなでチャレンジ」では、様々な意見に触れながら学習ができるように、対話的な活動を示している。</li> </ul> <p>【分量・装丁】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学習内容と関連して調べることができるように、巻末に日本国憲法を含む参考法令集と用語解説一覧を掲載している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・キャラクターを掲載し、学習を促す課題や発問、ポイント等を説明している。</li> <li>・ユニバーサルデザインフォントを使用している。</li> </ul>
17 教出	中学社会 公民 ともに生きる	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「学習のまとめと表現」では、学習内容を図式化して知識を確認する「HOP!」を掲載している。</li> <li>・身に付けたい技能を養うために、個人やグループの活動を取り入れた「公民の技」を掲載している。</li> </ul> <p>【思考力,判断力,表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・見開きの「表現!」では、各時間の学習内容を踏まえて表現する問いを示している。</li> <li>・「学習のまとめと表現」では、段階的に考えて学習できるよう「STEP!」「JUMP!」の項目を設けている。</li> </ul> <p>【学びに向かう力,人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各章の「学習のはじめに」では、イラスト等で具体的な事例を掲載し、学習の見通しを示している。</li> <li>・学習内容と関連付けて現代社会の課題を多面的・多角的に考えられるように「公民の窓」を掲載している。</li> </ul> <p>【かわさき教育プラン】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・巻頭の「公民の学習を始めるにあたって」でSDGsの視点を示し、最終章と関連付けている。</li> </ul>	<p>【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各章に「学習のはじめに」「本時ページ」「特設ページ」「学習を振り返るページ」を設定し、「問い」を軸にして追究する構成にしている。</li> <li>・「学習のまとめと表現」のSTEP2では、章の問いについて思考ツールを用いて自分の考えをまとめ、意見交換をする活動を示している。</li> </ul> <p>【分量・装丁】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学習内容と関連して調べることができるように、巻末に日本国憲法と諸法令集、用語解説を掲載している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・見開きページごとにキャラクターが登場し、学習課題の解決を補う問いを示している。</li> <li>・ユニバーサルデザインフォントを使用している。</li> </ul>
46 帝国	社会科 中学 生の公民 よりよい社会 を目指して	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「学習を振り返ろう」では、問いについて図で整理して知識を確認する「節の振り返り」を設定している。</li> <li>・カードを使った情報整理や資料の読み取り方等、技能を習得するために「技能をみがく」を掲載している。</li> </ul> <p>【思考力,判断力,表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・章の導入の活動を生かして、章の問いについて考えをまとめる、「章の振り返り」を設定している。</li> <li>・現代社会の見方・考え方を働かせて考察することができるように、「アクティブ公民」を掲載している。</li> </ul> <p>【学びに向かう力,人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「学習の前に」では、社会の様子を示したイラストを掲載し、学習内容と社会との関連を示している。</li> <li>・「人権・多文化」「平和・安全」等、現代社会の課題への取組を知る「未来に向けて」を掲載している。</li> </ul> <p>【かわさき教育プラン】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・巻頭の「よりよい社会を目指して」でSDGsの視点を示し、最終章と関連付けている。</li> </ul>	<p>【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各章の「問い」、各節の「問い」、見開きの学習内容ごとに「学習課題」を提示し、「学習を振り返ろう」で課題の解決に向かうページを設定している。</li> <li>・「アクティブ公民」では、社会に見られる課題について、思考ツールを用いて自分の考えを整理し、意見交換をする活動を示している。</li> </ul> <p>【分量・装丁】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学習内容と関連して調べることができるように、巻末に日本国憲法や諸法令を掲載している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・キャラクターが登場し、課題に対するヒントやポイント、補足の情報等を示している。</li> <li>・ユニバーサルデザインフォントを使用している。</li> </ul>
116 日文	中学社会 公 民的分野	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・見開きの学習内容ごとに、学習内容の理解を問う「確認」のコーナーを設けている。</li> <li>・統計資料の扱い方やメディアリテラシーについて考える「情報スキルアップ」を掲載している。</li> </ul> <p>【思考力,判断力,表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・現代社会の諸課題と関連付けて学習内容の理解を深める活動を示した「アクティビティ」を掲載している。</li> <li>・単元のまとめ「チャレンジ公民」では、見方・考え方を働かせて社会の課題を考える活動を示している。</li> </ul> <p>【学びに向かう力,人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「学習のはじめに」では、各編の導入で具体的な事例を通して、章や節の問いを設定している。</li> <li>・「アクティビティ」では、成人年齢の引き下げに関わるさまざまな課題について考える活動を掲載している。</li> </ul> <p>【かわさき教育プラン】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・巻頭の「持続可能な社会をつくるために」でSDGsの視点を示し、本文で「明日に向かって」を掲載している。</li> </ul>	<p>【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・編の始めに「学習のはじめに」、見開きの学習内容ごとに「学習課題」を提示し、まとめとして「チャレンジ公民」「まとめとふり返し」を設定している。</li> <li>・「まとめとふり返し」では、章や節の問いについて考えたことを思考ツールにまとめ、グループで意見交換をしてまとめる活動を示している。</li> </ul> <p>【分量・装丁】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学習内容と関連して調べることができるように、巻末に日本国憲法を含む法令集、用語解説、類似用語集を掲載している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・見開きごとにキャラクターが登場し、課題に対するポイント、補足の情報等を説明している。</li> <li>・ユニバーサルデザインフォントを使用している。</li> </ul>

発行者の番号 略称	書名	内容	構成・分量・装丁	表記・表現
225 自由社	新しい公民教科書	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>見開き右下に、重要語句及び学習内容について確かめる「ここがポイント！」を掲載している。</li> <li>本文の学習内容に関連して、さらに調べることを提示して「やってみよう」を設定している。</li> </ul> <p>【思考力,判断力,表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>思考ツールを用いて具体的な事例を考察する活動を示した「アクティブに深めよう」を設定している。</li> <li>「学習のまとめと発展」では、章の学習を生かして考察したことを文章で表現する活動を示している。</li> </ul> <p>【学びに向かう力,人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>章の学習内容に関連して、生活との関わりや現代社会の課題を示した「もっと知りたい」を掲載している。</li> <li>本文の内容について、重要な言葉や事柄を学習するヒントとなるように「ミニ知識」のコラムを設定している。</li> </ul> <p>【かわさき教育プラン】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>巻末の「日本の伝統的工芸品」では、日本の職人によって受け継がれてきた技術や文化を掲載している。</li> </ul>	<p>【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>章の扉には、各章を見通した課題を文章で示し、見開きで取り組む学習課題を設定している。</li> <li>各章末の「学習のまとめと発展」では、最重要語句を手がかりに、語句の意味や理解した内容を説明する「3つの問題」を掲載している。</li> </ul> <p>【分量・装丁】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>学習内容と関連して調べることができるように、巻末に日本国憲法を含む法令集を掲載している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>キャラクターが登場し、課題に対するヒントやポイント、補足の情報等を説明している。</li> <li>文全体は明朝体を使用し、重要な語句はゴシック体で表記している。</li> </ul>
227 育鵬社	新しいみんなの公民	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>見開きでは、課題の理解を深めるために、学習した用語を踏まえて説明する「確認」を設けている。</li> <li>必要な情報の収集や資料の読み取り、まとめの技能育成を図るために、「資料活用」を掲載している。</li> </ul> <p>【思考力,判断力,表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>各章末では、学習内容を振り返り、見方・考え方を働かせて考察する「〇〇のこれから」を示している。</li> <li>各章末の「学習のまとめ」では、実社会に見られる課題の解決に向けて考える活動を設定している。</li> </ul> <p>【学びに向かう力,人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>巻頭では、地理・歴史・公民的分野の関わりを示した図を通して、中学校で公民を学ぶ理由を掲載している。</li> <li>学習内容を深める事例や、現代社会の課題への取組について考える「学習を深めよう」を設定している。</li> </ul> <p>【かわさき教育プラン】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>巻頭の「持続可能な開発目標」でSDGsの視点を示し、最終章と関連付けている。</li> </ul>	<p>【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>章の導入の「〇〇の入り口」では、「学習するにあたって」のコーナーで単元の見通しを文章で示している。</li> <li>章末の「〇〇のこれから」では、単元で学習したことを基に、思考ツール等を用いた対話的な活動を示している。</li> </ul> <p>【分量・装丁】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>学習内容と関連して調べることができるように、巻末に日本国憲法を含む法令集や用語解説を掲載している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>見開きページごとにキャラクターが登場し、学習を促す課題や発問、ポイント等を説明している。</li> <li>ユニバーサルデザインフォントを使用している。</li> </ul>

## 調査研究報告書 ⑤

### 社会(地図)

発行者の番号 略称	書名	内容	構成・分量・装丁	表記・表現
2 東書	新編 新しい 社会 地図	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各国の州や日本の地方においては、主題図やグラフなどの統計資料を掲載している。</li> <li>・一般図と主題図のそれぞれの見方を説明した、「この地図帳の活用方法」を掲載している。</li> </ul> <p>【思考力,判断力,表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地図を読み解くために、視点や問いを投げかけて考えさせる「Bee's eye」を示している。</li> <li>・日本の地方では、一般図とともに都市部の様子が分かるように、拡大地図を掲載している。</li> </ul> <p>【学びに向かう力,人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・社会の様子を捉えるために、世界や日本の主題図の中に文化に関わる資料を掲載している。</li> <li>・日本の領土を表す地図では、海底と地形を立体的に表し、島の写真を大きく掲載している。</li> </ul> <p>【かわさき教育プラン】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・SDGsについて説明する特集ページを掲載し、関連する主題図、統計資料にマークを付けている。</li> </ul>	<p>【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地理的分野の教科書の構成に準じた配列で、既習を生かした資料活用がしやすくなっている。</li> <li>・地球全体の姿を的確に読み取れる図や、社会科3分野の課題学習に効果的に活用できる資料を掲載している。</li> </ul> <p>【分量・装丁】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・国旗について調べやすいように、各州の地図の外枠に掲載している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・見やすく読みまがえにくいユニバーサルデザインフォントを使用し、すべての生徒の色覚特性に適応するようにユニバーサルデザインに配慮している。</li> <li>・世界や日本の地域の地図では、地域や地方ごとにインデックスの色を変えて掲載している。</li> </ul>
46 帝国	中学校社会科 地図	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各国の州や日本の地方においては、地域の特色が分かる様々な地図や主題図を掲載している。</li> <li>・地図の見方や読み取り方などの活用方法を示す、「この地図帳の使い方」を掲載している。</li> </ul> <p>【思考力,判断力,表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地図をもとに地理的な見方・考え方を働かせて考えるために、「地図で発見！」を掲載している。</li> <li>・日本の自然災害や防災について様々な視点から考えることができる主題図を示している。</li> </ul> <p>【学びに向かう力,人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・世界の各州では、地形に地域の特色を示したイラストを合わせた鳥観図を掲載している。</li> <li>・日本の領土を表す地図では、情報が分かりやすいように、地形の色を減らして示している。</li> </ul> <p>【かわさき教育プラン】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・SDGsについて考察できる資料ページを掲載し、関連する主題図、統計資料にマークを付けている。</li> </ul>	<p>【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地理的分野の流れに沿って配列され、自らが学習に取り組みやすくなるように、問いを示している。</li> <li>・社会科3分野での活用や、総合的な学習、修学旅行での活用等、様々な場面で活用できる主題図を掲載している。</li> </ul> <p>【分量・装丁】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・国旗について調べやすいように、各州の地図の中に囲み枠で掲載している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ユニバーサルデザインの視点を取り入れ、色使いやレイアウト等に配慮して編集し、見やすく読み間違えにくいユニバーサルデザインフォントを採用している。</li> <li>・都道府県や市の名称を手話で表すことができるように、「手話で表してみよう」を掲載している。</li> </ul>

# 調査研究報告書 ⑤

## 数学

発行者の番号 略称	書名	内容	構成・分量・装丁	表記・表現
2 東書	新編 新しい数学 1 ～MATH CONNECT 数学 のつながり～ 新編 新しい数学 2 ～MATH CONNECT 数学 のつながり～ 新編 新しい数学 3 ～MATH CONNECT 数学	【知識及び技能】 ・知識・技能の定着のため「クイックチェック」を設定している。 ・既習の知識・技能を確認できる問題「学びのベース」を掲載している。 【思考力,判断力,表現力等】 ・自分の考えを説明するなど問題解決の場面として「深い学び」を設定している。 ・思考を深める視点となる「大切にしたい見方・考え方」を示している。 【学びに向かう力,人間性等】 ・各章の導入では、日常生活、身の回りにあるものと結びついた題材を用いている。 ・目次のタイトルに「その章で身につけたいことのテーマ」を記載している。 【かわさき教育プラン】 ・二次元コードでは、習熟の程度に応じて取り組める問題を掲載している。	【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】 ・「ふり返りレポート」では数学的な考えや既習事項と関連付けた内容を示している。 ・問題発見・解決の過程を重視した構成になっており、その学び方も示している。  【分量・装丁】 ・切り取り使う厚紙の付録として、1年の立体図形で使うものを設定している。	・ルビなどの小さい文字には、見やすく読みまちがいにくいユニバーサルデザインフォントを採用している。また、カラーユニバーサルデザインに対応している。 ・余白をとり、文章、図版を余裕を持ちレイアウトしている。
4 大日本	数学の世界1 数学の世界2 数学の世界3	【知識及び技能】 ・知識・技能の定着のため「たしかめよう」や「プラス・ワン」を掲載している。 ・既習内容との繋がりを意識して学習できるページに「思い出そう」を掲載している。 【思考力,判断力,表現力等】 ・学習を振り返り、知識を定着、活用を図るため「学びにプラス」を掲載している。 ・課題解決の過程を振り返るノートの作り方の例示を掲載している。 【学びに向かう力,人間性等】 ・「社会にリンク」では、社会・職業と結びつく数学の例が示されている。 ・章の導入ページの活動を通して、主体的に学習に取り組めるようにしている。 【かわさき教育プラン】 ・章末「力をのばそう」、巻末「総合問題」では、習熟の程度に応じた学習内容を設定している。	【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】 ・問題発見から解決までの流れ（「問題を見いだそう」「解決のしかたを探ろう」「解決しよう」「深めよう」）を巻頭で示している。 ・「解き方が正しいか」、「どこが間違えているのか」といった問い方があり、根拠をもとに説明させる工夫をしている。  【分量・装丁】 ・切り取り使う厚紙の付録として、1年の立体図形、3年の因数分解、三平方の定理で使うものを設定している。	・ユニバーサルデザインの視点を取り入れ、フォント、色使いやレイアウトなどに配慮している。 ・全体的に行間を広くして、余裕を持ち行を配置している。
11 学図	中学校 数学 1 中学校 数学 2 中学校 数学 3	【知識及び技能】 ・知識・技能の定着のため「計算力を高めよう」等を掲載している。 ・既習の知識・技能と関連付けて学習できるよう、章の導入で既習事項を掲載している。 【思考力,判断力,表現力等】 ・巻末の「見方・考え方をまとめよう」では考え方のポイントを8つにまとめて示している。 ・巻末の「表現する力を身につけよう」ではレポート作成から発表までの流れを示している。 【学びに向かう力,人間性等】 ・数学が社会に有用なことを実感して学習に取り組めるよう身近な話題を扱っている。 ・巻末「さらなる数学へ」では、SDGsにつながる問題を掲載している。 【かわさき教育プラン】 ・章末のまとめの問題では、「基本」「応用」「活用」と習熟の程度に応じた内容を設定している。	【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】 ・「〇〇の利用」は協働的な学習、統合・発展的な学習に繋がる構成になっている。 ・章末「できるようになったこと」「さらに学んでみたいこと」で振り返る場を設けている。  【分量・装丁】 ・切り取り使う厚紙の付録として、1年の正の数・負の数、立体図形、2年の三角形・四角形、3年の因数分解、三平方の定理で使うものを設定している。	・ユニバーサルデザインの視点を取り入れ、フォント、色使いやレイアウトなどに配慮している。 ・学習の内容と繋がるイラストや写真を掲載しイメージができるようにしている。
17 教出	中学数学 1 中学数学 2 中学数学 3	【知識及び技能】 ・知識・技能の定着のため、節末「基本の問題」や章末「たしかめよう」を設定している。 ・既習の知識・技能と関連付けて学習できるよう、章の導入で既習事項を掲載している。 【思考力,判断力,表現力等】 ・考えを広げる視点となる「大切にしたい数学的な見方・考え方」を巻頭に示している。 ・多様な考え方をしたり、自分の考え方を説明したり、話し合ったりする課題を設けている。 【学びに向かう力,人間性等】 ・「学んだことを活用しよう」では、実社会や日常生活などに関わる問題を掲載している。 ・「数学の広場」では、他教科と関連付けた問題や発展した問題を掲載している。 【かわさき教育プラン】 ・章末問題では、習熟の程度に応じて進められるよう基礎と応用を設定している。	【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】 ・「学びのプロセス」では、課題解決の方法を示した課題を掲載している。 ・二次元コードでは、動画や補充問題を設定している。  【分量・装丁】 ・切り取り使う厚紙の付録として、1年の立体図形、3年の因数分解、三平方の定理で使うものを設定している。	・ユニバーサルデザインの視点を取り入れ、フォント、色使いやレイアウトなどに配慮している。 ・生徒の問いや疑問、見方・考え方などをキャラクターの吹き出しで伝え、課題解決の視点を表している。

発行者の番号 略称	書名	内容	構成・分量・装丁	表記・表現
61 啓林館	未来へひろがる 数学 1 未来へひろがる 数学 2 未来へひろがる 数学 3	【知識及び技能】 ・知識・技能の定着のため章末問題「学びをたしかめよう」を設定している。 ・既習(前の学年)の知識・技能と関連付けられる、巻末「学びをふりかえろう」を掲載している。 【思考力,判断力,表現力等】 ・自分の考えを表現する場を「説明しよう」「話しあおう」「まとめよう」に設定している。 ・興味をもって思考・判断・表現ができるような問題を「ひろげよう」で掲載している。 【学びに向かう力,人間性等】 ・身の周りにあるものと結びついた題材を「学びを生かそう」に掲載している。 ・他教科と関連付けた問題を掲載している。 【かわさき教育プラン】 ・習熟の程度の応じてに進められるよう章末に基礎と応用、巻末に「力をつけよう」を掲載している。	【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】 ・「説明しよう」「話しあおう」「まとめよう」の流れで対話的な学びを示している。 ・知識・技能を活用する内容では、問題発見・解決の流れを示した課題を掲載している。  【分量・装丁】 ・厚紙のとしてページとして、3年生の標本調査で使う乱数表を設定している。	・ユニバーサルデザインの視点を取り入れ、フォント、色使いやレイアウトなどに配慮している。 ・学習の内容と繋がるイラストや写真を掲載しイメージがしやすいようにし、吹き出しを加え補足内容を示している。
104 数研	これからの 数 学 1 これからの 数 学 2 これからの 数 学 3	【知識及び技能】 ・知識・技能の定着のため節末の「確認問題」、章末問題Aという流れで掲載している。 ・既習の知識・技能と新しい内容を関連付けられる「ふりかえり」を章の導入に掲載している。 【思考力,判断力,表現力等】 ・思考力・判断力・表現力の向上に繋がる「学んだことを活用しよう」を章末に掲載している。 ・見方・考え方が働かせられるよう、各学習内容を問題解決の流れに沿って設定している。 【学びに向かう力,人間性等】 ・新しい学習に興味をもてるよう、日常生活に関わる内容を取り上げている。 ・「Q」や「TRY」など数学的活動を取り入れた内容を掲載している。 【かわさき教育プラン】 ・章末問題では、習熟の程度に応じて進められるよう基礎と応用を設定している。	【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】 ・巻頭に「説明を聞く」「発表を聞く」「話し合う」など授業における学び方が提示されている。 ・学習の流れが系統的、発展的な構成で、対話的に進められるよう設定している。  【分量・装丁】 ・切り取り使う厚紙の付録として、1年の平面図形、立体図形、3年の因数分解、三平方の定理で使うものを設定している。	・ルビなどの小さい文字には、見やすく読みまちがいがにくいユニバーサルデザインフォントを採用している。また、カラーユニバーサルデザインに対応している。 ・余白をとり、文章、図版を余裕を持ちレイアウトしている。
116 日文	中学数学 1 中学数学 2 中学数学 3	【知識及び技能】 ・知識・技能の定着のため「基本の問題」、巻末の「補充問題」を掲載している。 ・既習事項を復習できる「次の章を学ぶ前に」を章のはじめに掲載している。 【思考力,判断力,表現力等】 ・思考・判断・表現したことをノートなどに添付できる「振り返りシート」を設定している。 ・思考の補助となる「大切な味方・考え方」を各節に掲載している。 【学びに向かう力,人間性等】 ・身近なことから数学の問題を発見でき興味をもてる章の導入にしている。 ・日常生活や社会の事象を扱う「数学のたんけん」を掲載している。 【かわさき教育プラン】 ・巻末に「補充問題」「総合問題」「活用の問題」など、習熟の程度に応じた学びを設定している。	【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】 ・巻末「ふり取りシート」「対話シート」は切り取り、ノートに貼れるようにしている。 ・「学び合おう」では、問題解決型の学習過程を重視した構成になっており、学び方も示している。  【分量・装丁】 ・切り取り使う厚紙の付録として、1年の立体図形、3年の因数分解で使うものが設定している。	・ユニバーサルデザインの視点を取り入れ、フォント、色使いやレイアウトなどに配慮している。 ・余白をとり、文章、図版を余裕を持ちレイアウトしている。

# 調査研究報告書 ⑤

## 理科

発行者の番号 略称	書名	内容	構成・分量・装丁	表記・表現
2 東書	新編 新しい科学 1 新編 新しい科学 2 新編 新しい科学 3	【知識及び技能】 ・観察や実験の方法は、主に写真を掲載している。 ・器具や薬品の扱い方などを、活動場面や巻末に掲載している。 ・「学習内容の整理」と、二次元コードで「単元末問題」を、単元末に掲載している。 【思考力,判断力,表現力等】 ・「活用問題」を、単元末に掲載している。 【学びに向かう力,人間性等】 ・「学びを生活や社会に広げよう」を、巻末に掲載している。 【かわさき教育プラン】 ・防災教育について、「防災特集」を掲載している。 ・理科に関連する職業など、キャリア教育に関する内容を掲載している。	【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】 ・章の初めと終わりに「Before&After」を設けている。 ・キャラクターの吹き出しで、考えや振り返りなどを例示している。 ・学年によって、物理、化学、生物、地学の順序を変えて構成している。 【分量・装丁】 ・1、2年は4単元、3年は環境分野を含む5単元で構成している。 ・大きさをAB判を採用している。	・ユニバーサルデザインフォントを使用している。 ・カラーユニバーサルデザインに配慮した配色にしているとしている。 ・文章中の太字の漢字には、ルビを付けている。
4 大日本	理科の世界 1 理科の世界 2 理科の世界 3	【知識及び技能】 ・観察や実験の方法は、イラストを掲載している。 ・器具の基本操作などを、活動場面や巻末に掲載している。 ・単元の「まとめ」では、キーワードを掲載している。 【思考力,判断力,表現力等】 ・単元末には、「単元末問題」「読解力問題」を掲載している。 【学びに向かう力,人間性等】 ・活動につながる「やってみよう」を掲載している。 【かわさき教育プラン】 ・防災教育につながる内容のコラムを掲載している。 ・職業についてのインタビュー記事など、キャリア教育に関する内容を掲載している。	【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】 ・単元の始めに、「これまでに学習したこと」「これから学習すること」を設けている。 ・キャラクターの吹き出しでは、思考場面でのヒントや対話を例示している。 ・学年によって、物理、化学、生物、地学の順序を変えて構成している。 【分量・装丁】 ・1、2年は4単元、3年は生物のつながりと環境分野を含む6単元で構成している。 ・大きさをB5判を採用している。	・ユニバーサルデザインフォントを使用している。 ・カラーユニバーサルデザインに配慮した配色にしているとしている。 ・文章中の太字の漢字には、ルビを付けている。
11 学図	中学校 科学 1 中学校 科学 2 中学校 科学 3	【知識及び技能】 ・観察や実験の方法は、写真を掲載している。 ・器具の基本操作などを、巻末に掲載している。 ・用語や基本問題を整理した「学習のまとめ」を、単元末に掲載している。 【思考力,判断力,表現力等】 ・「計算問題」「読解力強化問題」を、巻末に掲載している。 【学びに向かう力,人間性等】 ・理科を学ぶ有用性や学び方を示す「なぜ理科を学ぶの？」を、巻頭に掲載している。 【かわさき教育プラン】 ・「補充資料」には、防災教育に関連する「資料」を掲載している。 ・キャリア教育に関する内容の写真を、裏表紙中に掲載している。	【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】 ・単元の始め初めには、「Can-Do List」を設けている。 ・キャラクターの吹き出しでは、仮説や振り返りなどの場面で視点やヒントを例示している。 ・学年によって、物理、化学、生物、地学の順序を変えて構成している。 【分量・装丁】 ・各学年4単元で構成している。 ・大きさをAB判を採用している。	・ユニバーサルデザインフォントを使用している。 ・カラーユニバーサルデザインに配慮した配色にしているとしている。 ・文章中の一部の漢字には、ルビを付けている。
17 教出	自然の探究 中学理科 1 自然の探究 中学理科 2 自然の探究 中学理科 3	【知識及び技能】 ・観察や実験の方法は、イラストを掲載している。 ・器具の使い方や薬品の扱い方などを、主に巻末に掲載している。 ・「基本問題」を、単元末に掲載している。 【思考力,判断力,表現力等】 ・「活用問題」を、単元末に掲載している。 【学びに向かう力,人間性等】 ・「自然の探究」や「探究の進め方」を、巻頭に掲載している。 【かわさき教育プラン】 ・防災教育の視点を持ち、災害について調べる学習を掲載している。 ・働く人からのメッセージを、巻頭の折り込みに掲載している。	【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】 ・章の初めには、「これまでの学習」「学習前の私」を設けている。 ・キャラクターの吹き出しでは、話し合いや探究のヒントを例示している。 ・学年によって、物理、化学、生物、地学の順序を変えて構成している。 【分量・装丁】 ・1、2年は4単元、3学年は環境分野を含む5単元で構成している。 ・大きさをAB変型判を採用している。	・ユニバーサルデザインフォントを使用している。 ・カラーユニバーサルデザインに配慮した配色にしているとしている。 ・文章中の太字の漢字には、文字色を変え、ルビを付けている。

発行者の番号 略称	書名	内容	構成・分量・装丁	表記・表現
61 啓林館	未来へひろがるサイエンス1 未来へひろがるサイエンス2 未来へひろがるサイエンス3	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・観察や実験の方法は、イラストを掲載している。</li> <li>・器具の使い方や薬品の扱い方などを、活動場面や巻末に掲載している。</li> <li>・「学習のまとめ」と二次元コードによる問題や、「力だめし」を、単元末に掲載している。</li> </ul> <p>【思考力,判断力,表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・習熟の程度に応じた問題や、動画を見て考える「動画でチャレンジ」を掲載している。</li> </ul> <p>【学びに向かう力,人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「部活ラボ」「お料理ラボ」「深めるラボ」などの科学コラムを、掲載している。</li> </ul> <p>【かわさき教育プラン】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・防災教育に関する内容を扱う「防災減災ラボ」を掲載している。</li> <li>・キャリア教育に関する内容を扱う「お仕事ラボ」を掲載している。</li> </ul>	<p>【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・章には、「学ぶ前にトライ!」「学んだ後にリトライ!」を設けている。</li> <li>・キャラクターの吹き出しでは、「みんなで探Qクラブ」などで、探究を深める対話を例示している。</li> <li>・全ての学年で、生命、地球、物質、エネルギーの領域の順に構成している。</li> </ul> <p>【分量・装丁】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1、2年は4単元、3年は環境分野を含む5単元で構成している。</li> <li>・大きさをAB判を採用している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ユニバーサルデザインフォントを使用している。</li> <li>・カラーユニバーサルデザインに配慮した配色にしているとしている。</li> <li>・文章中の太字を含む複数の漢字には、ルビを付けている。</li> </ul>

## 調査研究報告書 ⑤

### 音楽(一般)

発行者の 番号略称	書名	内容	構成・分量・装丁	表記・表現
17 教出	中学音楽 1 音楽のおくりもの 中学音楽 2・3 上 音楽のおくりもの 中学音楽 2・3 下 音楽のおくりもの	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>音楽を形づくっている要素を説明し、楽曲を鑑賞しながら要素について学習する教材を掲載している。</li> <li>歌唱の技能の習得に向けて「歌うための準備」のコーナーを設け、姿勢や息のコントロール、言葉の発音を掲載している。</li> </ul> <p>【思考力,判断力,表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「学習の進め方」では、「音楽を形づくっている要素」を示し、それを手がかりに学習を進める手立てを掲載している。</li> <li>生徒が思考する際の手立てとなるよう、楽曲に関する写真や絵、図などを掲載している。</li> </ul> <p>【学びに向かう力,人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>学習の見通しがもてるよう、「学習マップ」のコーナーを設けている。</li> <li>現代活躍している音楽家のメッセージや身の回りの生活に関わる音楽について掲載している。</li> </ul> <p>【かわさき教育プラン】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>友達と対話するなど、他者と考えを交流しながら協働的に学習を進めるための手立てを掲載している。</li> </ul>	<p>【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>キャラクターを活用して活動を促したり、共通点や相違点を友達に紹介したりする活動を掲載している。</li> <li>主要部分の教材と選択できるオプション部分の教材を組み合わせる構成にしている。</li> </ul> <p>【分量・装丁】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>判型はA4変型判にしている。</li> <li>折り返みページを使用している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>新出の用語や記号を取り出して示している。</li> <li>学習目標を歌唱・創作・鑑賞で色分けしている。</li> <li>歌唱共通教材は「日本の歌、みんなの歌」として、縦書きの歌詞を掲載し、難しい歌詞には説明を加え、情景を想像するための写真を掲載している。</li> </ul>
27 教芸	中学生の音楽 1 中学生の音楽 2・3 上 中学生の音楽 2・3 下	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>演奏したり、聴いたりしながら、曲想と音楽の構造との働きを理解するための手立てを示している。</li> <li>歌唱の技能の習得に向けて、「My Voice!」のコーナー等で姿勢や呼吸、歌声づくり、言葉の発音等の手立てを掲載している。</li> </ul> <p>【思考力,判断力,表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>教材ごとに学習の手がかりとなる「音楽を形づくっている要素」を掲載している。</li> <li>「学びのコンパス」では、学びの手立てを示し、思考を促すイラストや会話文、自分の考えの記述欄を掲載している。</li> </ul> <p>【学びに向かう力,人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>各教材に「学習目標」「具体的な学習活動」「音楽を形づくっている要素」を掲載している。</li> <li>多様な音楽との関わり方について、現代活躍している方々のメッセージを写真とともに掲載している。</li> </ul> <p>【かわさき教育プラン】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>友達と対話をしたり、グループで活動をしたりしながら学習を進める手立てを掲載している。</li> </ul>	<p>【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>キャラクターや吹き出しを活用して、自分の考えや思いをまとめ、友達と意見を共有する手立てを示している。</li> <li>1年間の学習内容を領域・分野ごとに示し、三つの資質・能力に対応する学習内容や教材を掲載している。</li> </ul> <p>【分量・装丁】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>判型はA4変型判にしている。</li> <li>全体を通して同じ紙質、綴じ方にしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学習の中でポイントとなる用語や記号を取り出して示している。</li> <li>各教材のページを歌唱・創作・鑑賞で色分けしている。</li> <li>歌唱共通教材は「心の歌」として、縦書きの歌詞を掲載し、難しい歌詞には説明を加え、情景を想像するための写真や絵を掲載している。</li> </ul>

## 調査研究報告書 ⑤

### 音楽(器楽合奏)

発行者の 番号略称	書名	内容	構成・分量・装丁	表記・表現
17 教出	中学器楽 音楽のおく りもの	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>各楽器の扱い方、構え方、運指表、各部の名称などを掲載している。</li> <li>基本的な奏法について、写真やイラストを掲載したり、動画で確認できるように二次元コードを掲載したりしている。</li> </ul> <p>【思考力,判断力,表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>キャラクターを活用して、楽器を演奏する際のアドバイスや解説などを示している。</li> <li>複数の楽器の特徴について鑑賞し、比較して考えるコーナーを掲載している。</li> </ul> <p>【学びに向かう力,人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>学習したことを生かして、さらに発展的に取り組む教材を掲載している。</li> <li>様々な音楽文化に触れられるよう、ストリートピアノの取組や世界の楽器を掲載している。</li> </ul> <p>【かわさき教育プラン】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>自分の意見を友達と共有する学習や、アンサンブルの教材など、友達と協働的に学習を進める教材を掲載している。</li> </ul>	<p>【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>各楽器の学習は、楽器の紹介と奏法のポイント、アンサンブル教材で構成し、音楽活動の手順やポイントを掲載している。</li> <li>各楽器のページの見開きに題材名を示し、学習のめあてを各教材に示している。</li> </ul> <p>【分量・装丁】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>判型はA4変型判にしている。</li> <li>折り込みページを使用している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ソプラノリコーダーとアルトリコーダーの運指を同じページに掲載している。</li> <li>リコーダーの運指表やギター、キーボードのコード表を折り込みページの見開きで掲載している。</li> </ul>
27 教芸	中学生の器 楽	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>各楽器の扱い方、構え方、運指表、各部の名称などを掲載している。</li> <li>基礎的な奏法について、写真やイラストを掲載したり、動画で確認できるように二次元コードを掲載したりしている。</li> </ul> <p>【思考力,判断力,表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「アンサンブルセミナー」では、教材ごとに、思考・判断のよりどころとなる音楽を形づくっている要素を掲載し、キャラクターを活用して、創意工夫を考える手立てを示している。</li> <li>器楽を用いた創作の課題や手順を示し、音で確かめながら学習を進める手立てを示している。</li> </ul> <p>【学びに向かう力,人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>基礎的な楽器の奏法の学習を生かして取り組むためのアンサンブル曲を掲載している。</li> <li>様々な音楽文化に触れられるよう、多様なジャンルの教材や著名な演奏家のメッセージを掲載している。</li> </ul> <p>【かわさき教育プラン】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>グループ活動を通して、協働的に学習を進めるために、多様なジャンルのアンサンブルの教材を掲載している。</li> </ul>	<p>【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>各楽器の学習は、音色の鑑賞や楽器の歴史、基本的な奏法、アンサンブル教材で構成し、知覚・感受や創意工夫を促す手立てを掲載している。</li> <li>冒頭に育成する資質・能力、学習内容、音楽を形づくっている要素を教材ごとに一覧にして示している。</li> </ul> <p>【分量・装丁】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>判型はA4変型判にしている。</li> <li>全体を通して同じ紙質、綴じ方にしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>教材と同じページにその学習で使用する運指や奏法を示している。</li> <li>リコーダーの運指表やギター、キーボードのコード表を見開きで掲載している。</li> </ul>

## 調査研究報告書 ⑤

### 美術

発行者の番号 略称	書名	内容	構成・分量・装丁	表記・表現
9 開隆堂	美術 1 美術 2・3	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・知識を「美術の用語」としてまとめている。</li> <li>・知識・技能に関する内容を、学びの資料として掲載している。</li> </ul> <p>【思考力,判断力,表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・表現題材において、発想や構想を促す言葉を吹き出しで示している。</li> <li>・よりよく鑑賞できるように、原寸大で作品を掲載している。</li> </ul> <p>【学びに向かう力,人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・将来を含めた美術への学習につながるように、社会で活躍する人物や言葉を掲載している。</li> </ul> <p>【かわさき教育プラン】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・社会に開かれた美術を意識して、共同制作や地域連携事例を掲載している。</li> </ul>	<p>【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・題材で身に付けさせたい資質・能力を3つの目標として掲載している。</li> <li>・生徒作品や作家の作品、表現方法等が見られる二次元コードを掲載している。</li> <li>・題材の中での流れが分かりやすくなるように、発想から鑑賞で構成している。</li> </ul> <p>【分量・装丁】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・A4ワイド判で美術1と美術2・3で構成している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・SDGsに繋がる題材には、SDGsのマークを表記している。</li> </ul>
38 光村	美術 1 美術 1 資料 美術 2・3	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・形や色彩、材料など作品を鑑賞するときに着目すべき内容を「POINT」として示している。</li> <li>・技法などを詳しく別冊の資料にまとめている。</li> </ul> <p>【思考力・判断力・表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒作品の制作過程、ラフスケッチなど発想の手立てとなる「みんなの工夫」を掲載している。</li> <li>・日本絵画について、素材の違う紙に印刷している。また、実物大の鑑賞作品を掲載している。</li> </ul> <p>【学びに向かう力,人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・身近な生活の中にある美に着目した写真やその美を発見した生徒の写真を掲載している。</li> </ul> <p>【かわさき教育プラン】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・現代の社会問題と美術の関連に意識が向くように、SDGsに関連させたページを設定している。</li> </ul>	<p>【主体的・対話的で深い学び】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・題材名の横に目標を3つの資質・能力で示している。</li> <li>・関連技法、生徒作品、生徒のインタビュー等が見られる二次元コードを掲載している。</li> <li>・題材の中での発想から鑑賞へと流れが分かるように構成している。</li> </ul> <p>【分量・装丁】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1学年、2・3学年で構成している。また、技法について別冊にまとめている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・SDGsに関連する内容には、目標のマークが示されている。</li> </ul>
116 日文	美術 1 美術との 出会い 美術 2・3 上 学びの実感と深 まり 美術 2・3 下 学びの探求と未 来	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・知識・技能に生かせるようにするため、各巻末に学びを支える資料を掲載している。</li> <li>・表現や鑑賞のヒントになるように、造形的な視点を掲載している。</li> </ul> <p>【思考力,判断力,表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・表現力をサポートするために、表現のヒントを掲載している。</li> <li>・浮世絵の原寸大の大きさの図版を掲載している。</li> </ul> <p>【学びに向かう力,人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・美術への学習につながるように、社会で活躍する人物や言葉を紹介している。</li> </ul> <p>【かわさき教育プラン】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・暮らしやまちづくり、地域おこしなど生活につながる題材を掲載している。</li> </ul>	<p>【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・題材の横に学びの目標を3つの観点で示している。</li> <li>・生徒があらゆる場所で自分のペースで学べるように二次元コードを掲載している。</li> <li>・鑑賞の入り口から入り、造形的な視点を感じさせ、発想の手助けとなる表現のヒントとなるように構成している。</li> </ul> <p>【分量・装丁】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・A4ワイド判で美術1、美術2・3上と下で構成している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・SDGsに着目して現代に沿った課題に関連する内容には、目標を表記している。</li> </ul>

# 調査研究報告書 ⑤

## 保健体育

発行者の番号 略称	書名	内容	構成・分量・装丁	表記・表現
2 東書	新編 新しい保健体育	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>知識の定着と習得状況を確認できるように、各章に「学習のまとめ」を設けている。</li> <li>学習内容を身近に活用できるように、巻末に健康や安全に関するスキルをまとめた「スキルブック」を掲載している。</li> </ul> <p>【思考力, 判断力, 表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>資料を基に思考・判断したり表現したりするために、細かいステップで発問を掲載している。</li> <li>習得した知識を活用して、さらに思考を深めるために、「活用する」で日常生活に結び付ける活動を示している。</li> </ul> <p>【学びに向かう力, 人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>学習課題の必要感をもたせるために、導入「見つける」で日常生活で感じる健康課題に触れている。</li> <li>生徒が身近にキャリアを考えることができるように、「保健体育の職業」で活躍している人を取り上げている。</li> </ul> <p>【かわさき教育プラン】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>今日的な健康課題や新たな健康問題について、より身近にわかりやすく感じられる資料を「章末資料」に掲載している。</li> <li>性についての単元で、LGBTQ+に配慮して、「異性など」と異性に限定しない表記にしている。</li> </ul>	<p>【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>流れに一貫性をもたせるために、「見つける」「学習課題」「課題の解決」「活用する」「広げる」という構成で統一している。</li> <li>デジタル教材をより活用しやすくするために、二次元コードから動画やシミュレーション、章末問題などを使用できるようにしている。</li> </ul> <p>【分量・装丁】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>学習内容を見開きで完結するようにまとめ、すべてのページで左側に説明文、右側に資料や図を配置している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>カラーユニバーサルデザインへの配慮やユニバーサルデザインフォントの使用など、多様な見え方への配慮をしている。</li> <li>キャラクターの吹き出しに、学びを深めるヒントや学習のポイントに迫る言葉を掲載している。また、小見出しと問いかけを連動している。</li> </ul>
4 大日本	中学校保健体育	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>生活について他教科と関連させて考えることができる内容について、マークを掲載して示している。</li> <li>章末に「学習のまとめ」「重要な言葉」を掲載し、まとめの問題・解答をウェブサイトに掲載している。</li> </ul> <p>【思考力, 判断力, 表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「学びを活かそう」で、考えたり、話し合ったり、まとめたりする発問を掲載している。</li> <li>「やってみよう」「話し合ってみよう」で、本文や資料をもとに話し合ったり深めたりする活動を提示している。</li> </ul> <p>【学びに向かう力, 人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>章末資料等で、生活に身近な出来事や現代の問題を取り扱っている。</li> <li>「つかもよう」で興味を引き出す発問をし、「活用して深めよう」で、日常生活に生かす課題を提示している。</li> </ul> <p>【かわさき教育プラン】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>オリンピック、パラリンピックの歴史や世界で活躍する日本人を掲載している。</li> <li>読むことに苦手意識をもっている生徒も内容を確認しやすくなるように、本文と資料を見開きで左右に分けている。</li> </ul>	<p>【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「つかもよう」「やってみよう」「話し合ってみよう」「調べてみよう」「活用して深めよう」という流れで構成している。</li> <li>生徒の興味・関心を高めるように、「トピックス」を掲載している。</li> </ul> <p>【分量・装丁】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>学習に必要な情報を偏りなく配分し掲載している。また心肺蘇生法は、ページ全体を確認しながら実習を進めることができるように、折り込みを開いて見る形にしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ユニバーサルデザインの視点を取り入れ、左ページに本文、右ページに資料や図表を配置するなど本文と資料を分けている。また、本文は文節の途中で切れない改行にしている。</li> <li>本文の見出しに参照資料番号を掲載し、資料と関連付けて見ることができるようになっている。</li> </ul>
50 大修館	最新 中学校保健体育	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>生徒に考えさせたい内容を見出しに掲載し、見出しの後に色付きで小見出しを付けている。</li> <li>「章のまとめ」は観点ごとに振り返ることができるようにし、WEBテストでも定着を確認できるようにしている。</li> </ul> <p>【思考力, 判断力, 表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「課題をつかむ」で生徒が具体的に取り組める内容を示し、補足的・発展的な内容を「コラム」等に掲載している。</li> <li>学習のまとめで、生活の中でどのように考えていけばよいかについて、話し合ったり協働して考えたりする活動を設けている。</li> </ul> <p>【学びに向かう力, 人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>生徒が興味をもちやすくするために、同じ年代の中学生や有名なスポーツ選手の写真を掲載している。</li> <li>キーワードや説明に関連する資料とともに、社会的状況を反映した題材や生活の場面につながる内容を掲載している。</li> </ul> <p>【かわさき教育プラン】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>興味を高めるために、「体育の窓」「コラム」「特集資料」等で、現代的な健康課題に関する内容を掲載している。</li> <li>口絵の「共に生きる」の中で、性の多様性に触れ、将来どんな生き方をしたいか等を示している。</li> </ul>	<p>【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>学習の見通しをもちやすくするために、3ステップ「課題をつかむ」「身につける・考える」「まとめる・振り返る」で構成している。</li> <li>主体的に学習に取り組めるように、学び方を明確に示している。また、分かりやすくするために、資料や図を用いて構成している。</li> </ul> <p>【分量・装丁】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>学習内容を見開きで完結するようにしている。また、見開きで左右両端に資料を掲載し、本文は中央に配置している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ユニバーサルデザインを意識し、本文と資料の区切りをはっきりするために、資料を色で囲うなどの表記にするとともに、本文と関連する資料を、すぐ横や下に掲載している。</li> <li>学習のイメージをつかみやすくするために、キャラクターが生徒の目線になって学習のヒントを示している。</li> </ul>
224 学研	新・中学保健体育	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「学びを生かす」で、考えたり、話し合ったり、まとめたりする発問を掲載している。</li> <li>「章のまとめ」で重要な言葉をまとめて掲載するとともに、学習を振り返ったり深めたりすることができるようにしている。</li> </ul> <p>【思考力, 判断力, 表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「やってみよう」「話し合ってみよう」等で、本文や資料をもとに話し合ったり深めたりする活動を提示している。</li> <li>具体的な事例を掲載し、話し合い活動から考えを広げたり知識を身に付けたりできる内容にしている。</li> </ul> <p>【学びに向かう力, 人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>授業の導入は生徒への質問から始まり、学習の課題に関連した身近な話題を取り上げている。</li> <li>自ら学び、自ら考える力を伸ばすために、発展的で物事を深く掘り下げ実生活に生かせる内容を掲載している。</li> </ul> <p>【かわさき教育プラン】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>世界で活躍する日本人を掲載したり、社会で活躍する方のインタビュー記事を掲載したりしている。</li> <li>年齢や性別を超えて一緒にスポーツの行い方を考えるなど、多様な他者との協働的な学びや課題を掲載している。</li> </ul>	<p>【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「ウォームアップ」「学習の課題・キーワード」「エクササイズ」「学びを生かす」という流れで構成している。</li> <li>「探究しよう！」で、生徒が興味をもって主体的に取り組み、学習内容をさらに深めていける資料を掲載している。</li> </ul> <p>【分量・装丁】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>見通しをもって学習できるように、学習内容を見開きで完結するようにしている。また、見やすくするための行間や余白を設定している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>本文のフォントや、資料等の色合いについて、ユニバーサルデザインの視点を取り入れて表現している。</li> <li>難しい内容もかみ砕いて表現し、大切ところは他の字よりも大きく表記している。また、どのような学習展開をするよいかを提案している。</li> </ul>

## 調査研究報告書 ⑤

### 技術・家庭(技術分野)

発行者の番号 略称	書名	内容	構成・分量・装丁	表記・表現
2 東書	新編 新しい技術・家庭 技術分野 未来を創る Technology	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・問題解決に取り組むために必要な知識を「技術のとびら」にまとめて掲載している。</li> <li>・基礎的・基本的な技能を掲載した「TECH Lab」に、工具や機器の安全な使用について掲載している。</li> </ul> <p>【思考力,判断力,表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・身近な製品を例に、技術の見方・考え方を働かせた技術の最適化の例を掲載している。</li> <li>・「問題解決の例」で漫画を用いて、様々な問題の発見の場面や課題設定の例を示している。</li> </ul> <p>【学びに向かう力,人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・脚注の「技術の工夫」のコーナーで、身近な技術や製品などの工夫について広く紹介している。</li> <li>・「問題の解決、改善・修正」のページに、自分の問題解決の過程を振り返る視点を掲載している。</li> </ul> <p>【かわさき教育プラン】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・職業観や勤労観につながるコーナーや、環境問題やSDGsに関する内容を掲載している。</li> </ul>	<p>【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1編～4編とも、学習指導要領に対応して1章、2章、3章(4編は3章、4章)で構成している。</li> <li>・各節は見開きを基本とし、左ページに「目標」と「学習課題」を掲載し、右ページの最後に「まとめよう」「振り返ろう」「深めよう」のコーナーを設けている。</li> <li>・様々な思考ツールを取り上げている。</li> </ul> <p>【分量・装丁】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・巻頭、巻末6ページ、本文292ページである。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒のイラストやキャラクターを用いて、学習のアドバイスをしている。</li> <li>・専門的な用語は、簡潔な表現で解説を補足している。</li> <li>・本文のほぼ全てのページに二次元コードを掲載している。</li> <li>・ユニバーサルデザインに配慮して書体や配色を整えているほか、基本ページでは「目標」や「学習課題」などを同じ位置に配置するなどして、特別支援教育の視点でも配慮した表記にしている。</li> </ul>
6 教図	新 技術・家庭 技術分野 明日を創造する	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生活や社会で使われている「技術」の例を掲載し、身近な問題と知識を結びつけている。</li> <li>・別冊の「スキルアシスト」に、安全で正確な実習に必要な基礎技能をまとめている。</li> </ul> <p>【思考力,判断力,表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「見つける」の会話の中に、技術の見方・考え方を働かせて考える発問を掲載している。</li> <li>・問題の発見から課題を解決して次の問題解決につなげるまでの流れを学ぶページを設けている。</li> </ul> <p>【学びに向かう力,人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・持続可能な社会の創造について考える資料や、SDGsの関わりを「スゴ技」に掲載している。</li> <li>・「やってみよう」の中に、自分で学んだり、グループで学んだりするための問いかけを設けている。</li> </ul> <p>【かわさき教育プラン】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・専門高等学校に進んだ先輩からのメッセージの中に、川崎総合科学高等学校の記事を掲載している。</li> </ul>	<p>【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・A～D編とも、学習指導要領に対応して1章、2章、3章(D編は3章、4章)で構成している。</li> <li>・各節は見開きを基本とし、左ページに「めあて」を掲載し、右ページの最後に「ふり返る」のコーナーを設けている。</li> <li>・設計・計画(育成)シートを巻末に用意している。</li> </ul> <p>【分量・装丁】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・巻頭、巻末6ページ、本文256ページと、巻末シート、別冊「スキルアシスト」がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・キャラクター同士の会話や4コマ漫画を用いて、学習のアドバイスをしている。</li> <li>・初めて出てくる専門用語などには、振り仮名を付けている。</li> <li>・別冊の「スキルアシスト」にも二次元コードを掲載している。</li> <li>・ユニバーサルデザインフォントを使用するとともに、重要語句を青色の太字にするなど、カラーバリエーションの観点にも配慮をしている。</li> </ul>
9 開隆堂	技術・家庭 技術分野 テクノロジーに 希望をのせて	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・科学的な根拠をもとにして技術を理解できるように、「実験」コーナーを適宜設けている。</li> <li>・実習例の中で工具の使い方や実習のポイントを例示している。</li> </ul> <p>【思考力,判断力,表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各編の冒頭で、技術の見方・考え方を働かせながら製品や生物(作物)を見るコーナーを設けている。</li> <li>・実習例の中で、矢印やイラストを用いながら問題解決の流れを示している。</li> </ul> <p>【学びに向かう力,人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・脚注の「豆知識」のコーナーで、学習内容と関連した発展内容を掲載している。</li> <li>・各小項目の冒頭で「学習課題」を示すとともに、それに対応する「CHECK」項目を設けている。</li> </ul> <p>【かわさき教育プラン】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各編の終わりに技術に関わる方のインタビューを掲載している。</li> </ul>	<p>【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・A～D編とも、学習指導要領に対応して内容を1、2、3として構成している。</li> <li>・各節は見開きを基本とし、左ページに「学習課題」を掲載し、右ページの最後に「CHECK」コーナーを設けている。</li> <li>・紙面の右上に、内容に関連する工具や製品を写真で紹介している。</li> </ul> <p>【分量・装丁】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・巻頭、巻末11ページ、本文303ページである。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・キャラクターの吹き出しを用いて、学習のアドバイスをしている。</li> <li>・学習課題を解決するために必要な情報を、図や表を用いて説明をしている。</li> <li>・各内容の適切な箇所に二次元コードを掲載している。</li> <li>・ユニバーサルデザインフォントを使用するとともに、内容に応じて適切な文字の大きさを用いている。</li> </ul>

## 調査研究報告書 ⑤

### 技術・家庭(家庭分野)

発行者の番号 略称	書名	内容	構成・分量・装丁	表記・表現
2 東書	新編 新しい 技術・家庭 家庭分野 自立と共生を 目指して	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「いつも確かめよう」で実習や生活での実践に必要な基礎的・基本的な技能を写真とイラスト、言葉で記載している。</li> <li>・安全、衛生に関連した内容には、配慮することを写真、イラスト、言葉で示している。</li> </ul> <p>【思考力,判断力,表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・編のはじめに、小学校との関連、学ぶこと、見方・考え方を明記している。</li> <li>・学習が深まるように思考ツールやシミュレーションを掲載している。</li> </ul> <p>【学びに向かう力,人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・見通しをもって学習に取り組めるように、家庭科のガイダンスを巻頭に掲載している。</li> <li>・内容を複合的に扱えるように「生活の課題と実践」を巻末にまとめて掲載している。</li> </ul> <p>【かわさき教育プラン】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・キャリア教育に関連する「プロに聞く」を掲載している。</li> </ul>	<p>【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小題材ごとに目標、レッツスタート、学習課題、本文、図版、活動、まとめの流れで構成している。</li> <li>・デジタルコンテンツのある内容にDマークがあり、二次元コードから内容が一覧で確認できる。</li> </ul> <p>【分量・装丁】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・判型は、AB判にしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実習例は、写真とイラスト、言葉で示し、見開きで、調理や裁縫の手順を示している。</li> <li>・多様性(ジェンダーや左利き)に配慮した表記をしている。</li> <li>・SDGsについて、巻末に記載している。</li> </ul>
6 教図	新 技術・家 庭 家庭分野 暮らしを創造 する	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・衣生活、食生活の実習例の手順を写真等で示している。</li> <li>・安全、衛生について「実習は安全に取り組もう！」でイラストと言葉で示している。</li> </ul> <p>【思考力,判断力,表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生活を「見つめる」ことからはじめ、見つめる、見つめてみよう、学ぶ、ふり返るの流れで掲載している。</li> <li>・章末に学んだことをまとめて確認する「学習のふり返り」を掲載している。</li> </ul> <p>【学びに向かう力,人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学びの導入として、「見つめてみよう」で自分の生活の中の課題を発見するきっかけを示している。</li> <li>・各章の終わりと巻末に「生活の課題と実践」の例を掲載している。</li> </ul> <p>【かわさき教育プラン】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・キャリア教育に関連する「センパイに聞こう」を掲載している。</li> </ul>	<p>【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各編は、導入、やってみよう、学びを生かそう、章末のまとめで構成している。</li> <li>・資料や動画などの二次元コードを掲載している。</li> <li>・献立作成をシールを使って学習できるように巻末に学習シールを掲載している。</li> </ul> <p>【分量・装丁】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・判型は、A4変形判にしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実習例は、写真とイラスト、言葉で示し、1ページで調理や裁縫の手順を示している。</li> <li>・包丁の扱い方で「右利き」「左利き」の写真表記をしている。</li> <li>・SDGsについて、巻頭に記載し、関連する内容にマークを記載している。</li> </ul>
9 開隆堂	技術・家庭 家庭分野 自立しともに 支え合う生活 へ	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実習例や製作例を写真、イラスト、言葉で示している。</li> <li>・安全、衛生について「楽しく安全に実習しよう」でイラストと言葉で示している。</li> </ul> <p>【思考力,判断力,表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各編のはじめに、「自分の興味・関心を大切に」「学習する内容」「小学校での学び」を明記している。</li> <li>・各内容の最後に既習事項を確認する「学習のまとめ」を掲載している。</li> </ul> <p>【学びに向かう力,人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学習の見通しをもつためのガイダンスを巻頭に掲載している。</li> <li>・「生活の課題と実践」の例を巻末にまとめて掲載している。</li> </ul> <p>【かわさき教育プラン】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・キャリア教育に関連する「先輩からのエール」「地域の取り組み」「中学生の取り組み」を掲載している。</li> </ul>	<p>【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小題材ごとに学習の目標があり、卵のマークで導入の課題が示され、やってみよう、考えてみよう、調べてみよう、話し合ってみよう、学習をふり返ろうの流れで構成している。</li> <li>・学習内容を補足する資料や動画などの二次元コードを掲載している。</li> </ul> <p>【分量・装丁】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・判型は、AB判にしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実習例は、写真とイラスト、言葉で、調理や裁縫の手順を示している。</li> <li>・包丁の持ち方で「右きき」「左きき」のイラスト表記をしている。</li> <li>・SDGsについて、巻頭と関連するページに記載している。</li> </ul>

# 調査研究報告書 ⑤

## 英語

発行者の番号 略称	書名	内容	構成・分量・装丁	表記・表現
2 東書	NEW HORIZON English Course 1  NEW HORIZON English Course 2  NEW HORIZON English Course 3	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・単元末の「Unit Activity」へ向けて、各Unitの「Activity」で学んだ表現を繰り返し練習する活動を設定している。</li> <li>・1年生の巻末に英語の語順を学ぶ「語順カード」を掲載している。</li> </ul> <p>【思考力,判断力,表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・単元のまとめの「Unit Activity」で身に付けた力を統合的に活用する「Stage Activity」を年間3回設けている。</li> <li>・「Read&amp;Think」で読み物の概要や要点を捉える言語活動を設定している。</li> </ul> <p>【学びに向かう力,人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「学び方コーナー」で、単語の効率的な覚え方や音読のポイントなどの学習のコツをまとめている。</li> <li>・CAN-DOリストを掲載し、見通しをもって学習に取り組むことができるようにしている。</li> </ul> <p>【かわさき教育プラン】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・世界の多様な実態について伝える「ダイバーシティメモ」を設けている。</li> </ul>	<p>【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・単元を貫く問い「Unit Question」を設け、見通しをもって学習に取り組めるよう工夫をしている。</li> <li>・小中の接続を意識し、小学校で慣れ親しんだ表現を使って行う活動を設けている。</li> </ul> <p>【分量・装丁】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・判型はAB判にしている。</li> <li>・巻末に、帯活動「Small Talk」の「Expression List」や語順カードを掲載している。</li> <li>・ジャンル別の補充単語や表現をまとめた「Word Room」を掲載している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本文の内容についての興味・関心を引き付ける写真、図などを配置している。</li> <li>・1年次では、ユニバーサルデザインフォントを使用している。</li> <li>・4線は、文字の書きやすさに配慮し、第2線と第3線の間の幅をやや広くしている。</li> </ul>
9 開隆堂	Sunshine English Course1  Sunshine English Course2  Sunshine English Course3	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・マンガ形式で新出表現を導入し、その表現を用いた練習へつなげる「Scenes」を設けている。</li> <li>・1年生では英語の動詞の意味や使い方を理解するアクションカードを掲載している。</li> </ul> <p>【思考力,判断力,表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「Our Project」において、複数の単元で学んだ表現を活用した言語活動を行う場面を設けている。</li> <li>・本文について理解した内容を自分の言葉で再話す「Review&amp;Retell」を設定している。</li> </ul> <p>【学びに向かう力,人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各単元冒頭で、その単元の学習後にできるようになることを言葉とイラストで示している。</li> <li>・本文題材に関連した情報や、英語ならではの表現をまとめている「Coffee Break」を設けている。</li> </ul> <p>【かわさき教育プラン】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・単元の題材や読み物資料等、3年間の学習を通してSDGsの17項目を取り上げている。</li> </ul>	<p>【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「Our Project」では、発表活動後に自分の発表を振り返ることができる欄を設けている。</li> <li>・小中の接続を意識し、小学校英語を振り返る活動「Get Ready」を設けている。</li> </ul> <p>【分量・装丁】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・判型はA4判にしている。</li> <li>・巻末に、即興的なやり取りの力を伸ばす「Small Talk表現集」「Small Talkの流れ」を設けている。</li> <li>・巻末の「Word Web」で、言語活動や帯活動などで参考にできる表現を紹介している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒が場面を意識して取り組めるように、写真やイラストを掲載している。</li> <li>・1年次前半は手書き書体、1年次後半は活字書体を使用し、日本語はユニバーサルデザインフォントを使用している。</li> <li>・新出表現や新出語句の太さ、色を変え、新出であることが目立つように表記の仕方を工夫している。</li> </ul>
15 三省堂	NEW CROWN English Series1  NEW CROWN English Series2  NEW CROWN English Series3	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・目的、場面、状況を明示した「exercise」で4技能をバランスよく練習できるようにしている。</li> <li>・単元末に、学習した文法事項を確認する「Language Focus」を設けている。</li> </ul> <p>【思考力,判断力,表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各単元に、即興的なやり取りの力を伸ばす「Small Talk Plus」を設けている。</li> <li>・「Goal Activity」で相手意識をもって、学んだ技能を活用する言語活動を設定している。</li> </ul> <p>【学びに向かう力,人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・様々な観点からの「英語の学び方」を紹介している「For Self-study」を設けている。</li> <li>・「Take Action!」で、日常生活に即した場面において、4技能を活用する活動を設けている。</li> </ul> <p>【かわさき教育プラン】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・環境問題や世界平和への願い等、国際理解・異文化理解に関する題材を扱っている。</li> </ul>	<p>【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・単元のはじめに、単元終末の「Goal Activity」で行う言語活動を示している。</li> <li>・小中の接続を意識し、小学校で学んできた語句や表現を活用して行う「Starter」を設けている。</li> </ul> <p>【分量・装丁】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・判型はA4判にしている。</li> <li>・巻末にペアでの活動を支える「Role-play Sheet」を掲載している。</li> <li>・巻末にリスニングの原稿を掲載している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・登場人物のイラストを掲載しており、ストーリーや人物のイメージをつかみやすくする工夫をしている。</li> <li>・1年次では、手書き文字に近い書体を使用している。</li> <li>・技能別にデザインや色が異なるアイコンで表示し、視認性への配慮をしている。</li> </ul>
17 教出	ONE WORLD English Course1  ONE WORLD English Course2  ONE WORLD English Course3	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「Think&amp;Try!」で新出の言語材料に触れながら自分の考えなどを表現する練習活動を設けている。</li> <li>・単元末では、文法解説とその文法を含んだ会話例を掲載している「Grammar」を設けている。</li> </ul> <p>【思考力,判断力,表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「Activities Plus」で既習事項を用いながら即興的なやり取りの力を伸ばすことができるようにしている。</li> <li>・コミュニケーションの目的、場面、状況が明示された言語活動である「Project」を設けている。</li> </ul> <p>【学びに向かう力,人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各Lesson冒頭に、単元のGoalを「内容理解」と「活動」に分けて明示している。</li> <li>・「Can-Do自己チェックリスト」で5つの領域の目標の達成度を確認できるようにしている。</li> </ul> <p>【かわさき教育プラン】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・目次において、SDGsに関連した題材には17Goalsのアイコンをつけている。</li> </ul>	<p>【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・単元のまとめでは、「話す・書く」活動を通じて自分の考えなどを発表・共有する「Task」を設けている。</li> <li>・小学校で学習した単語を四角で囲んで表示している。</li> </ul> <p>【分量・装丁】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・判型はAB判にしている。</li> <li>・「Tips for ～」で4技能別に学習のヒントを掲載している。</li> <li>・巻末に、「分野別用語集」を掲載している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・会話の場面をイメージできるよう、吹き出し付きのイラストを掲載している。</li> <li>・1年生のはじめでは、手書き文字に近いユニバーサルデザインフォントを使用している。</li> <li>・各活動には、どの技能を重点的に学ぶかを示すアイコンを記載している。</li> </ul>

発行者の番号 略称	書名	内容	構成・分量・装丁	表記・表現
38 光村	Here We Go! ENGLISH COURSE 1  Here We Go! ENGLISH COURSE 2  Here We Go! ENGLISH COURSE 3	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>各Unitの本文で語彙や文法事項等を提示し、場面に沿った練習活動を設けている。</li> <li>文法を場面と意味、文の形でまとめた「Active Grammar」を設けている。</li> </ul> <p>【思考力,判断力,表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>各単元終末の「Goal」で、単元を通して学んだことを活用できるようにしている。</li> <li>即興で話す力を身に付ける「Story Retelling」や「Let's talk!」などで繰り返し学ぶ工夫をしている。</li> </ul> <p>【学びに向かう力,人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>各Unit本文では中学生に身近な題材を扱い、生徒の興味・関心を引き付けるために工夫をしている。</li> <li>巻末の「CAN-DO List」で学習の見通し、振り返りを行うことができるようにしている。</li> </ul> <p>【かわさき教育プラン】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>各単元に関連した内容で、世界の中学生の学校生活についてなど、国際理解・異文化理解について扱う「World Tour」を設けている。</li> </ul>	<p>【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>巻末の「英語の学び方ガイド」にQ&amp;A方式で、学習の進め方についてまとめている。</li> <li>1年生のはじめに、小学校で学んだ表現のふりかえりや、発音とつづりの関係性を学ぶ教材を掲載している。</li> </ul> <p>【分量・装丁】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>判型はAB判にしている。</li> <li>巻末に、即興的なやり取りの力を伸ばす「Let's Talk」を設けている。</li> <li>自分の考えや気持ちを表現するときに活用できる語彙や表現を広げる「Active Words」を掲載している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>内容の理解を助けるための様々な種類の写真やイラストを掲載している。</li> <li>小中接続期には手書きに近い書体、1年次後半からはブロック体を使用している。</li> <li>4線の第2線と基線の間の幅を広げ、基線は青色にしている。</li> </ul>
61 啓林館	BLUE SKY English Course 1  BLUE SKY English Course 2  BLUE SKY English Course 3	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>各Unitの本文で提示した語彙や文法事項の定着を図れるよう「Listen」「Speak」「Write」を設けている。</li> <li>文法の意味、使い方や形を例文でまとめた「Focus on Form」を設けている。</li> </ul> <p>【思考力,判断力,表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>各Partに「Enjoy Chatting」を設け、継続して即興でやり取りする力を身に付けられるようにしている。</li> <li>「聞く」「読む」「話す」「書く」技能を統合的に活用する「Project」を3年間で8回設けている。</li> </ul> <p>【学びに向かう力,人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>各Unitの初めに、そのUnitの目標をInputとOutputの2種類で分けて提示している。</li> <li>各Unitの初めに示した目標を、Unit末に自己評価する「Check」を設けている。</li> </ul> <p>【かわさき教育プラン】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>1年生でニューヨークでの生活や3年生で気候変動についてなど国際理解、SDGsに関連した題材を扱っている。</li> </ul>	<p>【主体的・対話的で深い学びに関わる構成】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>小学校の学びを振り返る小中接続教材「Let's Start」を、1年次の最初に設けている。</li> <li>見通しと振り返りを意識して学習ができるよう、巻末に「CAN-DO List」を設けている。</li> </ul> <p>【分量・装丁】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>判型はA4判にしている。</li> <li>活動の際に役立つ語彙、表現をジャンルごとにまとめた「Word Box」を掲載している。</li> <li>巻末にリスニングの原稿を掲載している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>題材の内容のイメージをつかめるように、Unit冒頭に様々な絵や写真を掲載している。</li> <li>1年次では、ユニバーサルデザインフォントを使用している。</li> <li>各活動には、どの技能を重点的に学ぶかを示すアイコンを記載している。</li> </ul>

# 調査研究報告書 ⑤

## 道徳

発行者の番号 略称	書名	内容	構成・分量・装丁	表記・表現
2 東書	新編 新しい道徳1 新編 新しい道徳2 新編 新しい道徳3	【知識及び技能】 ・いじめの問題、生命の尊さに関する内容は、ユニット学習を設定している。 ・情報モラルに関する教材を6月に配置し、防災に関する教材にはVR映像を掲載している。 【思考力,判断力,表現力等】 ・教材末に多面的・多角的な問いや自分を見つめる問い「考えよう」「見つめよう」を掲載している。 ・体験的な学習ができる教材には、学習の流れと気づきを記入するページを掲載している。 【学びに向かう力,人間性等】 ・導入や学習後に活用できるコラム「プラス」を各学年10本以上掲載している。 ・ソーシャルスキルに関するコラムや探究の対話「p4c」で考えを深めるコラムを掲載している。 【かわさき教育プラン】 ・子どもの権利条約(抜粋)に関するコラムを掲載している。 ・付録にはSDGsに関する教材を3つ掲載している。	【主体的・対話的で深い学び】 ・巻頭の「道徳科の授業はこんな時間に」には、学び方の例を掲載している。 ・全ての教材に朗読とワークシートのデジタルコンテンツが活用できる二次元コードを掲載している。  【分量・装丁】 ・巻末に切り取って使う心情円を設けている。 ・巻末に学期ごとに振り返りを記入する切り取り式のワークシートを設けている。	・内容項目の4つの視点が分かるように、教材名上部にマークや色分けで示し、付録教材にはSDGsのマークを掲載している。 ・各学年5教材に、導入で気づきを促す漫画を掲載している。
17 教出	中学道徳1 とびだそう未来へ 中学道徳2 とびだそう未来へ 中学道徳3 とびだそう未来へ	【知識及び技能】 ・いじめの問題、生命の尊さ、持続可能な社会に関する内容はユニット学習を設定している。 ・環境、平和等よりよい未来や世界情勢を踏まえた教材を掲載している。 【思考力,判断力,表現力等】 ・「学びの道しるべ」に、多面的・多角的に考える問いを掲載している。 ・問題解決的な学習や体験的な学習ができる教材に、活動例「やってみよう」を掲載している。 【学びに向かう力,人間性等】 ・巻末に、1年間の学びを通して考える「よりよく生きるって、どうのことだろう」を掲載している。 ・教材での学びを広げたり、他教科と関連する情報を紹介したりするコラムを掲載している。 【かわさき教育プラン】 ・人権を尊重し、多様性を認め合う社会を意識する教材やコラムを掲載している。 ・情報モラルに関する教材は、系統性を意識したテーマを設定して配置している。	【主体的・対話的で深い学び】 ・巻頭の「さあ、道徳を始めよう」には、道徳科の学び方、話し合いの仕方等を掲載している。 ・朗読、ワークシート等のデジタルコンテンツが活用できる二次元コードを掲載している。  【分量・装丁】 ・巻末に学期ごとや1年間の振り返りを記入する切り取り式のワークシートを設けている。	・内容項目の4つの視点が分かるように、教材名上部にマークや色分けで示し、導入に活用できる問いを掲載している。 ・巻末に、4つの視点ごとにまとめた学習一覧とSDGsとの関連を示している。
38 光村	中学道徳 1 きみが いちばん ひかるとき 中学道徳 2 きみが いちばん ひかるとき 中学道徳 3 きみが いちばん ひかるとき	【知識及び技能】 ・いじめの問題、情報モラル等の現代的な課題について、ユニット学習を設定している。 ・生命の尊さについての内容は、年間3教材を配置している。 【思考力,判断力,表現力等】 ・教材末に、考えを深めるための問い「考えよう」を掲載している。 ・巻末の付録「まなびの道具箱」に、話し合いで活用できる思考ツールを掲載している。 【学びに向かう力,人間性等】 ・視点を広げたり、生活とつなげたりする問い「見方をかえて・つなげよう」を掲載している。 ・いじめの問題に関するユニット学習では見方を広げる「まなびをプラス」を掲載している。 【かわさき教育プラン】 ・各学年に人権に関するコラムを系統立てて掲載している。 ・感情のコントロールなど社会情緒的能力に関するコラムを、いじめの問題に関するユニット学習の前に配置している。	【主体的・対話的で深い学び】 ・第1教材には学習の見通しを示した「22のキーワード」「道徳道案内」を掲載している。 ・朗読や動画、画像等が活用できる二次元コードを掲載している。  【分量・装丁】 ・巻末に日々の学習の振り返りを記入したり、学年始めと学年末に活用できるこれまでの道徳科の学習の思いを記入したりする折込式のページ「まなびの記録」を設けている。	・内容項目の4つの視点が分かるように、教材名上部にマークや色分けで示し、キーワードを記載している。 ・複数の登場人物がいる教材では、挿絵に名前を掲載している。
116 日文	中学道徳 あすを生きる 1 中学道徳 あすを生きる 1 道徳ノート 中学道徳 あすを生きる 2 中学道徳 あすを生きる 2 道徳ノート 中学道徳 あすを生きる 3 中学道徳 あすを生きる 3 道徳ノート	【知識及び技能】 ・いじめと向き合う、よりよい社会を考えるというテーマでユニット学習を設定している。 ・環境と未来、自立と共生等、多様性やSDGsに関連する教材を掲載している。 【思考力,判断力,表現力等】 ・教材末の「考えてみよう」「自分にプラスワン」に、問いを1つずつ掲載している。 ・問題解決的な学習や体験的な学習を例示する「学びを深めよう」を掲載している。 【学びに向かう力,人間性等】 ・道徳科と他教科、活動等をつなぐ「視野を広げて」を掲載している。 ・自分の考えや気づきを記入する別冊「道徳ノート」を設けている。 【かわさき教育プラン】 ・教材に登場した人物のコラム「あすへのメッセージ」やメッセージ動画を掲載している。 ・いじめの問題に関する教材は、1年生に3か所、2、3年生に2か所掲載している。	【主体的・対話的で深い学び】 ・巻頭の「道徳科での学びを始めよう」には、学び方の例示と、実践できるミニ教材を掲載している。 ・全教材に動画や音声等の関連資料が活用できる二次元コードを掲載している。  【分量・装丁】 ・発問欄を空欄にして自由に活用できる別冊「道徳ノート」を設けている。別冊「道徳ノート」はデジタル版でも対応できるようにしている。	・内容項目の4つの視点が分かるように、教材名上部にマークや色分けで示し、学びのキーワードを掲載している。 ・教材冒頭に、登場人物のイラストや写真に名前を付けて掲載している。

発行者の 番号略称	書名	内容	構成・分量・装丁	表記・表現
224 学研	新版 中学生の道徳 明日への扉 1 新版 中学生の道徳 明日への扉 2 新版 中学生の道徳 明日への扉 3	【知識及び技能】 ・キャリア、多様性、SDGsに関する内容については、ユニット学習を設定している。 ・「いのちの教育」を最重点テーマとし、年間3教材を配置している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・教材末に考えを深めるための問い「考えよう」を掲載している。 ・役割演技で考える方法や話し合いの仕方などを「深めよう」に掲載している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・授業のメモ「学びのメモ」や学期ごとに振り返るワークシート「学びの記録」を設けている。 ・「クローズアップ」に多面的・多角的に考えられるような関連資料を掲載している。 【かわさき教育プラン】 ・困難を乗り越える力(レジリエンス)に関する教材を掲載している。 ・いじめの問題、多様性等に関する内容は、段階的・系統的に教材を配置している。	【主体的・対話的で深い学び】 ・巻頭に学び方として「言語活動例」「タブレット活用例」「考えを深める4つのステップ」を掲載している。 ・ワークシートや思考ツール、教材に関連する動画や画像等が活用できる二次元コードを掲載している。  【分量・装丁】 ・巻末に学期ごとに記入する切り取り式の「学びの記録」を設け、思いや気づきを記入できるメモ欄を教材ページの下部に掲載している。	・内容項目の4つの視点が分かるように、教材名上部にマークや色分けで示し、下部に現代的な課題のテーマを掲載している。 ・教材冒頭に、導入に活用できるキープレーズや、登場人物のイラストに名前を付けて掲載している。
232 あか図	中学生の道徳1 中学生の道徳2 中学生の道徳3	【知識及び技能】 ・いじめを考える、情報モラル等4つのテーマでユニット学習を設定している。 ・巻頭に、安全・防災、生命の尊さなど10のテーマで学ぶことができる一覧を掲載している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・教材末に、「いろいろな見方で考える」「考えを深める」という視点での発問を掲載している。 ・役割演技や話し合いを通して、学びを深める「マイ・プラス」を掲載している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・教材末に、授業の終末や事後学習として活用できる「Thinking」を掲載している。 ・巻末に、学期ごとに振り返ることができるワークシートを設けている。 【かわさき教育プラン】 ・いじめの問題に関する教材は、各学年5月～6月に学習できるように配置している。 ・巻末付録には、SDGsの視点から考えられる内容を掲載している。	【主体的・対話的で深い学び】 ・第1教材「道徳はじまりの時間」には、道徳科の学び方が体験できる問いや詩、名言を掲載している。 ・動画や音声等のデジタルコンテンツが見られる二次元コードを掲載している。  【分量・装丁】 ・巻末に学期ごとや1年間の学びの記録を記入するワークシートを設けている。	・内容項目の4つの視点が分かるように、教材名上部にマークや色分けで示している。 ・「自分との対話」として、教材の内容や道徳的価値について問う文や、登場人物のイラストや写真に名前を付けて掲載している。
233 日科	道徳 中学校1 生き方から学ぶ 道徳 中学校2 生き方を見つめる 道徳 中学校3 生き方を創造する	【知識及び技能】 ・情報モラル、いじめの問題など現代的な課題に関連する教材を掲載している。 ・自由に教材を配置できるよう、内容項目の順番に掲載している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・教材末に「考えよう・深めよう」を設け、問いを1つずつ掲載している。 ・巻末のウェルビーイングカードには、中学生に合わせた26の言葉を記載している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・ガイダンス教材で、ウェルビーイングカードを使った学び方を例示している。 ・ウェルビーイングカードの26の言葉を手掛かりに考える教材を掲載している。 【かわさき教育プラン】 ・キャリア形成に関する教材では、発達段階に応じたテーマを設定している。 ・いじめの問題について、直接的・間接的に扱う教材を掲載している。	【主体的・対話的で深い学び】 ・巻頭の「道徳授業を創り出そう」には、学び方や話し合い活動ができる短い教材「ウォーミングアップ」を掲載している。 ・教材に関連した情報や動画等が見られる二次元コードを掲載している。  【分量・装丁】 ・巻末に切り取って使用する「ウェルビーイングカード」を設けている。 ・教材末に書き込みができるメモ欄を設けている。	・各教材名に、内容項目の4つの視点のマークと番号、ウェルビーイングカードマークを掲載している。